

マイクロクレジットの現状 サミット・キャンペーン・レポート

2009 年版

～リザルツ教育基金プロジェクト～

サム・デイリー・ハリス著

日本リザルツ作成

2009 年 8 月

目次

- 3. 序論
- 5. 要旨
- 6. 人類が直面する地球上の飢え
- 8. 規則を破るものが道を拓く
- 10. *Box1:新しい街によって、数千家族がスラム生活から抜け出すことができた！*
- 12. 商品でなく、出発点としてのマイクロファイナンス
- 13. *Box2：マイクロファイナンス再考*
- 15. *Box3:バングラデシュの村へのグリーンエネルギーとグリーンジョブ*
- 16. マイクロファイナンスと保健教育の統合—未来への道
- 17. 商業主義:可能性と課題
- 18. *Box4:マイクロファイナンスと商業投資の歩み寄り*
- 19. *Box5:マイクロファイナンスにおける価格設定を透明にすることの必要性*
- 21. 最貧困層の人々をマイクロファイナンスによってエンパワーすることを先導する世界銀行の好機
- 21. サミットのゴールへの到達 1日1ドルからの脱却
- 24. 調査方法
- 26. 借り手の到達人数
- 27. はじめて報告を行った機関における借り手の増加
- 31. 機関の規模による借り手の分布
- 32. 到達した女性の借り手
- 32. 貧困測定ツールの使用
- 33. 地域データ
- 35. 成長を阻む金融危機と食料・燃料価格の変動
- 38. 2008年度以降の地域会議
- 39. 結論
- 42. 謝辞
- 44. 巻末1: アクションプランの収集に協力した団体およびネットワーク
- 45. 巻末2: Ingrid Munro のインタビューの続き
- 50. 付録1:データ検証済みマイクロファイナンス機関
- 58. 付録2:検証者リスト
- 63. 付録3:2008年度アクションプランを提出した団体

最貧困層の1億世帯へ到達

地球から飢えが根絶した日、世界中が、人類が今まで経験したことのない最も偉大な精神の爆発を目撃するだろう。人類は、その偉大な改革の日に、世界中に沸き起こる喜びを想像することができない。

(スペイン 詩人／作家 Federico Garcia Lorca)

序論

2007年には、世界中で、最貧困層の1億世帯以上がマイクロローンを享受した。2005年には、1億人以上が既にマイクロローンを受けていたが、2007年になって、はじめて最貧困層に限定して、マイクロローンを受けた人が1億人に到達した。この画期的な業績は、1997年にワシントンD.C.で最初に開催された137カ国から2,900人以上が参加したマイクロクレジット・サミットで設定された目標の達成でもあった。そのサミットにおいて、参加者は、2005年末までに、1億以上の最貧困層世帯の、特にそれらの世帯の女性に対し、自営業のための融資、その他の金融やビジネスサービスを提供するという目標を掲げた。この目標の達成は、推定5億人の借り手の家族の生活に効果を普及させている。

このような画期的な出来事が成し遂げられたとき、あなたならどうするだろうか？ ニューヨークタイムズ紙の編集者であったA.M. Rosenthalは、40年前の人類初の月面着陸の新聞記事の編集作業についてこう語っている。新聞には、上記で使用している1インチ大の活字が使用された。“叫ぶことは、喜びを表すひとつの方法です。”Rosenthalはこう振り返った。ニューYorkタイムズ紙は、第1面に掲載する詩も発注した。“詩人が何を書くかが最も重要でした。しかし、私たちは読者にこう言いたかったのです。‘ほら、本紙は、今日という日に感じていることをどう表現していいかわかりません。’” Rosenthalは続けた。“しかし、月面着陸をみていたすべての人々と同様に、私達ひとりひとりが、その素晴らしい偉業と達成の一員であると感じ、舞い上がりました。私達は、宇宙飛行士3人の冒険は人類の気品ある知性と願望から生まれたものであると感じたので、彼らを愛したのです。彼らのおかげで、私達はその気品の一部を感じることができました。人類は、それ自体が愛情にあふれたものですが、そのことは、頻繁に感じるができるわけではありません。”(1)

1969年の月面直陸とは違い、2007年のマイクロローンの1億人到達はテレビで放送されることはなかった。しかし、とても貧しい借り手達は、マイクロローンを受けた瞬間にあふれだした広がる可能性を体験し、この機会が100万人目の借り手と、世界中の1億人のその兄弟姉妹にとって、何を意味するのかを理解し始めることができるのだ。

(1)A.M Rosenthal 著、"On My Mind; Stand by Update Moon Poem," (ニューYorkタイムズ紙 1989年7月18日)より引用

2005 年にアメリカの公共放送で放映されたドキュメンタリー番組“スモールフォーチュン”で、Jorimon Khan が紹介され、貧困の根深い困難さと、一連のマイクロローンがもたらした言葉で表現できない喜びと功績の一端が語られた。Jorimon は、1962 年に 10 歳で結婚をし、15 歳で最初の子供を生んだ。彼女がグラミン銀行のことを知った 1979 年当時、日雇い労働者の彼女の夫には、1 日に 20 セント、家族一人当たり 5 セントに満たない稼ぎしかなかった。Jorimon Khan は、30 年前の彼女の生活を、こう振り返る。

私の家は、屋根もわらで作られていたので、雨が降れば、すべてのものがびしょぬれになりました。子供達が濡れないように私は彼らの上に覆いかぶさらなくてはなりませんでした。雨風を避けるためバナナの葉で屋根を覆おうとさえしました。

私は常に、神は救ってくれると信じていましたが、ずっと救いを待ち続けていました。子供達は、飢えて死にそうでした。

ごめんなさい。当時のことを話すことができません。[Jorimon は、涙をこらえようとしてました。] 私の人生がどのくらい困難だったかを説明するのは難しく、それを話すことはとてもつらいのです。しかし、今は、神によって救われました。私は、こんな洋服を手に入れたことはありませんでした。1 枚しか洋服がなく、一方の端を洗い、濡れたまま着て、そしてひっくり返し反対の端を洗いました。今は、神の恵みによって、たくさんのものを手に入れることができました。何もいうことはありません。

Jorimon Khan は、1980 年に最初の 10 ドルの融資を受け、米の脱穀機を購入し、現地の行商人に米を売った。そして、人生ではじめて Jorimon とその家族は、1 日 3 食の食事をするようになったのだ。彼女は、1981 年 1 月 1 日に最後の返済を完了した。

最初は、私は融資を受けることを恐れました。もし返済できなければ、その代わりに、銀行の人によって殺されるだろうと人々は言いました。私はもちろん怖いと思いました。しかし、最初の 10 ドルの融資を完済したとき、勇気ができました。そして、より多くの融資を希望し、結局、33 ドルの融資を申請しました。

ナレーターは、“その後 25 年間、Jorimon は、順調に、より高額な融資を受け、それらを返済しています。彼女のすべてのビジネスが成功した訳ではありませんが、十分な安全策を講じていたので、失敗は、彼女の家族にとって壊滅的とはなっていません。現在、彼女の孫達は、20 年前には想像もできなかった人生を享受しています。Jorimon は、すべては 10 ドルの融資からはじまったのだと言います。”と締めくくった。

融資を通じて Jorimon Khan とその家族が手に入れた尊厳は、マイクロクレジット・サミット・キャンペーン (MCS) の目標達成とともに、1 億倍以上に拡大している。次に、2007 年度の成果の要約を紹介する。

要旨

2007年12月31日時点で、3,552のマイクロクレジット (2) 実施機関の報告によると、マイクロクレジットは、154,825,825人の借り手に到達し、最初に融資を受けた時に最貧困層だった人は、そのうち106,584,679人である。また、それらの最貧困層の借り手のうちの83.4%を占める88,726,893人は女性であった。2008年には、861のマイクロファイナンス実施機関 (MFIs) によって実施機関アクションプラン (IAPs) が提出され、報告された最貧困層の借り手の86%は、それらの861の機関によって占められている。1世帯5人と推定すると、2007年末までに、1億660万人の最貧困層の借り手に到達し、5億3,300万人のその家族に効果が普及したことになる。目標に達成するのが24ヶ月遅れたが、それにも拘らず偉大な業績である。

Table 1: Figures as of December 31, 2007

Data Point	Finding
Number of MFIs Reporting (1997–2007):	3,552
Number of MFIs Reporting in 2008 Only:	861
Percent Poorest Clients Represented by MFIs Reporting in 2008:	83.4 %
Total Number of Clients (as of 12/31/07):	154,825,825
Total Number of Women (as of 12/31/07):	109,898,894
Total Number of Poorest Clients (as of 12/31/07):	106,584,679
Total Number of Poorest Women (as of 12/31/07):	88,726,893

今年、MCSキャンペーンは、最貧困層の全借り手の80%に相当する84,916,899人の最貧困世帯に融資をする284の融資機関からのデータを検証 (3) することができた。検証の対象となった全機関のリストは別表1に掲載している。

1億660万人の最貧困層への融資は、借り手とその家族を合わせると5億3,300万人の人に効果を普及したことになる。その効果を享受した5億3,300万人という数は、ラテンアメリカ(4)の全人口とほぼ等しい数である。マイクロファイナンスは、もはや到達範囲からするとマイクロではないが、依然として貧困は存在する。

(2) 本報告書の目的とマイクロクレジット・サミットの19年間にわたるキャンペーンの目的に照らして、ここでは「マイクロクレジット」とは貧困層の人々への自営業向けの貸付けやその他の金融及びビジネスサービス (預金や職業技術の支援を含む) を提供するプログラムと定義する。

(3) キャンペーンが意味する検証とは、プログラム実施機関を訪問し、上級役員に会い、数字を確認し、その機関と検証用のフォームにより提出された数字に信頼性があると判断したことを意味する。

(4) <http://answers.com/topic/latin-america>

マイクロクレジット・サミットの目標と核となるテーマは、マイクロファイナンスに尊厳と威厳、魂を与える。

2007年には、MCSキャンペーンは、1日1ドル以上の生活水準を超えた借り手の数を追求する活動をはじめた。このデータを収集し実証するためのより厳格な方法をとっているため、この指標についての結果報告をするには、今は時期尚早だ。1日1ドルの以上の生活水準に押し上げる活動の目標に対しての進行状況の報告は、来年のレポートから開始する予定である。キャンペーンのこの目標に対する活動についての詳細な考察は、“サミットのゴールへの到達 1日1ドルからの脱却”の章を参照。

今年のレポートでは、世界の貧困について考察されており、マイクロファイナンスによるスラムから抜け出す手助けとなる打開策が再検討され、世界の最貧困のコミュニティのいくつかに再生可能なエネルギーをももたらす手法が注目されている。これらの課題は、マイクロファイナンスがどのように他サービスの出発点として貢献できるかということに焦点をあてた、より広範囲な考察の一部となるだろう。レポートでは、商業化を実施する新たな提案や、利率決定について新たな構想が考察されている。また、貧困層にマイクロファイナンスをより広く提供するために世界銀行の必要性の概要が述べられ、1日1ドル以上の生活水準を超えた借り手数の進捗状況測定のためのキャンペーンの作業が確認され、2007年のデータがより詳しく検証された。

最後に、報告書は、金融危機と食料と燃料の価格変動がMFIsとその借り手にもたらす影響、保健教育とマイクロファイナンスの統合活動、及び、近年と次回のサミットについても言及した。

人類が直面する地球上の飢え

ペントハウスでパーティーが開催され、地下室で火事が起きている。

Trees for Life 共同創設者 Balbir Mathur

マイクロクレジット・サミット・キャンペーンが成功を収めると同時に、これからやらなければならない仕事も膨大な範囲に及んでいる。2008年のスペインのカナリー島で開催されたCampus of Excellence lecture においてTrees for Lifeの共同創設者であるBalbir Mathurは、世界の現状を“ペントハウスでパーティーが開催され、地下室では火事が起きている”という簡潔な見出しで表現した。比較的少人数の人々が、ペントハウスで想像もできないほど裕福な暮らしを楽しんでいる一方で、地球の約半分では30億人あまりの人が1日2ドル未満の生活を送り、約10億人が1日1ドル未満の生活を送っている。

地下室の火事が、2008年7月にインドネシアのバリで開催されたアジア太平洋地域マイクロクレジット・サミットの閉会式における、ペルー前大統領Alejandro Toledoの発言を引き起こした。そのサミットにおいて、Toledoは、なぜ彼が残りの人生をラテンアメリカと世界中の貧困をなくすために捧げているのかを説明した。Toledoは、子供達が“幼くして大人になる”ことを強いられる貧困層の子供時代を覚えていた。ペルーのアンデス地方に生まれたToledoは、16人兄弟姉妹のひとりだった。兄弟姉妹の7人は、生まれてから1年もしないうちに、死んでしまった。次に述べられる彼の子供時代の描写は、彼が未来の大統領になるだろうと予感するものでは決していない。

私の最初の仕事は家畜の世話をすることで、家族が海岸地方に移住するまで、アンデスの高地で羊や豚を放牧していました。そこでは、何百万人もの子供がそうであるように、私は、5歳という幼い歳で大人になりました。

私は、夜の通りで新聞や宝くじを売り、酒場に行って靴磨きをしていた、路上の靴磨き少年だった6歳の時に、はじめての博士号を取得し、そのことを誇りに思います。

私は、住んでいた貧民街の街角でアイスクリームコーンも売っていました。しかし、時々、アイスクリームが溶けてしまい商売にならず、損をすることもありました。ある夜、私はものとても無謀なことをやってみることに決めました。

私は、母が、私達が学校にいくために1週間に一度洋服を洗濯する容器で、氷を砕くことにしました。私は、家の正面の店に行って、こう言いました。“ソフトドリンクとビールを販売させてくれませんか？売れなければ返品するし、売れたらお金を払います。” その時、私は6歳でした。

私は、サッカースタジアムに行って商売をし、大成功させました。6歳の子供には48本ものソフトドリンクやビールの瓶を運ぶのはとても困難でしたが、私の兄が手伝ってくれました。スタジアムに行って、入場料を払わなければなりませんでした、つまりそれは、投資でした。商品は30分で完売し、当時の年齢にすれば信じられない程の稼ぎになりました。次の週は、2台の三輪車で行き、また30分で完売しました。しかし、3回目に行ったとき、誰かが大きいピックアップトラックで商売をしており、私達の商売は廃業へと追い込まれました。当時は、マイクロクレジットがありませんでしたが、もし、あったしたら、私はピックアップトラックを借り商売を続けたでしょう。

あなたの目の前には、統計誤差の結果で、不相応な教育を独占的に受ける特権を手に入れた人間がいます。私は、サンフランシスコで大学に通い、スタンフォード大学で2つの修士号を取得しました。私は、博士号も取得し、世界銀行で働き、ハーバード大学で教鞭をとりました。しかし、私達がこの素晴らしいマイクロクレジット・サミットを開催している一方で、私が得たような特権を得ることができない何万人もの女性や男性がいます。

今、私は貧困から人々を自由にする努力をしたいという情熱を心に持っています。私は、偶然にも教育を受けることができたので、今は貧困から自由になることができました。私は、ハーバード大学でもスタンフォード大学でも、他のどこの大学でも教鞭をとることができます。しかし、私の精神、心、魂は、今日も自由になるための選択肢をもたない何百万人もの男性、女性が、その選択肢を獲得するまで、自由になることはないでしょう。そして、あなた方もこのマイクロクレジット・サミットに参加し、女性にも男性にも貧困をなくすための闘いに不可欠な一つの手法であるマイクロクレジットを提供する努力をすることにより、世界中の男性や女性に対し、自ら仕事を創造し、尊厳をもって貧困から抜け出し、自

由への梯子を上る第一歩を踏み出すための力を与えているのです。

かつてない程、世界のウォールストリートは、倫理的・人道的理由からだけでなく、彼らのビジネスを成功させるために、貧困を縮小する努力をする必要があります。厳密なビジネスの視点からみても、将来性のある市場が無駄になっているのです。私は、ビジネス界にいる友人達に、包括的なビジネスは、企業にとって利益があり、民主主義にも役に立ち、人類にも有益なことであると訴えています。

私は、MBAを取得した若者達が世界のウォールストリートにその心を奪われない勇気を持つことを望みます。慈善的な視点だけで、貧困との闘いを考えないことが重要です。私は、貧困層出身ですが、単に魚を与えられることを望みません。それは、私の尊厳への侮辱だと思うからです。どのようにして魚を釣るのかを学び、尊厳を持って生きる権利を人々に与えることが私達の仕事なのです。もし、世界経済が包括的成長を遂げることに失敗し、また、もし、世界の不均衡を是正することに失敗すれば、ウォールストリートやIMFや世界銀行が賞賛するマクロ経済の数値を実現できるでしょうが、その賞賛の声は、貧しい国々の大通りの騒音や貧困層のお腹が鳴る音によって、すぐにかき消されてしまうでしょう。

今夜、私は普段は話さないことを、お話したかったです。私自身の経験をお話し、このサミットを開催した私の友人でもあるDaley Harris氏とMuhammad Yunus教授に、そして皆さんに、貧困との闘いにおいて、1人の戦士がいることを知っていただきたいと思います。私は、世界中を旅し、前線に立つつもりです。

私達は、今、何人の6歳の子供達が酒場で靴磨きをしているのか、もっと悪い環境にいるのかを自問しなければなりません。とりわけ、マイクロファイナンスという実績と拡張性のある解決法がある今日、私達は、貧困の恐怖と貧困を削減する重要な仕事に無関心でいいのでしょうか？

規則を破るものが道を拓く

私は常に、物乞いの女性達はたくさんの才能をもっていると信じ、また、皆が物乞いの人達を軽視していると感じていました。私は、物乞いの女性達数人とグループを作ろうと思い、Jamii Boraを始めましたが、すぐにJamii Boraは、絶望し軽視された人々の大きな活動組織となりました。女性達は、小規模な事業をはじめ、間もなく、そのうちの何人かは這い上がり、生活を向上させました。

Jamii Bora 創設者 Ingrid Munro

マイクロクレジット・サミット・キャンペーンは、マイクロファイナンスが地球上の貧困を根絶するために必要な数あるツールの中の一つであることを強調し続ける。単なる金融サービスの効果は、通常、経済的困窮による抑圧を完全に打破するには不十分である。従って、貧困層に効果的に提供する場合、マイクロファイナンスは、現状有効な

最も強力な手法なのだ。このような理由で、キャンペーンは包括的金融サービス主義の範囲を超えようと努めている。国際的開発は、他の全ての地域のとても貧しい層に到達できておらず、マイクロファイナンスにおいても単独では、彼らに到達できていない。単に世界を包括的に抱え込むことを繰り返すだけでは、現実的ではないのだ。求められていることは、開発と金融サービスが提供される方法の変換なのである。

今回の変換は、常に新天地を切り開く伝統をもつ分野から広まった。マイクロファイナンスは、長い歴史をもつ商業銀行のルールをひっくり返すことにより生まれた。担保を持たない貧しい女性に小額の融資を提供することから、読み書きができない人達への障害であり小額融資の収益性を低くする原因であった不要な書類手続をなくすことまで、マイクロファイナンス自体が、初期に規則を破ることによって存在することになったのだ。最近、既存の規則を破る新しい一団が、当初からの革命家達に加わった。それと同時に、彼らは、商業銀行のルールを破ることだけでなく、マイクロファイナンス自体のルールを破ることを目標とした。彼らの改革は、貧困を根絶するためのより有効なマイクロファイナンスの利用方法の追求にとっては当然のこと、他の分野の発展の突破口にも繋がった。

昨年のレポートで注目を浴びた、規則を打ち破った人の一例は、ケニヤを拠点とするJamii Boraの創設者であるIngrid Munroだ。1999年に、Munroは、ナイロビにあるMathari Valleyスラムの50人の物乞いに融資を提供した。2008年の8月には、Jamii Boraは、20万人のメンバーを持つまでに大きくなった。Jamii Boraは、物乞いや売春婦や泥棒など、通常はマイクロファイナンスから除外される人々に対し融資を行った。結果として、Jamii Boraは、他のマイクロファイナンスの実行者達ができなかった多くのことを達成している。更に、そのスタッフは借り手もしくは以前に借り手であった人達でのみ構成されている。それは、いくつかのMFIsでは教育を受けた借り手の子供達を多く雇用しているという事実があるが、世界中のMFIsでは例を見ないことである。

昨年のレポートでは、Munroは、最貧困層はマイクロクレジットを利用できないという意見を否定し、ケニヤの救済病院と共同開発した画期的な健康保険プログラムについて述べている。クライアントは、週に30セント支払うことにより、1人の大人と4人の子供にかかるすべての医療費が保障される。Munroは、寄付者を募れば、“寄付者がたぐさんのコンサルタントを送り込み、私達が実行すると決定したことを不可能だと命じるだろうし、どのクライアントに資格を与えるべきで、どのクライアントに資格を与えるべきでないとも命じるだろうという恐れから、寄付者を募ることを避けることに決定しました。”と説明した。Munroは、こう続けた。“私達は、全ての人を対象とする保険を望んでいました。それは、産科、全ての種類の手術、すべての種類の入院治療を保障する保険にするつもりでしたし、HIV/AIDSの人達を排除するつもりもありませんでした。そうしなければ、それは私達にとって無益な保険となってしまからです。” 8年後、この健康保険は、寄付金なしに運営され、加入者は7万人となり、35万人のその家族を保障している。

今年のレポートで、Munroは、200戸の家と、3,000の商業スペースと、新しい学校から構成される革新的な新しいコミュニティである、Jamii BoraのKaputeiタウンについて紹介した。それぞれの家には、2つのベッドルームとバスルームとキッチンと居間があるが、1ヶ月の家賃はスラムの1部屋しかない住居の家賃と同額である。メンバー達

が参加の上、Jamii Boraは、いちからKaputeiタウンのデザイン及び建築を行い、それまで物乞いやスラム生活者だった借り手達が、スラムから抜け出し新しい家を持ち、生活を向上させることを可能にした。

これは、革新的な計画や構想の物語というだけではなく、官僚主義と反対派の高い壁を切り開いた画期的な忍耐と責務の物語なのだ。2001年にまず土地を探し、2002年に土地を購入し、2008年の居住予定までの7年間のプロセスは、長く困難なものだった。Kaputei タウンが直面した様々な困難の中には、その成功を阻害しようとする外部からの試みもあった。郡、地方、そして、州の承認を最初に得た後、Kaputei タウンの計画は、National Environment Management Authority (NEMA)によって、何人かのNEMAの専門家はその計画が今までみたなかで最も環境に配慮したコミュニティーだと評価したにも関わらず、却下された。次第にNEMAの決定は、国家環境裁決機関によって覆されたが、そのために、265時間にも及ぶ審問と16ヶ月もの時間がかかった。反対派の上告が棄却され、Kaputei タウンは、高等裁判所の承認を得た。しかし、その勝利も間もなく、困難に見舞われた。再選挙に出馬するためにOlkeduado郡の役員が一ヶ月間留守にしていた間に、町役場の書記官がKaputei タウンに対し、不当な訴訟を起こしたため、建設中止命令が出されてしまったのだ。最終的には、郡の役員が職場に戻ってきて、建設中止命令と邪魔をする書記官を排除してくれたおかげで、見通しがついた。

Kaputei タウンのような、マイクロファイナンスから始まった革新は、都会のスラム問題のように、しばしば解決不能のように思える問題への取り組みの最先端モデルだ。Munroは、こう言う。“私はこれまでの自分の人生をかけて住居問題に取り組み、この23年間はアフリカの住居問題に取り組んでいますが、スラムを向上させることは不可能だということが分かりました。あなたの取り組みを操ろうとする人々がたくさんいますし、すべての貧しい人々の夢はスラムを抜け出すことであり、スラムを補修することではありません。”

[Box1 参照]

[Box1:新しい街によって、数千家族がスラム生活から抜け出すことができた！]

Microcredit Summit Campaign (MCS):1999年に始まった50人の物乞いの貯蓄クラブから、こうして独自の街をつくるようになった経緯はなんですか？

Munro:始めは、ストリートに暮らす女性のための小さなクラブになるにすぎないと思っていたのです。私はいつも、そういった女性の中には多くの才能のある人がいるのに、世の中の人々から無視されている、と感じていました。そこで、物乞いの女性たちと私とで小さなクラブを始めようと思い、Jamii Boraを始めたのです。しかし、それはすぐに、絶望的で見捨てられていた人々に、大きな変革を起こしました。女性たちは、小さな事業を始め、その中の数人は、すぐにより良い生活を送ることができるようになったのです。また、私たちは健康保険サービスも追加し、約1年後には、「我々のメンバーがその小さな家を改良できるようにローンを提供するべきだ」と議論しました。これが、

このハウジング・ローンの始まりです。

しかし、すぐに、誰にも今住んでいる地区に住み続けられる権利がないので、そこにある家の為に投資するのはリスクがある、ということが明らかになったのです。私たちは、土地を買い、彼らをスラムから抜け出させるための計画をつくりました。

私は、これまでずっと、住宅供給の仕事をしてきました。23 年間、アフリカの国々で住宅供給をしてきましたが、スラムでの生活向上はとても難しいのです。全ての貧しい人々の夢は、スラムから抜け出すことなのです。

そこで私たちは、2001 年中ごろから土地を探し始めました。家屋だけではなく、居住者のための事業所や学校なども建てたかったので、広い土地を探しました。多くの場所を探しましたが、ナイロビは基本的に過密状態で、特にナイロビの北の地区はとても開発が進んでいる為に地価も高いのです。結局、開発が進み始めたばかりのナイロビの南地区で探すことを決めました。購入可能で良い土地を見つけ、契約の前に、農業用地から住宅兼事業用に使用されるということへの承認を得ました。2002 年 2 月に土地購入に至ったわけです。

私たちは、借り手メンバーとともに計画を立て始めました。たくさんのスケッチをして、メンバーの夢である新しい街の構図が作られたのです。スラムに住む人々が、彼らの新しい街を計画するなんて、全く初めてなのです。私たちは、2002 年末までに、工場を建て、建築材を製造し始めました。メンバーはそこで働き、建築用のブロックや屋根のタイルを作りました。

MCS:土地を購入し、工場を建てるお金はどこから出たのですか？

Munro: 私達は、通称 Stromme 基金とよばれる Norwegian 基金から融資を受けました。それは最初の融資でしたが、少額の融資だったため、私達の目的に感銘を受けたナイロビのビジネスマンである私個人からも、いくつかの融資を受けました。

2003 年の半ばには、街のレイアウトと家のデザインが準備でき、土地の調査をするために測量士を雇いました。2003 年の終わりには、多くの建築資材を生産し、給水用のボアホールを掘り、地元自治体の郡議会に対し、新しい街の計画を提出しました。郡議会は、貧困層の人々が、実際に、快適な家を建て、それを維持できると思わなかったもので、私達の計画を長期間にわたり、検討しました。郡議会は当初困惑しましたが、郡議会に所属する一人のとても頭の切れる地域施設配置プランナーの一人の若い女性は、私たちの目的の意味を理解し、とても興味を持ち、プロジェクトを支持してくれました。

2004 年の 6 月に、法的な承認がおりましたが、法律の規定により、その計画が郡議会によって審査中であることを公表し、反対意見のある人には名乗り出るよう要請する必要がありました。2004 年の中旬に届いた最初の反対意見は、街がナイロビ国立公園からの野生動物の移動を阻害するというものでした。彼らは、スラム出身の貧しいメ

ンバー達が治安を悪化させると考え、また、地元のマサイ族が、キクユ族や、ルオ族やカレンジン族といった他民族が、マサイ族の近くに建設される新しい街に移住することを歓迎しないだろうと考えたのです。

実際のところは、首都であるナイロビの開発が行われたことにより、20 年前から、野生動物の移動の際にその地域は通過されていませんでした。その土地開発が行われたからこそ、私達はその土地を購入しようと考えたのですから。そして、環境影響評価 (EIA) を行うよう要請があり、それを実施しました。評価を実施するために、国家環境管理局(NEMA)が承認した著名な環境に関する専門家リストから、専門家を選ぶ必要があったので、私達は、リストの中から5人の最も優秀な専門家を選び、彼らは徹底的な評価を行いました。専門家グループのリーダーは、ナイロビ大学の環境バイオシステム工学部の長である Biamah 教授でした。EIA の評価チームは、Kaputei タウンは、今までみたなかで最も環境に配慮された都市開発であり、ケニア全土の見本となるべきものだという結論に達しました。そのことに、私達は、とても興奮しました。EIA チームは、環境、水資源、土壌、下水施設、廃棄物管理及びコミュニティーに与える社会経済的な影響という視点から分析を行い、野生生物に与える影響さえも検証されました。

EIA の報告に基づいて、公聴会が開催され、郡長官及びすべての利害関係者が出席し、反対派の人々も公聴会に参加しました。専門家の報告、述べられた利害関係者の意見、提出された文書による意見を元に、郡と州の当局によって計画が承認され、その後、地方自治体の地域議会も最終的に計画を承認しました。

MCS: 土地の広さはどのくらいですか？また、いくつの家が建設される予定ですか？

Munro: 土地は、300 エーカーです。街の中心地に建設予定の 2,000 の家屋と 3,000 の事業所は、他のエリアの経済開発の拠点となる予定です。また、街の幹線道路から6キロにおよぶ連絡道路と街中のすべての道路を建設する予定です。

Box1 は、巻末2に続く。

商品でなく、出発点としてのマイクロファイナンス

グラミン基金総裁兼 CEO のアレックス・カウンツ (Alex Counts) は、マイクロファイナンス機関 (MFIs) の試みが単なる金融サービス以上のものだとして位置づけている。カウンツは、スタンフォード・ソーシャル・イノベーション・レビュー誌 2008 年夏号「マイクロファイナンス再考」(参照: Box2) でジャミー・ボラ (Jamii Bora) のような MFIs を引き合いに出し、MFIs は商品ではなく出発点になるべきだと求めた。「MFIs のもっとも重要な資産は、ローン・ポートフォリオではなく世界の貧困層との良好な関係である。この新しいモデルで MFIs は貧困層との関係を金融面だけでなく、発展と多くの商品やサービスを分配するための出発点として利用する。」とカウンツは言う。

出発点として他のサービスを提供するマイクロファイナンスの別の例は、バングラデシュのグラミン・シャクティ

(Grameen Shakti、以下 GS) が挙げられる。GS の設立者であり、マネージングディレクターのディパル・C・バルア (Dipal Chandra Barua) は、再生可能エネルギーシステムを売り、もしくは貸し出しすることによってバングラデシュ中に広げた、この革新的な組織を率いている。全国展開しているグラミン銀行のマイクロファイナンス・プログラムのブランド力と設備投資のお陰で可能だった部分もある。GS は何万もの村民にソーラーシステムの家と再生可能エネルギー技術を普及させるよう組織され、前例のない成功を納めている。GS は 2008 年 5 月までに 180,000 戸以上のソーラーハウスを導入した。さらに、購入しやすく気候に優しい太陽エネルギーオプションを、地方に住む人たちにより多くより早く供給可能であると表明した。GS が導入したシステムは、年間 90,000 トンもの CO₂ 排出削減をしている。GS はそれ自体で全くの新しい技術を開発したわけではないが、出発点であるマイクロファイナンスを利用して革新的な分配システムを行使すれば貧困層が再生可能エネルギー技術にアクセスしうることを示した。

“事業を始めた 1996 年、ソーラーシステムの導入は年 2~300 戸に過ぎませんでした。今では月 8,000 戸以上を導入しています。2015 年までには百万戸を目標としていましたが、2010 年までに達成させたいと思っています。”とバルアは言う。こうして GS は 2,500 人の雇用と年間予算 3,000 万ドルの組織へと成長を遂げた。(参照 Box3)

[Box2 : マイクロファイナンス再考]

MFIs のほとんどは、貧困を減らすために設立されたが、多くは従来型の金融組織と同様の形を取った。その活動とローン・ポートフォリオが広がるにつれ、投資家への一貫した収益を求める商業・準商業型融資の開発をしている。例えば、コンパルタモスの 2007 年の新規株式公開の株主売却益は、8 年間にわたって毎年約 100% 複利のリターンとなった。

ある批評家は、最貧困層に仕える MFIs の儲け主義に疑問を呈している。多くの MFIs が経費削減分で得た利益を、低い金利として借り手へ還元していないからだ。また、ソーシャルサービスプログラム、インフラ、人材研修、社会的成果のリサーチの削減を指摘している。

対照的に他の批評家は、MFIs がまだ十分商業主義とは言えないことを懸念している。公約である社会的正義が最大収益性を阻んでおり、このため、概算 3,000 億ドルのサービス需要を満たすために必要な投資を引きつける能力を抑制しているという。(現在のローン供給量は概算で 150~250 億ドルと見積もられている。)

以上は間違った二極論である。私はマイクロファイナンスを単なる金融商品ではなく、世界の最貧困層で最も隔絶された人々への商品とサービス供給の出発点として提案する。

商品でなく、出発点

MFIs の最も大切な資源はローン・ポートフォリオではなく、世界中の貧困者との良好な関係である。新しいモデルでは、金融、非金融の商品とサービスを開発し、分配するために、この関係を出発点として有効利用するべきである。他の商業分野のように、すべての非金融商品で収益を出す必要もない。ときには「赤字販売」の状況が顧客を

引き付けるだろうし、既存の顧客と絆を深めたり、顧客が他の収益性のある商品を利用するよう促したりする。たとえば、子供のための学費ローンの場合、利用した学生が将来収益性のある金融商品を使う可能性がある。

薄利多売

遠隔地でのスモール・ローン・サービス提供による実質コストのため、マイクロファイナンスの利率は高い。MFIs の多くは、効率化によるコスト削減後も高い利率のままである。

MFIs は心配性の取締役や政策担当者を落ち着かせ、貧困へのインパクトを高めるためにも、数少ない高収益率より、数多くの低収益率を基本としたビジネスモデルを採用すべきである。バングラデシュとボリビアのマイクロファイナンス市場はこの薄利多売型の好例である。既に2,000万戸以上の家族がマイクロファイナンスのサービスを受けているバングラデシュでは、それに伴い15～30%幅で利率も下がってきている。ボリビアの初期の利率はバングラデシュよりかなり高く、1990年代中頃に50%だったが、現在は20%強程度と劇的に下がっている。同時期ボリビアのマイクロファイナンス産業は約20万人から60万人以上へと成長した。

全体的パフォーマンスの基準

二つの結果を求めるビジネスの実践では金融的且つ社会的リターンの両方を想定し、社会的パフォーマンスの基準をつくりその計測をしていかなければならない。社会的パフォーマンス基準は借り手とそのビジネスの成功を示す。それ以上に、定期的な借り手の進捗確認は、MFIs が今後ターゲットとするグループを決める助けとなるし、ベストプラクティスの特定・普及に役立つ。

最もわかりやすいマイクロファイナンスの社会的パフォーマンスの測定基準は借り手の貧困状況である。その比較的新しい測定方法はグラミン基金のPPI (Progress out of Poverty Index)で、the Consultative Group to Assist the Poor(CGAP)とフォード財団の全面的支援を得ている。PPIは2009年中頃までに38カ国以上、95%以上の世界の貧困地帯で使われるだろう。

さらなる評価へ

貧困減少を最大限にする事と長期間継続型ビジネスへの配慮は、両立し互いに強化しあう。マイクロファイナンスの長期的な実行可能性のためには、政治や適切な規制の支援だけでなく、借り手からの評価も要求される。もしMFIs が消費者を保護し、スタッフと投資家への商業的利益に道理にかなった制限を課し、貧しい借り手と利益を分け合ったら、政治家と政府の支持をもっと得るだろう。さらには、MFIs 同士との競争激化で、マイクロファイナンスは高利潤より多人数型のビジネスモデルを選択することとなるだろう。MFIs をこうしたビジネスモデルにシフトさせることは、いっそう評価を高めることになるだろう。

以上は2008年夏発行のスタンフォード・ソーシャル・イノベーション・レビュー掲載「マイクロファイナンス再考」の要約である。

[Box3: バングラデシュの村へのグリーンエネルギーとグリーン ジョブ]

エネルギー格差を破る最初の一步

1996 年 GS は再生可能エネルギー技術を通じ、クリーンで購入しやすいエネルギーが地方に住む人々に行き渡るよう設立された。

バングラデシュは太陽光に恵まれているため、GS は太陽光発電 (SPV) の普及を手掛けた。ソーラーシステムの家 (SHS) では、地方の家族が電灯・テレビ・ラジオ・携帯電話の恩恵にあずかることができる。前金が高いが、一度支払えばそれ以上のコストや局所的な停電、上がる一方の電気代に煩わされることはない。このことは未だ電力がひかれていない国内約 80% の人々と比べ、著しい生活向上と収入増加をもたらした。

地方向けのビジネスモデル

政府主導の地方へのエネルギー供給は、ほとんどの途上国で失敗している。対して GS は地方への先端技術供給に成功した。

最初の難題は基金獲得と地域社会のネットワーク作りだった。GS は今回のプログラムに合わせ、低金利のローンと無償資金に頼った。また、国内外の技術機関と共に技術者のリクルートと養成を組織の発展に合わせて行った。現在、GS のスタッフは 50% 以上技術者で占められ、バングラデシュ各地に派遣されている。また、現地技術者とユーザーにもトレーニングを行っている。これは地域雇用と地方支援、アフターサービスのコスト削減になっている。

次に、金融面と技術面の両方を地方の人向けに開発した。マイクロクレジットの革新的な応用として、SHS を購入しやすいよう、灯油と同じ経費にし、携帯電話販売や店内テレビ放送といった新ビジネスチャンスを作り、収入増加が保証されるようにした。マイクロ・ユーティリティ・モデル (Micro-Utility Model) のような特別パッケージは、技術と収入増加が繋がって、一つのシステムがたくさんの店主によってシェアされたのである。

当初、GS の技術者は家から家を回って、ソーラーシステムの家 (SHS) のデモンストレーションを効果的に行わなくてはならなかったが、村人たちが SHS の複数の恩恵に気づき始めると、自ずと売れるようになった。

販売増加に伴い一般経費が削減され、更なる融資のオプションを地方の人たちへ提供した。太陽光関連用品の現地工場は更に経費を削減し、2002 年には GS は損益分岐点に到達した。この成功は世界銀行と他の資金提供機関の注意を引き、GS は IDCOL (Infrastructure Development Company Limited) を通じて、ソフト・ローンの調達ができるようになった。

今後の展望:2015 年までの 100,000 人のグリーンエネルギー企業家の創出

GS はバイオガスとバイオガス対応レンジ (ICS: Improved Cooking Stoves) の普及も行っている。バイオガスプラントは家畜と共に暮らす地方の人々に調理用ガス、電灯、電力、有機肥料を提供する。家禽類の飼い主は大きな恩恵を受けることになる。家禽類のフンに悩まされず、エネルギー経費を減らしバイオガス提供によって副収入を得られるようになるからだ。バイオガス対応レンジは、煙がこもらない台所で調理ができる上、燃料費が半減するので女性の間で人気がある。GS は 2012 年までに 500,000 台のバイオガスプラントと 1,000 万台のバイオガス対応レンジの普及を目指している。

GS は、2015 年までに 100,000 人のグリーンエネルギー起業家(Green Energy Entrepreneurs) の創出と 30 ヶ所のグラミン技術センター開所を計画しており、地方の女性を技術者や起業家として育成している。

GS の展望は再生可能エネルギー技術のアクセスによる地域住民のエンパワーだった。将来的には、地方のグリーンジョブとグリーンビジネスをより発展させ、電灯、収入、健康、そしてクリーンなエネルギーをより多くの地方の人に提供することである。

マイクロファイナンスと保健教育の統合—未来への道

それはあたかも宗教的な経験だった。

マイクロソフト 共同創設者 ビル・ゲイツ

バングラデシュにて、BRAC のマイクロクレジットの借り手であるグループ訪問後

マイクロファイナンスを出発点とした、金融以外のサービス供給の例は、Freedom from Hunger と共に行ったキャンペーンで、マイクロファイナンスと保健教育の統合推進である。このキャンペーンはジョンソン&ジョンソン社の支援のもと、タミル・ナドゥ (Tamil Nadu) 州とアンドラ・プラデシュ (Andhra Pradesh) 州の二州をカバーした南インドで 2007 年 4 月から 15 ヶ月間の予定で試験的に開始された。また、SMSS (Star Microfin Service Society), PMDS (People's Multipurpose Development Society), MIDS (McLevy Institute of Development Services), Pioneer Trad の計 4 機関合同で運営され、4 人の地域トレーナーが交代で 100 人もの現地スタッフ育成にあたった。これらの現地スタッフたちは 15,657 人の借り手に対し「HIV/AIDS の予防と治療」「子供の疾病管理」「女性の健康」の三講座を行った。

借り手と家族への週一回のこの講座は、成果が見られた。例えば、病気の子供への適切な投薬に関する講座は、医師に対し必要な検査を要求するのに十分な情報と自信を借り手に与えた。何人かは徹底的な検査を行ってくれる新しい医師を探した。この試みは MFIs が借り手の健康増進になる保健教育のトレーニング拡張を希望しており、費用負担も可能である事を示した。

2009 年 3 月、このキャンペーンは国連人口基金 (UNFPA: United Nations Population Fund) と共同でアドボカシー

文書として正式に公表される予定である。文書には、マイクロファイナンスと保健教育の統合により、どのように貧困との攻防が根本的に変わり、また統合プログラムが普及されてきたかが、要約されるだろう。そして、この先駆的プロジェクトは貧困削減の目標に大きく前進し、世界規模で拡大し続けるに違いない。

商業主義：可能性と課題

誰一人として破産によって貧困を終えられた者はいない。

FINCA 創業者 ジョン・ハッチ (John Hatch)

マイクロファイナンスにおける商業主義の議論は、MFIs が収益を上げるべきか否かの二者択一の集中議論になりつつある。この議題はこれまできちんと議論されてこなかった。FINCA 創業者のジョン・ハッチが言う。「誰一人として破産によって貧困を終えられた者はいない。」この分野ではだれもが真剣に持続可能なマイクロファイナンス機関を目指している。今後の議論には、MFIs レベルでの利潤最大化か、より全体論的な成功の指標である MFIs と借り手による収益性と借り手の社会経済的状態の改善のどちらを選ぶかの論点も含まれる。MFIs と投資家による収益最大化と、その借り手への潜在的な悪影響は、業界内で、借り手保護の要請を加速させてきた。カウンツはこの議論を中立の立場からこう述べている。「商業化の傾向は、MFIs が今後世界の最貧困層に仕え続けるかどうかという批判を生んでいる。」彼は両サイドの批評家を引用している。一方の意見は MFIs の利下げや社会発展の計測は遅すぎ、社会奉仕プログラムの削減が早すぎるというものだ。他方では、MFIs は商業投資家にとって魅力的な収益率に達していないと言われる。商業資本は大勢の人々にサービスを行き届かせるのに必要であるにも関わらず。

カウンツは「MFIs は高い利ザヤを取るより、多くの顧客を得るとの視点を持たねばならないし、数少ない高収益率の取引より、わずかな収益率で多く取引する事を目的するべきである。」という。彼は今後マイクロファイナンスへの公的サポートが増えるだろう事だけでなく、今日のバングラデシュ・インド・ボリビアのように、いずれ競争激化の中で利ザヤを減らさざるをえない状況への準備でもあると述べている。

Unitus の理事兼 the Microcredit Summit Campaign Director's Advisory Group の議長で、民間起業家のスティーヴン・ファンク博士は、商業金融の参入という成長を歓迎し、この分野が同様に商業的になることを推進している。記事「マイクロファイナンスと商業投資の歩み寄り」(Box4 参照)で、ファンクは商業寄りの方向性を支持し、こう断言する。「マイクロファイナンス同様に重要なのは、マイクロローンを必要としている莫大な数の人たちだ。だからこそ、あらゆるタイプの商業投資家からの投資を受け入れられるようにすることが必須であり、貧困層へのニーズに対する一番のサービスである。商業投資家とは伝統的な銀行、投資銀行、民間投資会社、商業銀行、ヘッジファンドなどで、こうした人たちはマイクロファイナンスに巨額の商業資本を集めることが可能だからだ。」

2007 年 4 月、メキシコのコンパルタモス (Compartamos) の新規株式公開 (IPO) をきっかけに商業化の議論は強ま

った。メキシコを本拠地とする有名な MFIs のコンパルタモスは、30%に当たる IPO を投資家に売却した。これは最初の投資家に4億5000万ドルの利益をもたらし、会社に14億ドルの価値を与えた。この IPO を受け、一部の人たちは商業投資家が押し寄せる前兆で、今まで聞いたこともないような商業資本がこの分野に流れ込み、様々な制約がなくなり、明るい未来の到来ととらえた。他の人々は借り手への異常な程高い利率と（コンパルタモスの強固な自己資本ベースの基となっているのだが）、IPO で得た利益分配を借り手に認めない所有権構造を問題視した。

この議論で得られた良い結果は、消費者保護として重要な項目である利率透明化への強い要望が認識されたことだ。世界中の様々な MFIs で利用されているビジネスプランニングツールの開発者チャック・ウォーターフィールド（Chuck Waterfield）は、2008年7月インドネシアのバリで行われたアジア太平洋地区マイクロクレジットサミットにて MFTTransparency（以下 MFT）を設立した。MFT はクレジット商品の情報公開、及び価格の明確化と一貫性のために、立ち上げられた（Box5 参照）。支持を呼び掛けてから3週間後のバリサミットの閉会時には、全世界の MFIs に所属する借り手のうち、半数以上に当たる7400万人以上をクライアントとする MFIs が MFT を支持した。

マイクロファイナンスのコミュニティーで、新しい組織を導入するには一年の議論ののちだったとウォーターフィールドは説明する。“MFT の大きな恩恵の一つは、透明化がすべての MFIs で同時に始まったことです。MFT は共通の土俵をつくるのです。”

[Box4: マイクロファイナンスと商業投資の歩み寄り]

貧困層の人生に取りマイクロクレジット・ローンが生み出すメリットは素晴らしく、驚くが、それ以上に劇的なのは、多くの人々がマイクロクレジットのローンを必要としていることである。このニーズを満たすためには、マイクロファイナンスの商業投資は必要不可欠であると目される。

商業投資は巨額の資本金を集めることができる。マイクロファイナンスへのより多い投資資本は、より多くの貧困層へのサービス提供となり、貧困層救済につながるだろう。貧困層の利益は人類全体の利益になる。マイクロクレジットのローンは人間の尊厳と自給自足をもたらし、生活の安定性、自己実現、選択の自由そして何より平和をもたらす。

商業投資のチャンピオンは変わりつつある。商業投資家は、貧困層をかなりの投資機会と、また価値ある顧客層とみなし始めた。

1970 年代のムーブメント以来投資された資本以上の資本が、近年マイクロファイナンスに託されている。とはいえ、この記事を書いている現在、世界経済は混乱を極め、苦痛の真っ直中にある。

マイクロファイナンスはこの騒動に影響されないわけではなく、後退は避けられないし、失敗もあるだろう。時にマイクロファイナンスは、いともたやすく蚊帳の外に追いやられるだろう。どうすれば、マイクロファイナンス擁護者はこれから先の長きに渡りこうした局面を乗り切ることができるのだろうか？

マイクロファイナンス分野は報告と透明性を求める声に応じ、遂行していくことが必要となるだろう。そのためにも、投資の成長性を提示し続けていく必要がある。民間慈善事業と公共部門の資金だけでは、全世界の貧困層には手が届かない事実を、理解し受け入れるべきだし、商業資本投資を妨げることに對しても耳を傾けるべきである。貧困層はあまりにも多く、これまでの資金源だけでは救うことはできない。商業資本の参入は、純粋に現在の貧困緩和の可能性を増やし、より多くの貧しい人たちにマイクロファイナンスへのアクセスを与える。

最貧困層の人たちが最も廉価で役立つ資本供給者を探し当てるセンスがあり、且つ最も日和見主義の商業資本のプレーヤーたちが価格競争の必要性を理解していることを、何よりも信じるべきである。

マイクロファイナンスを推進している Unitus は、商業投資運動のリーダーである。4つの Unitus のエクィティ基金投資は2年以上をかけ、当初 220,000 人の借り手から 250 万人弱にまで成長した。これは 1 億ドル以上の株式、2 億 5000 万ドルの債券、現地通貨による投資方法のテンプレート作成の助力となった。最近 Unitus はマイクロファイナンスのために統合された商業銀行業の操業を開始した。こうした努力は貧困層にとってのチャンスにつながり、商業投資の価値を証明している。

商業投資市場から貧困層への歩み寄りとは、信じがたいほど革命的な出来事である。双方の信頼関係の構築によって、地上からの貧困の追放という、我々人類の悲願を達成する最高の機会がもたらされる。

Dr. Steven Funk, Private Entrepreneur and Chair of the Microcredit Summit Campaign Director's Advisory Group

[Box5:マイクロファイナンスにおける価格設定を透明にすること の必要性]

マイクロファイナンスは長きに渡り透明性の高い産業であり、そのことを誇りにしてきた。しかし、残念なことに、マイクロファイナンス・ローン製品の本当の価格はこれまで正確に計測されたことも報告されたこともない。この産業は貧困層への低金利クレジットの形をした金貸しにとって代われようとしている。

40 年前の米国・貸付法の年利算定式(APR)のような基準に基づいて正しい商品価格を表明するよう、多くの国々が商業金融業界に要求した。こうした法律の制定は消費者に情報を提供し数あるローン選択の助けになった。貸付法制定以前に存在していたような不均衡が現在のマイクロファイナンス産業に存在している。例えば、月率3%の利息の場合、適応方法により、年利 (APR) が36%から96%、もしくはそれ以上になってしまう。残念なことに、今日のマイクロファイナンスではこうした誤解がありふれている。なぜ価格透明性の原則が商業金融産業に適用されているのに、マイクロファイナンス産業は適用されていないのだろうか。

広く認識されているマイクロファイナンスの価格非透明性は、二つの理由で展開、継続されている。第一にはマイクロローンの市場金利が全く存在しないからだ。マイクロローンの利率は大手商業ローンより高くあるべきとの認識はされていたが、マイクロローンには「市場金利」自体ない事は、ほとんど認識されていなかった。全ての MFIs が同じコスト構造で取引しているなら、小さな額のローンは、ローンのコスト分と継続性の為に高めの金利が必要だ。なぜ MFIs は商業分野よりも高い利率が必要で、最貧困層に最も高い金利を課すのかを説明する代わりに考えられたのが、不透明な料金設定である。そこでは、実際の価格は見積もりよりはるかに高いのである。

第二に、いったん複雑な商品価格を広く使うと価格透明化はとても難しいものになる。透明化した場合、たとえ真の価格は低いとしても、市場で最も高い利率を表示しなければならない。結果として、ほとんどの MFIs は、そうでないことを望みながら価格の不透明化を選択する。

近年、目標が「持続可能なマイクロファイナンス」から「高利益のマイクロファイナンス」へと移行してきている。価格不透明な状況で操業していると、どこで商品価格を比べればいいのか誰も知らないため、高い利益を得られるよう価格設定する MFIs が出てくる可能性もある。不透明な価格を課せられた貧しい人たちから得た高利益は、マイクロファイナンス産業への悪印象と強い反発を生み出すかもしれない。

この現実により、マイクロファイナンス産業は徹底的な話し合いをもち、不透明価格に対処する新規構想が進行中である。構想の一つ「顧客保護キャンペーン」は、2008 年 4 月の会議後に「ポカンティコ (Pocantico) 宣言」を出した。透明性と価格公平性は、キャンペーンで主張された 6 つの原則のうちの一つである。

次の構想は MFT で、非営利組織として二つの共同作業により価格透明化に取り組む。まず、MFT は全世界のマイクロローンの商品価格を一般的、客観的な測定システムを用いて収集し報告する。二番目に MFT は同様に重要な、株主に利率と商品価格のコンセプトと構造をより理解してもらうための資料作成と普及に着手する。

価格透明化の努力は、マイクロファイナンス産業の長期間の生き残りのために必要不可欠だと議論されるだろう。主な公共メディアでは、すでにマイクロファイナンスの典型的な利率が報告されているが、なぜマイクロファイナンスの利率は以前信じられていたよりも高いのかや各機関の利率の差異が意味することなどについては、ほとんど説明がなされていない。何年間も隠されてきた不透明な価格は、もはや隠されていない。わかりやすく、本質的で適正な実質金利とは何かや、商業金融より高いマイクロファイナンス市場の利率の必要性が報告されなくてはならない。

価格透明化によって、自由市場で必要不可欠である、本当の商品価格についての透明な開かれたコミュニケーションの提供により、マイクロクレジット商品にとって健全で活力ある市場が形成されるだろう。

100 以上のマイクロファイナンス産業の関係者は MFT を支持している。そのリストはウェブサイトを確認し、登録、支持が出来る。

最貧困層の人々をマイクロファイナンスによってエンパワーすることを先導する世界銀行の好機

マイクロファイナンスにおける商業投資の批判から、投資家がラテンアメリカ、東欧、そしてここ最近ではインドのような国々に注目していることがわかる。しかし、アフリカ投資などは投資家のレーダーでは、わずかな瞬きにもならない。高効率の MFIs や裕福な借り手に注目する、理解しやすいが(貧困減少の展望からは)不適切な対応を受け、世界銀行に対し世界各国の国会議員 1,400 人以上が署名入りの何十通もの手紙で、マイクロファイナンスの商業化促進の結果、貧しい人たちを置き去りにしないと保証する様強く迫った。これらの手紙は、世界銀行が、高レベルのリターンを要求することは危険すぎると考えられたため商業マイクロファイナンスが提供されない一部の住民とすべての国々に、手を差し伸べる勇気を与えた。

世界銀行が「貧困からの脱出」を最終目標にしてスタートを切るならば、投資家が安全でより儲かると考える国々に群がっている間に、違う道程を描き始めなければならない。もっとも最近の手紙は 2008 年秋に回ってきたものでヒラリー・クリントン上院議員とバラック・オバマ上院議員(いずれも当時)を含む 93 人のアメリカ下院議員と 21 人の上院議員の署名が入ったものだ。この手紙は 3 つの行動を強調している。

- 1 日 1 ドル以下で暮らす借り手に届く MFIs 施設建設に、年間 2 億ドルの拠出
- 最貧困層へのサービスに成功している“centers of excellence”を三つの地域につくる。候補地は、バングラデシュのグラミン銀行とケニアのジャミ・ボラ (Jamii Bora) を含む。
- 好成績の貧困支援マイクロファイナンス機関拡大を促進するため、アフリカ地域アペックス・ファンド (apex fund) の設立

議員たちは手紙の中で、世界銀行総裁ロバート・ゼーリック氏に対しはっきりとこう述べている。“1 日 1 ドル以下で暮らす世界の 10 億人近い人々の存在は、現在最も差し迫った問題である... 我々は世界銀行が最貧困層へのマイクロファイナンス機関の設立援助により独創的な解決法が見つかり、そのモデルが検証されることを強く思う。”

サミットのゴールへの到達 1 日 1 ドルからの脱却

2006 年カナダ・ハリファックスで開催された世界マイクロクレジット・サミットにおいて、キャンペーンの第 2 段階は 2015 年までの二つのゴールに向けて開始された。

- 世界 1 億 7500 万戸の最貧困層の家族、中でも女性に自営業や他のビジネスのためのクレジットを受け取れるよう保証する。
- 1990 年から開始されている、1 日 1 ドル以下 (PPP: Purchasing Power Parity 購買力平価を適用) で暮らす世界 1 億戸の最貧困層の家族を 1 日 1 ドル以上 (PPP (5)) への引き上げを保証する。

一家族当たり 5 人と想定すると、全世界の 1 億 7500 万戸に上る最貧困層の家族は 8 億 7500 万人の家族構成員に影響を及ぼすことになる。1 億組の家族が 1 ドルの閾値を超えたなら 5 億人が極端な貧困から解放されたことになる。

今のところ、国際的な開発コミュニティはキャンペーンの目標達成がミレニアム開発目標の進展になるとの認識が欠如している。認識欠如が生じたのは、これらの到達目標がミレニアム開発目標の範囲外のためである。代わりに、市民が企画する一連の会議 (国連の会議でなく) と市民が設定した目標遂行によって、貧困終焉に大いに貢献するマイクロファイナンスのムーブメントが促されてきた。もう一つの開発コミュニティの認識欠如は、マイクロファイナンスが国際開発のチャリティー的なものではないという事実だ。

2015 年に向けたキャンペーンの新しい二つの到達目標の内、1 日 1 ドルの閾値を超えた大勢の借り手の計測は、極めて困難な課題である。この目標は、2015 年までに絶対的貧困を半減させる、とあるミレニアム開発目標に貢献するよう設定された。この目標は、180 カ国以上の国と地域が集まった 2000 年国連ミレニアム会議で設定された重要な 8 つの目標のうち、一番目に掲げられた目標である。この計測課題の採用は、計測可能な最貧困層到達への突破口という、キャンペーンのもう一つの貢献となった。

世界銀行の最近の報告 (6) によると、絶対貧困層の計測は 1 日 1 ドルから 1 日 1.25 ドルへと変更された。以前のマーカーは 1 日 1.08 ドルに設定されていたが、単純化し 1 日 1 ドルとしていた。この変更の理由は、発展途上国の生活費が上昇したためである。ミレニアム開発目標の絶対貧困層の半減も 1 日 1 ドルから 1.25 ドルに変更されるとの指摘がある。そうなれば、キャンペーンは新たに 1.25 ドルの指標を採用するだろう。キャンペーンが 1 ドルの目標を採用した最初の理由はミレニアム開発目標の貧困半減への貢献だからだ。

キャンペーンが行う 10 年単位の貧困の計測は、借り手の貧困を機関レベルで測定する先導的役割を担う助けになってきた。通常、MFIs は国レベルの統計に依存しているが、その仕事が絶対的貧困減少にどの程度貢献しているかは、測定コストがかかるため、わかることは滅多にない。キャンペーンが提起した貧困測定課題は 1997 年に

(5) 最初に国家で定めた貧困ラインの下半分に属し、その地点を超えた家族を含む。

(6) 「我々が思うより途上国の貧困は厳しい。それでも、貧困との闘いには勝利する。」

http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSCContentServer/IW3P/IB/2008/08/26/000158349_20080826113239/Rendered/PDF/WPS4703.pdf)

行われた第一回会議において、マイクロファイナンスが極貧撲滅で目安にする数量目標設定から始まった。キャンペーンは 1998 年に貧困計測グループを立ち上げた。結果として、同じ年に低コストの貧困計測キットを開発した。

1999 年から始まった、低費用の新しい貧困計測ツールは論文と 4 大陸の各総会の議会で提起され、同時期のキャンペーンのトレーニングビデオは、アジア・アフリカの 35 カ国の 3,000 人の実践者のクラスセッションで紹介された。これらのツールで相対的貧困を測定している間、絶対的貧困 (1 日 1 ドル以下での生活、もしくは各国の貧困ラインの半分より下の人たち) 測定を行う低費用の貧困計測ツールの開発と使用を求める画期的な法案が 2003 年アメリカで制定された。(これらのツールの開発は、キャンペーンが 2015 年に 1 日 1 ドルの閾値を超える動きを算定する目標設定を可能とした。)

ハリファックスサミットで目標が設定された時、世界の主な 15 の MFIs とネットワークは、借り手の 1 日 1 ドルの閾値以上への動きを測定するための信用できる方法を見つけられるよう努力し続けた。

最初は諮問委員会の構成から始めた。それは、マイクロファイナンスにおける貧困計測に関する識者からなり、以下を含む。Jonathan Morduch (NYU Public Policy and Economics 教授), Dean Karlan (イェール大 経済学准教授), Syed Hashemi (CGAP マイクロファイナンス・シニアスペシャリスト), Brian Beard (プログラムスペシャリスト), IRIS センター、John Hatch (FINCA International Founder), Alex Counts (グラミン基金総裁)。

当初、キャンペーンは各機関の貧困レベルに関する既存のベースライン・データ (できればパネルデータ) (7) を列挙し、借り手が 1 日 1 ドルの閾値を超えたかどうか判断のため分析した。

MFIs はベースライン・データの調査のような仕事はしたことはなかったため、キャンペーンは貧困スコアカードのカスタマイズ開発を、グラミン基金、CGAP、フォード財団、USAID などの支援のもとで実施した。このスコアカードは、USAID のマイクロファイナンスファンドの半分以上が最貧困層へ到達することを要求するアメリカの法律によって促進された。これらのツールがベースライン・データと、今後閾値を越える借り手の動きの計測の両方を提供できるということがわかってきた。表 2 は、キャンペーンによって組織されたスコアカード・トレーニングに参加した機関の一覧である。

最も興味深く生産的な戦略は、選ばれた国々の専門家の招集であると諮問委員会が明らかにした。これら専門家は、何人の借り手が 1 日 1 ドルの閾値を超えたかどうかの試算について、借り手本国の研究手法と彼らが行った他の方法の両方を用いている。最初にバングラデシュで委員が集まり、最も客観的で透明性のある、1 日 1 ドル以下で暮らす借り手数の計測法として、全国規模のリコール法の実施を決めた。この要望を受けキャンペーンは 2008 年終りに調査を開始する予定だ。

(7) パネルデータは同じ借り手を 2 期間以上調査すること。

Table 2: Institutions Trained on the Poverty Scorecard

Access Development Services, India
Association for Social Advancement (ASA), Bangladesh
Bangladesh Rural Advancement Committee (BRAC), Bangladesh
Bina Swadaya, Indonesia
Development Promotion Group, India
Friends of Women's World Banking (FWWB), India
National Bank for Agriculture and Rural Development (NABARD), India
National Confederation of Co-operatives (NATCCO), Philippines
PADAKHEP, Bangladesh
Palli Daridra Bimochon Foundation (PDBF), Bangladesh
Pakistan Poverty Alleviation Fund (PPAF), Pakistan
Samurdhi Authority, Sri Lanka
Sarvodaya Economic Enterprises Development Services (SEEDS), Sri Lanka
SHARE, India
Small Industries Development Bank of India (SIDBI), India
Spandana, India
Sri Kshetra Dharmasthala Rural Development Project (SKDRDP), India
Thengamara Mohila Sabuj Sangha (TMSS), Bangladesh
Vietnam Bank for Social Policies (VBSP), Vietnam
Vietnam Women's Union, Vietnam

この調査は、全バングラデシュ 4,000 人の借り手代表者によって指揮される。インタビューは借り手の家で直接行われ、世帯の構成員、収入、支出に関し、1990 年に遡ってデータ収集を行う。このアプローチの取りまとめと精度向上のために、インタビューでは「家族史」を尋ねることでリコール法の助けとする。1990 年から 2008 年に 1 日 1 ドルの閾値を超えた、マイクロクレジットの借り手の数の見積もりは 2009 年夏に完成の予定である。

調査方法

マイクロクレジット・サミット・キャンペーンは、マイクロクレジット・サミット・キャンペーン・レポート作成のために、11 年間にわたりデータを収集し、過去 9 年間のデータを検証した。

その検証プロセスは、以下のとおりである。

- (1) 数千の実施機関に対し、実務機関アクションプラン(IAPs) を配布し、最新データの提供を依頼
- (2) 世界中の大規模な 200 の MFIs に対し、データ提供を促進する電話キャンペーン
- (3) 大規模な MFI より提供されたデータを、第 3 者機関が確認する検証作業

(4)データの編集及び分析

(5)レポートの作成と出版

10年間以上にわたるこの検証プロセスを行うことにより、MFIsから非常に膨大な一次資料を収集してきた。

ほとんどの場合において、本レポートのデータは、独立した機関より提供されたものだが、ネットワーク機関から提供されたデータもある。二重集計を防止するため、キャンペーンは、ネットワーク機関からのデータを分析し、そのパートナー機関から提供されたデータと重複の可能性がないかどうかを確認する。ネットワーク機関からのデータが集計されるかどうかに関わらず、ネットワーク機関は、支部からのデータ提供を促進する重要な役割を担い続けており、キャンペーンはその支援に対し非常に感謝している。今年のデータ集計において、極めて重要な支援を提供してくれたネットワーク機関及びその他の機関の全リストは巻末1に掲載している。

2008年11月18日時点で、7,478の機関がマイクロクレジット・サミット・キャンペーンの15の評議会のメンバーとなっている。そのうち、143国からの4,845の機関が、実施機関評議会のメンバーである。2008年度には、861の実施機関がアクションプランを提出し、そのうち、はじめてアクションプランを提出したのは、173機関だった。この861の実施機関は、最貧困層の借り手の86%をカバーしている。よって、本レポートの86%は最新であり、残りの14%が1年以上経過しているデータになる。また、1998年にアクションプランの収集を始めてから、3,552の実施機関からプランを収集したことになる。

今年度の機関より提出されるアクションプランにおいて、実施機関は、次の項目において、2007年12月31日時点の実数値、2008年及び2009年12月31日時点の計画上の数値を提供するよう求められた。

- 1) 現行の借り手の人数 (現在融資を受けている借り手の人数)
- 2) 現行の借り手における女性の割合
- 3) 現行の借り手のうち、初回の融資を受けた時点で最貧困層だった借り手の総数
- 4) 該当があれば、最貧困層の借り手の数を確定するために使用された貧困測定ツール
- 5) 最貧困層の借り手の女性の割合
- 6) 初回の融資の平均規模
- 7) 現在貯蓄をしている総数
- 8) 貯蓄者の平均貯蓄額
- 9) 最貧困層だった借り手のうち、貧困ラインを超えた人の割合
- 10) 初回の融資を受けた時点で最貧困層であったが現在は貧困ラインを超えた借り手の数を確定するために使用した効果測定ツール
- 11) 提供された金融サービスもしくはビジネス開発サービス
- 12) 機関が達成した営業自己採算性(operational self-sufficiency, OSS) の割合 (8)

(8) 多くの機関にとって、財務自己採算性 (financial self-sufficiency, FSS) を正確に報告するための収益と必要経費の調整は、非常に困難だったため、2006 年度より、キャンペーンは、機関の財務状況を計るために、FSS に代わって営業自己採算性 (OSS) を問い合わせることにした。OSS とは、各 MFIs が、営業上及び財務上の必要経費や貸付損失準備費用を含めた必要経費を営業収益でどの程度カバーできているかを測定する。

2007 年度には、キャンペーンは、1日1ドル以上の生活水準を超えた借り手の数についての問合せを開始した。このデータの収集及び検証についてはより厳正な方法がとられており、この指標についての結論はまだ報告することができない。

毎年、キャンペーンは、全データは自己申告によるものであることを強調している。しかし、マイクロクレジット・サミット・キャンペーンのスタッフは、実施者から受領した全てのアクションプランを点検し、提出されたデータに疑問点があれば明確な回答を求め、疑問点が解決されない場合はそのデータはレポートから排除している。

借り手の到達人数

2007年の12月31日現在、3,552のMFIs(9)によって、現行の借り手が154,825,825人に到達したことが報告された。そのうち、106,584,679人の借り手はプログラム開始の時点で最貧困層だった。この数値の達成されたことにより、10年前に設定された目標が実現されました。最貧困層の借り手のうち、およそ90.6%はアジアの人々であり、そこでは世界中の1日1ドル未満の生活水準(10)の人々の約63.5%が生活している。

2000年度に、キャンペーンは、独自にデータについての検証をはじめた。到達した借り手の総数、女性の割合、最貧困層の割合、女性の最貧困層の割合についての数値の検証を依頼できるドナー機関、調査団体、ネットワークやその他の機関を、アフリカ、アジア、そしてラテンアメリカの主要機関から紹介してもらった。そして、紹介された機関や団体へ、以下文面を含む文書を送付し、MFIsから提供されたデータの確認を依頼した。“「確認作業」とは、実際にプログラムの現場を訪問し、上級職員に面会し、実施されている営業の諸側面を検証し、機関自体及び機関により提出された下記記載の数字が、確かに信頼できるものであるとあなたが判断することです。”データ検証を受けた機関の全リストは、付録1に掲載している。

マイクロクレジット・サミット・キャンペーンの2000年度のレポートにおいて報告された、最貧困層の借り手の2/3を

(9) 3,552 機関のうち、2008 年度には 861 機関が IAP を提出した。残りの 2,691 機関は、その前年度にデータを提供しており、本レポートにはその数字も含まれている。

(10) 発展途上国世界は、思ったより貧しいけれど、貧困との闘いは、思ったより成功している。

http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/IW3P/IB/2008/08/26/000158349_20080826113239/Rendered/PDF/WPS4703.pdf

占める78の機関が提出したデータが、第3者機関によって検証された。今年は、最貧困層の全借り手の80%を占める84,916,899最貧困世帯に融資を行った284の機関のデータが検証された。

Table 3: Results of the Verification Process, 2000–2008

Year	Number of Institutions Verified	Number of Poorest Clients Verified	Percent Verified of Total Poorest Clients Reported	Total Number of Poorest Clients Reported
2000	78	9,274,385	67	13,779,872
2001	138	12,752,645	66	19,327,451
2002	211	21,771,448	81	26,878,332
2003	234	35,837,356	86	41,594,778
2004	286	47,458,191	87	54,785,433
2005	330	58,450,926	88	66,614,871
2006	420	64,062,221	78	81,949,036
2007	327	79,181,635	85.2	92,922,574
2008	284	84,916,899	80	106,584,679

はじめて報告を行った機関における借り手の増加

毎年、キャンペーンは、これまでアクションプランの提出実績のない機関に対し、その提出を求める多大な努力をしている。2001年には、最貧困層の借り手数の増加分のうち57.8%は、はじめて報告を行った機関の借り手数の増加が占めていたが、その主要な部分は、過去4年間にわたり劇的に拡大した国立農業農村開発銀行 (NABARD) による増加が占めていた(11)。本年度のデータにおいては、借り手の増加のうち4.1%が、はじめて報告を行った機関によって占められている。

(11) 国立農業農村銀行(NABARD)は、2001年度のレポートで初めて報告を行った2つの非常に大規模な機関の一つである。NABARDは、インドの農業農村開発部門における最大の開発銀行である。インドにおける自助グループ (SHG) 運動を推進する上で、過去10年間にわたり中心的役割を担っており、その運動により貧困層及び最貧困層の女性達は、自らグループを組織している。SHGのメンバーは、メンバー間で貯蓄、融資を行い、自らの手でグループの運営も行っている。発展したSHGは、国中にネットワーク化した支店をもちその資産力を高めている一般銀行組織と提携するようになっている。2001年度のキャンペーンレポートにはじめてNABARDの借り手数が掲載されたが、その借り手数 (総数と最貧困層の数) の増加は、NABARDプログラム自体の劇的成長の結果なのである。

NABARDのパートナーである銀行やNGOのいくつかは、マイクロクレジット・サミット・キャンペーンのメンバーでもあり、アクションプランを提出している。したがって、二重集計を防ぐために、それらの機関から提出された数字の一部は、NABARDの提出した数字から差し引かれている。そのように集計した結果、NABARDの借り手総数は、40,413,953人となり、そのうち32,331,163人は、プログラムに参加した時点で最貧困層でだった。このような集計は、2002年度に始めて実施され、2006年度にアップデートされた。そのアップデートは、キャンペーンに対し報告を行った5000人以上の最貧困層の借り手がいる66のインド国内の大規模な機関から収集されたデータに基づき行われた。それらの機関は、自己のSHGが銀行と提携している割合（例えば、NABARDの数値に含まれている割合）を報告した。この報告に基づき、借り手総数、女性の借り手総数、最貧困層総数、最貧困層の女性総数を計算する際には、NABARDのから提供された数字から17.051%が差し引かれた。

Table 4: Growth in Poorest Clients Resulting from Institutions Reporting for the First Time

Year	Percentage
2000	22
2001	57.8
2002	33.8
2003	27.5
2004	5.8
2005	6.6
2006	6.8
2007	4.1

1997年度末時点で、760万人であった最貧困層の借り手が2007年度末には1億660万人まで増加しており、10年間で1302%の増加率となっている。

Table 5: Progress from 1997 to 2007

Date	Number of Programs Reporting	Total Number of Clients Reached	Number of Poorest Clients Reported
12/31/97	618 institutions	13,478,797	7,600,000
12/31/98	925 institutions	20,938,899	12,221,918
12/31/99	1,065 institutions	23,555,689	13,779,872
12/31/00	1,567 institutions	30,681,107	19,327,451
12/31/01	2,186 institutions	54,932,235	26,878,332
12/31/02	2,572 institutions	67,606,080	41,594,778
12/31/03	2,931 institutions	80,868,343	54,785,433
12/31/04	3,164 institutions	92,270,289	66,614,871
12/31/05	3,133 institutions	113,261,390	81,949,036
12/31/06	3,316 institutions	133,030,913	92,922,574
12/31/07	3,552 institutions	154,825,825	106,584,679

図1は、1997年度から2007年度までに到達した最貧困層の借り手数の増加の推移を示している。

<Figure1>

Figure 1: Growth Trajectory, 1997–2008

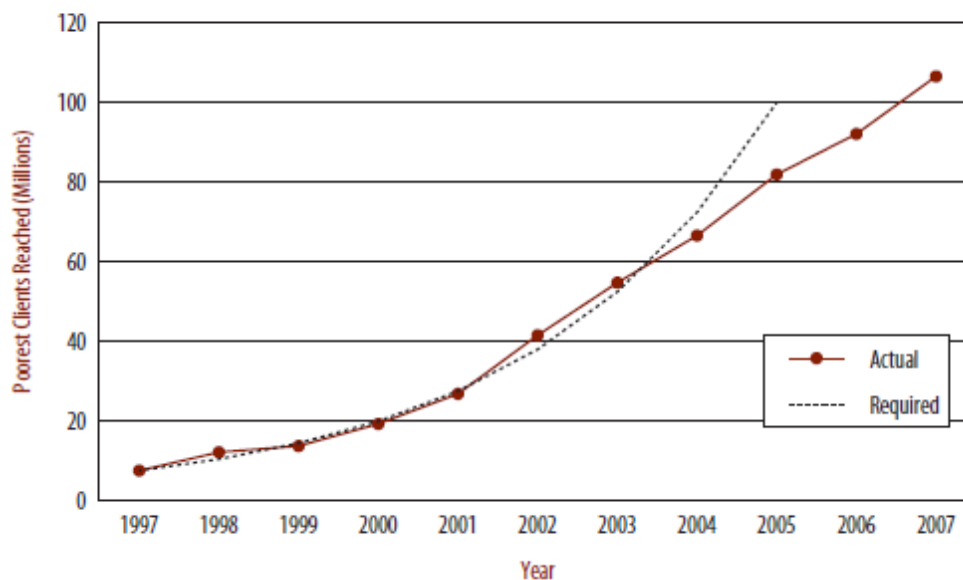
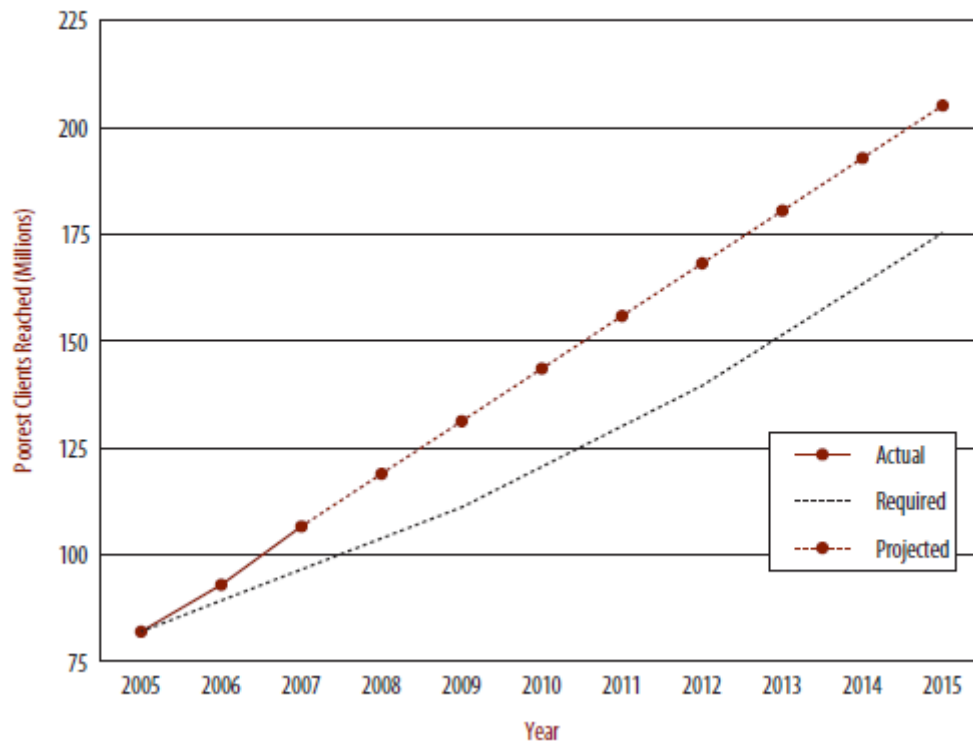


図2は、2005年度からの実際の増加と、2015年度までの増加予測、及び2015年までに1億7,500万人に到達するために必要な増加を示している。

<Figure2>

Figure 2: Growth Trajectory, 2005–2015



機関の規模による借り手の分布

2007年度に到達した1億660万人の最貧困層の借り手のうち、9,400万人 (88.2%) は、10万人以上の借り手がいると報告されている76の独立又はネットワーク化した主要機関からの融資を受けている。表6は、本レポートにデータが掲載されている3,552機関の規模による内訳を示している。

Table 6: Institutions by Size

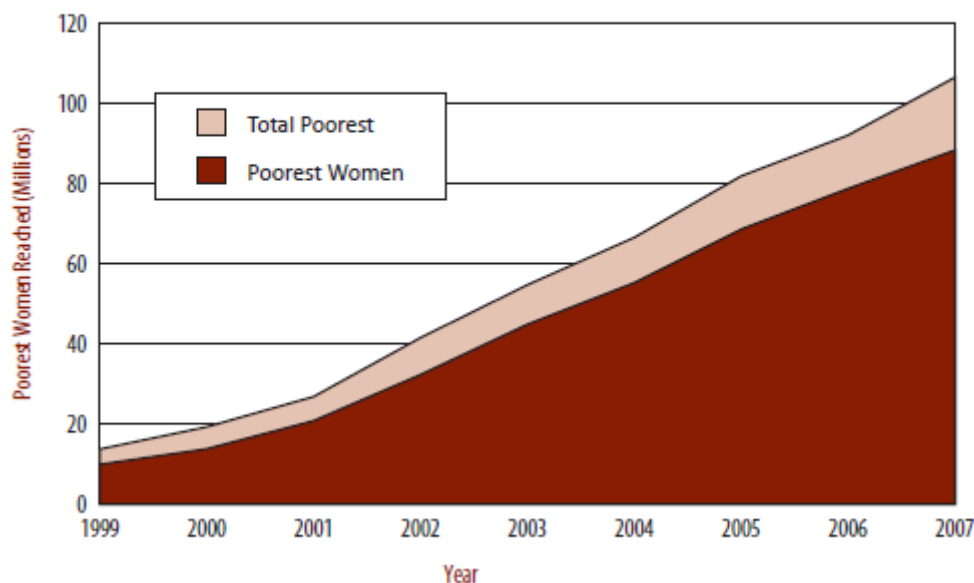
Size of Institution (in terms of poorest)	Number of Institutions	Combined Number of Poorest Clients	Percentage of Total Poorest
1 million or more	10	28,098,014	26.36
100,000–999,999	60	17,184,064	16.12
10,000–99,999	310	8,525,154	8.00
2,500–9,999	533	2,608,463	2.45
Fewer than 2,500	2,633	1,454,464	1.36
Networks ¹²	6	48,714,520	45.70

到達した女性の借り手

2007年度末時点で到達した1億660万人の最貧困層の借り手のうち、83.2%を占める8870万人が女性である。融資を受けた最貧困層の女性は、1999年12月31日時点の1,030万人から、2007年12月31日時点では8,870万人まで増加している。これは、1999年12月31日から2007年12月31日までに到達した最貧困層の女性の総数が、764%増加したことになり、過去8年間でマイクロ融資を受け取った最貧困層の女性が7,800万人増加したことを示している。

<Figure3>

Figure 3: Growth of the Number of Poorest Women in relation to Total Poorest



(12) SERP, FWWB, NABARD, BRDB, ACCU, TNCDW を含む。

貧困測定ツールの使用

マイクロクレジット・サミット・キャンペーンの最大の課題は、最貧困家計へ支援をするコミットメントと、質の高い貧困測定ツールの不足のギャップを埋めることにある。

2000 年からマイクロクレジット・サミット・キャンペーンは実施者に対し、最も貧しい借り手の確認に貧困測定ツールを使っている場合、どのツールを使用しているのかを問い合わせている。2000 年にアクションプランを提出した 512 機関のうち、3 分の 2 の 341 機関が、見積もりではなく貧困測定ツールを使っていると報告した。今年は、データを提出した 861 機関のうち 55.4% (477 機関) が見積もり以外の貧困測定ツールを使っていると報告している。

地域データ

報告のあった 3,552MFIs のうち、935 がサハラ以南のアフリカに、1,727 がアジア・太平洋地域に、613 が南米及びカリブ海地域にあった。

中東及び北アフリカ、東ヨーロッパ及び中央アジア、そして北米の地域データ収集の際、キャンペーンは 3 つの大規模機関による数値を使用する。2006 年以降、中東及び北アフリカでの借り手の総数は Sanabel から、東ヨーロッパ及び中央アジアでの総数は Microfinance Center (MFC) から、北米での総数は Aspen Institute から提供されている。これら機関からのデータには、支援を受けた最貧困の借り手に関する情報は含まれていない。マイクロクレジット・サミット・キャンペーンメンバーであり、アクションプランを提出しているネットワークパートナー MFIs もある。カウント重複を避けるため、これら MFIs によって報告された借り手総数は、Sanabel、MFC、Aspen Institute から受けた総数データから差し引かれている。Sanabel Network が報告したデータには 60 メンバーが示されているが、そのうち 39 メンバーがキャンペーンに報告をしている。さらに、MFC のデータにある 100 メンバーのうち 51 メンバーが、また、Aspen Institute の 30 MFIs のうち 22 がキャンペーンに報告を行っている。

Table 7: Regional Breakdown of Microfinance Data

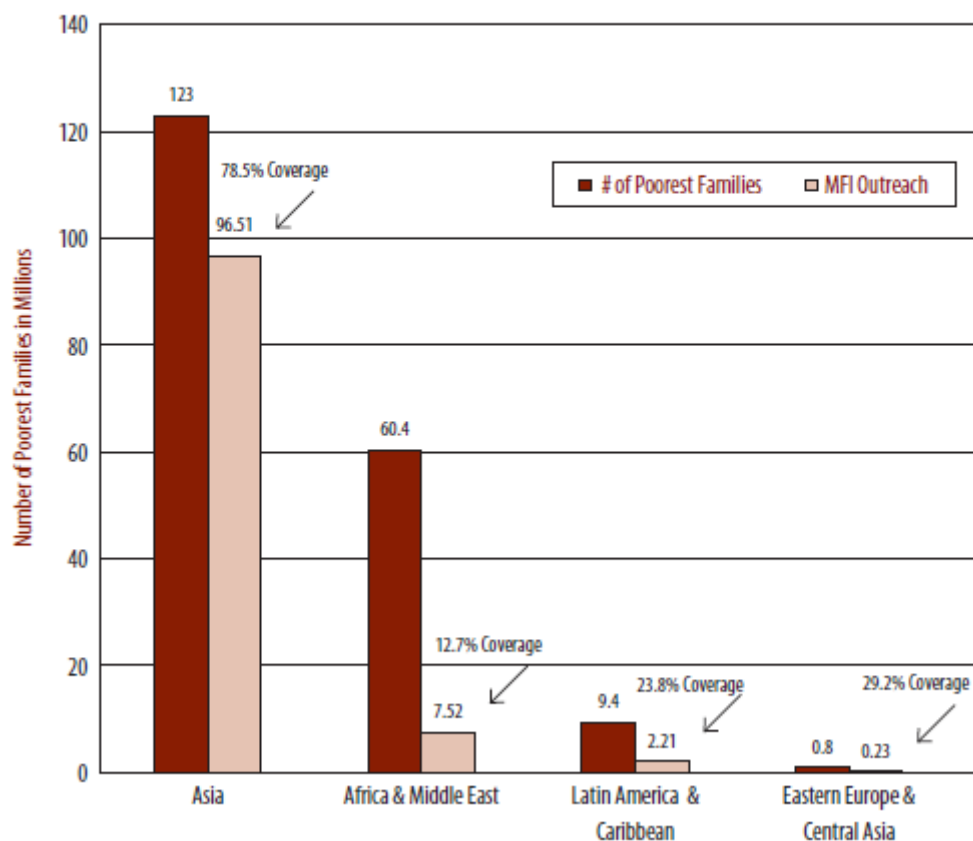
Region	Number of programs reporting	Number of total clients in 2006	Number of total clients in 2007	Number of poorest clients in 2006	Number of poorest clients in 2007	Number of poorest women clients in 2006	Number of poorest women clients in 2007
Sub-Saharan Africa	935	8,411,416	9,189,825	6,182,812	6,379,707	4,036,017	3,992,752
Asia and the Pacific	1,727	112,714,909	129,438,919	83,755,659	96,514,127	72,934,477	82,186,663
Latin America & Caribbean	613	6,755,569	7,772,769	1,978,145	2,206,718	1,384,338	1,450,669
Middle East & North Africa	85	1,722,274	3,310,477	755,682	1,140,999	621,111	890,418

Developing World Totals	3,360	129,604,168	149,711,990	92,672,298	106,241,551	78,975,943	88,520,502
North America & Western Europe	127	54,466	176,958	25,265	109,318	11,765	72,576
Eastern Europe and Central Asia	65	3,372,280	4,936,877	225,011	233,810	142,873	133,815
Industriali zed World Totals	192	3,426,746	5,113,835	250,276	343,128	154,638	206,391
Global Totals	3,552	133,030,914	154,825,825	92,922,574	106,584,679	79,130,581	88,726,893

図 4 は、各地域で絶対的貧困の中に暮らす家族数 (PPP 調整ベースで 1 日 1US ドル未満で生活する人々) と、2007 年末に各地域でマイクロローンを受けたと報告された最貧困家計数の関係を示す。

<Figure4>

Figure 4: Regional Breakdown of Access to Microfinance¹³



成長を阻む金融危機と食料・燃料価格の変動

当レポートは 2007 年の借り手数の推移に関する最新情報を提供しているが、2007 年も過去 10 年間同様強い伸びを見せた。しかし 2008 年の金融危機と、食料・燃料価格の高騰及び変動が、2008 年・2009 年のマイクロファイナンス拡大に暗い影を落としている。

マイクロクレジットサミットEニュースの特別号に掲載するため、2008 年 10 月 13 日にキャンペーンは、世界のマイクロファイナンス指導者 13 人に調査を行った。アジアでは 4 人、アフリカ、南米ではそれぞれ 3 人の実施者に以下の質問がなされた。

- 1) 今回の世界的金融危機はあなたの機関にどのような影響を与えているか、または与えていると思われるか。さらに、もし影響があるなら、どのように対応しているか。
- 2) 食料・燃料価格の上昇は、貴方の機関にどのような影響を与えているか。あなたや借り手は、この課題にどう対処しているか。

また、3人の投資マネージャーは、金融危機は、マイクロファイナンスの投資家にとって、どのような影響を与えているか、そしてどのようにそれに対応しているかを問われた。

これらの地域では状況が急速に変化することを考えると、上記の質問に対する回答はその時の状況を反映しただけにすぎないと思われる。それでもキャンペーンがすぐにその回答を何千ものキャンペーンメンバーに公表することで、メンバーがMFIsや利害関係者に、抱えている問題とその問題がどう対処されたかを知らせることができるかもしれない。

どの回答にもいくつかのテーマがある。すでに回答者の多くが、コストの上昇と貸付資金の市場からの枯渇を目の当たりにしている。ドイツ銀行コミュニティ開発グループ、ディレクターのAsad Mahmoodは、“(大規模) MFIsは、ほとんどが資金の大部分を海外投資家から得ているため、マイクロファイナンス業界は来年、流動性危機に直面するでしょう。MFIsがサポートできないレベルにまで価格が達してしまっていて、大型ファンドの市場参入が遅れています。信用危機以前、AAAの海外発行債券はロンドン銀行間取引金利(LIBOR)よりも150ベース・ポイント高く取引されていましたが、現在では500ベース・ポイント前後になっています。”と語った。

シティグループ・グローバルマイクロファイナンスセンターのグローバル・ディレクター、Robert Annibaleは以下のように語り、上記の見解を裏付けた。“マイクロファイナンスセクターはフォーマルな経済と相関性がないという考えに、疑問の声が上がってきています。一連のマイクロファイナンス担保の債務構造は消滅してしまったのも同然です。各国通貨の価値が劇的に下がっているため、ヘッジなしの借入と関連している外国為替リスクが現在重要になっています。投資家がリスク回避傾向を強めているため、カントリーリスク・プレミアムや各国のクレジット・スプレッドが増えています。多くの国で国内銀行の流動性が引き締められ、消費者の信用状況の悪化が見られます。”

このような情勢の変化を踏まえ、多くの MFIs のリーダーが、今回の信用危機が最終的に返済率にどのような悪影響をもたらすかについて語った。SHARE (インド) の Managing Director である Udaia Kumar はこう話す。“SHARE は、銀行や他の金融機関が直面している流動性危機による、資金調達難に見舞われています。“原則として”、SHARE は 1 億 5560 万米ドルもの大金を低金利で借りられることになっていますが、銀行や金融機関が法外に高い金利を設定しようしたり、役員の個人的な保証を迫ったりという奇妙な状況が起こっており、SHARE が資金を活用できなくなっています。こういった事態は、我々が借り手の皆さんと 20 年の月日をかけて築いてきた信頼を損ね、信用性に悪影響を与えるため、インドの MFIs、特に SHARE にとって憂慮すべき問題です。借り手の方々が期限内に返済をしないなどといった結果を招きかねません。現在、SHARE と借り手の方々との関係は良好です。”

MFIsの多くが、(銀行が当然行っているように)貯蓄を動員して借り手にまた貸しができずにいる一方で、それができるMFIsもある。エチオピアのAmhara Credit and Savings Institution (ACSI)がそうだ。Managing DirectorのMekonnen Yelewem Wessenは、“満期のミスマッチによって、MFIsが経済的に存立できるにも関わらず、預金者がMFIsを危機に陥れる“銀行の取り付け騒動”が起こり得ます。今回の金融危機がすでに世界中で“ドミノ”効果を生み出してしまっているのです、ACSIとその監督機関はこの危機への対応を深く考えなければいけません。”と語った。

ホンジュラスのOrganizacion de Desarrollo Empresarial Femenino (ODEF)のExecutive DirectorであるSanta Isabel de Eucedaは、世界的な経済の低迷が借り手とODEF自体に与える影響について語った。“私たちの借り手の大部分は、組み立て工場が広がる地域に住んでいます。これらの工場で作られる製品は米国輸出向けのため、このセクターは金融危機の影響を最初に感じます。金融危機で収入の減少と解雇が起こり、工場の従業員が働く零細企業での売り上げが減少しています。これにより、その地域の借り手のローン返済能力が低下し、既存ローンの調整を余儀なくされます。”

Pro Mujer (ボリビア)のExecutive Director、Carmen Velascoは、経済の低迷、特に食料価格の上昇は深刻な影響を与えると見ている。“食糧危機と原油危機は、確実に借り手の方々に影響を与えました。金融危機よりも早く、借り手の方々の生活に影響が出てしまっています。経済の停滞は悪循環を生み出しかねません。借り手の方々の収入が減れば、食料を買う量を減さなければなりません。この影響は、とりわけ子供たちにとっての、危険な栄養レベルという形で出てくるのです。”

Velascoは、1日1ドルまたは2ドルで生活する人々の数の増加を、借り手となる見込みのある人々への支援機会と見る。しかし、今は成長率が抑えられる時期だと考えるリーダーたちもいる。パキスタンのKashf社長、Roshaneh Zafarは、成長予想を50万顧客から35万顧客へと下方修正したと語った。また、コストの増加については、“最近のスタッフへの調査で、現在働いているスタッフの50%が給与体系に不満を持っており、スタッフへの生活費の調整に対する期待が目に見えて大きいということが明らかになりました。”と話した。Zafarによると、MFIsができることは、1)この時期は儉約を心がけ、ゆっくりと成長する、2)借り手と密に連絡を取る、3)効率を上げる方法(価格上昇への対応策)を考える、4)全体のコンプライアンスとモニタリングを向上させる、5)流動性を保つ、である。

すでに金融危機の影響を目の当たりにしている実施者もいれば、影響がもうすぐ出るだろうと考えている者もいた。これらの課題と食料・燃料価格の変動には、全利害関係者の意見が必要である。2008年10月のEニュースでの議論は、www.microcreditsummit.orgに掲載している。

2008 年度以降の地域会議

マクロクレジット・サミット・キャンペーンは、目標の到達(表 8 参照)に向け、最善の実践方法を促進し行動を喚起するために、実務者、支持者、ドナー機関、銀行、非政府組織、その他の関係者を現地に集め、主要地域会議と世界会議を開催している。それらのサミットは、地球上の貧困を終焉させるための強力な手法としてマイクロファイナンスを使用する長期戦略の極めて重要な一端なのだ。広範囲の関係者グループに革新的なプログラムを紹介することにより、サミットはその革新を広めるプロセスを促進することができる。前述したように、キャンペーンによる最貧困層に重点をおいた貧困測定への取り組みは、地域及び世界サミットで紹介され促進のきっかけとなった業績の一例である。

2008 年には、キャンペーンによって、一連の地域及び世界会議の第 12 回となる会議が開催された。2008 年の 7 月 28～30 日に、インドネシア、バリ島のヌサドゥアで開催されたアジア太平洋地域マイクロクレジット・サミットには、50 カ国から 900 人以上の代表者が参加した。キャンペーンは、会議開催において、全国的なマイクロファイナンス・ネットワークである Gema PKM 及びインドネシア銀行から協力を受けた。会議プログラムとしては、6つの全体集会、24 のワークショップ、12 以上の関連セッション、及び、4つの終日コースが開催された。回答者のうち 75%が全体会議を「非常によい」もしくは「良い」と回答し、ワークショップについても、80%以上が同様の回答を行った。キャンペーンは、インドネシア大統領 Susilo Bambang Yudhoyono、Ani Yudhoyono 大統領夫人、ノーベル賞受賞者である Muhammad Yunus、ペルー前大統領 Alejandro Toledo、インドネシア銀行頭取 Boediono といった著名な方々を迎えることができ、そのサミットは、インドネシアの Yudhoyono 大統領と Yunus 教授との、インドネシアにおけるマイクロファイナンスの強化に関する会合の実現のきっかけとなったのだ。また、サミット開催は、MFTransparency (Box5 参照) の立ち上げにも貢献することとなった。

次回の地域サミットは、2009 年の 6 月 8～10 日にコロンビアのカルタヘナで開催予定であり、コロンビアの Álvaro Uribe 大統領、ノーベル賞受賞者 Muhammad Yunus 教授をはじめ、ラテンアメリカ-カリブ地域マイクロクレジット・サミットのメンバーである 35 カ国から 1,000 人以上の代表者が参加予定である。このサミットは、キャンペーンによって主催される 13 回目の地域及び世界会議となり、コロンビア国内のマイクロファイナンス業界の発展促進の原動力となっている Banca de las Oportunidades との共同開催となる。参加者は、幅広い種類の、ラテンアメリカとカリブ地域のマイクロファイナンスにおける専門家達による本会議、ワークショップ、終日コース、及び様々な評議会会議に参加することができる。詳細は、キャンペーンのウェブサイト参照。 www.microcreditsummit.org

Table 8: List of Previous and Upcoming Summits

Year, location	Summit	Attendance
1997 Washington DC, USA	Microcredit Summit	2,900 delegates from 137 countries
1998 New York City, USA	Global Meeting of Councils	1,000 delegates from 107 countries
1999 Abidjan, Cote d'Ivoire	Global Meeting of Councils	600 delegates from 85 countries
2000 Harare, Zimbabwe	Africa-Middle East Regional Microcredit Summit	580 delegates from 50 countries
2001 Puebla, Mexico	Latin America-Caribbean Regional Microcredit Summit	600 delegates from 34 countries
2001 New Delhi, India	Asia-Pacific Regional Microcredit Summit	660 delegates from 32 countries
2002 New York City, USA	Microcredit Summit + 5	2,000 delegates from 100 countries
2004 Dhaka, Bangladesh	Asia-Pacific Regional Meeting Microcredit Summit	1,200 delegates from 47 countries
2004 Amman, Jordan	Africa-Middle East Regional Microcredit Summit	650 delegates from 75 countries
2005 Santiago, Chile	Latin America-Caribbean Regional Microcredit Summit	1,100 delegates from 38 countries
2006 Halifax, Canada	Global Microcredit Summit	2,000 delegates from 110 countries
2008 Bali, Indonesia	Asia-Pacific Regional Microcredit Summit	900 delegates from 50 countries
2009 Cartagena, Colombia	Latin America-Caribbean Regional Microcredit Summit	Upcoming Summit
2010 TBA*	Africa-Middle East Regional Microcredit Summit	Upcoming Summit
2011 TBA	Global Microcredit Summit	Upcoming Summit

結論

集会を開催する目的は、2005 年度までに自営業向けの融資やその他の金融およびビジネスサービスを、1 億人の最貧困層の家庭や、特に女性に、提供する世界的キャンペーンを発足させることです。私たちは、最貧困層の女性やその家族たちが、尊厳をもって貧困から抜け出す手助けをする持続可能な組織を発展させることを誓います。

1997 年 マイクロクレジット支援宣言

市民団体が主導権をもつマイクロクレジット・サミット・キャンペーンは、経済界の人々が恐ろしく無謀だと言った目標を設定した。貧困層の人々が人生を変えるためにそれらの金融サービスを有効に利用できると、また、キャンペーンの組織が彼らに貢献できると信じたにすぎない。2005 年度までに1億人の最貧困層の家庭に到達するという目標は、気が遠くなるような目標だったが、私達は、それを挑戦として受け止め、その達成にエネルギーを注いだ。第1回サミットにおいて、1,500 以上の機関の代表者は、1億人の最貧困層に到達するというサミットの目標を達成することを誓う支援宣言に調印したのだ。

今日振り返ると、私達は、マイクロファイナンスの分野における驚くべき発展を評価することができる。1995 年の 8 月初旬に、第1回マイクロクレジット・サミットの企画をはじめたとき、130 カ国以上からの 3,000 人近い代表者が参加するといった規模のマイクロファイナンスの集会は開催されたことはなかった。その時点での最も大規模な集会の参加者は、1,000 人未満で、マイクロファイナンスに特化していない市民団体の機関などの幅広い利害関係者団体は参加していなかった。また、サミットの企画が始まった 13 年前には、国連は、2005 年を国際マイクロクレジット年と宣言していなかった。国連総会が、サミットとその 2005 年に向けての目標を支持し、宣言を行ったのは第1回サミット開催の翌年である 1998 年のことだった。1997 年の第1回サミットでは商業銀行の慈善事業部門が本格的に参加したが、マイクロファイナンスが商業的な投資としての有効な資産区分としては考えられていなかったのも、銀行本体の参加はほとんどなかった。しかし、9 年後のカナダのハリファックスで開催された世界サミットにおいては、商業銀行も参加しこの分野における投資を増大させた。

サミットの企画をはじめた 1995 年には、その 11 年後に Muhammad Yunus と Grameen 銀行がノーベル賞を受賞すると思った人はほとんどいなかった。1995 年には、世界中の最貧困層の1億人にマイクロクレジットを到達させるという目標は着手されておらず、当初の議論においては、その目標の実現性を疑う人が多くいた。1997 年サミットにおいて、その年のマイクロローンの借り手が 800 万人に到達すると概算され、その翌年には、公式な統計によって、マイクロローンの借り手となった貧困層家族数が 760 万人に到達したことが確認された。それは、1億人の最貧困層到達の目標を上回るものであり、1997 年から 2007 年の間の増加率は、14 倍に達した。

しかし、目標達成は、借り手とその家族の生活において、最も深い意義を持つのである。1億 660 万人の借り手のうちの1人の実話が、何億人も的人生が一変したという事実の一端を私達にみせてくれている。Pentamma (下記参照) の物語は、タイム誌の Dana Whitaker 著作の Transforming Lives \$40 から脚色したものである。

インドのマイクロファイナンス・プログラムである SKS に参加する前、ダリト(Untouchable)階級の Pentamma は、日雇い労働者としての仕事を得た時だけ、45セントの稼ぎしかなく、彼女の夫は、同じような状況で、日に65セントの稼ぎしかなかった。彼らの家には水道も電気もなく、雨漏りのするわらの屋根でおおわれた2つの部屋で4人家族が生活していた。最初の融資の資格を得るために、Pentamma は自分の名前の署名の仕方を習わなければならなかった。彼女は、新しく身に付けた能力を、支部マネージャーとそのグループの女性達そして数人の見物人の前で、披露した。Pentamma は、ノートとペンを渡され、深く息を吸い、指の間の馴れない道具を不器用に挟んだ。そし

て、彼女は、目の前におかれたページにペンをおき、ゆっくりと書きだした。彼女はとまり、紙の上に書かれた文字を確認し、ペンの位置を直した。Pentamma の文字は、だんだん大きくなり下に歪み始めたが、最後のやはみ出した曲線を書き終えるまで書き続けた。Pentamma は、もっと幸運な人々は 4、5 歳でできることを、25 歳にして成し得たのだ。読み書きのできないダリトが、まさに、自分の名前を書いたのである。それは、彼女が書くことができる唯一の言葉だったが、それで十分だった。支部マネージャーは融資を承認し、皆が拍手を送った。

支部マネージャーによって、Pentamma とグループの他の女性達が承認された 1997 年 2 月の同じ日に、マイクロレジット・サミットによって、実務者、借り手とマイクロファイナンスの全分野が承認された。スペイン王女、ベルギー王女、5 カ国の首相及び大統領と、他の 4 カ国の首相、大統領夫人が第 1 回サミットに参加し、長年ほぼ無名のまま尽力してきた実務者達は、自分達の功績がついに認められ、この分野が始まったのだと感じた。

Pentamma は、最初の融資で、1 日に 6 リットルのミルクを出す一頭の水牛を飼った。彼女はそのうち 5 リットルを売り、1 リットルを子供達に与えるために手元に残した。そして売った利益で、もっと栄養のある食べ物を家族のために買うことができるようになったのだ。マイクロファイナンスに出会うまで、ダリトである Pentamma と彼女の子供達は、貧しくみじめな生活へと追いやられていたのである。

この分野において普及は重要であり、劇的に普及させることはより重要だ。しかしながら、普及だけでは十分ではない。マイクロファイナンス業界は、貧困を減少させる戦略としてのその可能性、特に慢性的な貧困に対するその有効性を実現するために、自ら挑戦し続けなければいけない。この分野は、単なる金融サービスの提供を超えた仕事だと認識しなければならないのだ。MFI の中には、単なる金融サービスを提供するだけの機関もある反面、読み書きができない両親の子供を大学に行かせる道を提供したり、スラム生活者に対しスラムの外の家を提供したり、常に病気にかかっている家族に対し人生ではじめて元気で健康な生活をおくるための手段を提供する機関もあるのである。

マイクロローンを受けた最貧困層の家族数が 760 万人であった 1997 年から、9 年間で借り手 1 億家族に到達するという誓約は、ジョン・F・ケネディ アメリカ大統領の 10 年後に人類を月に着陸させるという目標と同じようなものだった。ケネディがそうであったように、科学者達もどのような金属やロケット燃料が必要であるかは分かっていなかった。同様に、マイクロファイナンス分野も目標達成のために何が必要かを、完全には分かっていなかった。インドの自助グループ、アフリカの同様のグループの数に予測できない増加があるかどうか、南アジアで劇的な拡大、そして他の地域で穏やか拡大があるかどうかともわかっていなかったのだ。

1 億人の最貧困層到達を称えるとき、国際社会は、ニューヨークタイムズ誌の前編集者 A.M. Rosenthal から学ぶべきだろう。全世界が“その美德と達成の一部となり、舞い上がった。” Rosenthal は、人類の月面着陸についてこう語った。マイクロファイナンスの借り手とスタッフの達成は、Rosenthal が別の文章で語っているように“人類の理性と願望の品位から生まれた”のだ。これは、人類愛そのものを経験することができる、ごく稀な真実の機会なのである。

謝辞

今年度においても、1,000 人以上の人々と機関がマイクロクレジット・サミット・キャンペーン・レポートの作成に貢献してくれました。2008 年度のアクションプランを提出して下さった 861 以上のマイクロファイナンス機関のリストは、アクションプランを提出して下さった非実務者リストとともに付録Ⅲに掲載しています。それらの諸機関や個人、特に実務者の方々がいなければ、レポートが完成することはなかったことでしょう。

例年通り、ネットワーク機関は、そのメンバーや関連団体からのデータ収集を促進する重大な役割を担ってくれています。支援してくれたネットワーク機関数は記載しましたが、それらの機関と他の主要諸機関のリストを巻末Ⅰに掲載しています。リストが非常に膨大なので本ページに掲載することはできませんが、私達はその支援に対し、変わらず深く感謝しています。また、私達のスタッフとともに拡大会議を開催してくれたアジア、アフリカ、ラテンアメリカの機関にも深く感謝の意を表します。これらの会議は、アクションプランの収集に不可欠なものです。このレポートに不可欠なもう一つの活動は、検証プロセスです。私たちのリクエストに応じて 180 を超える個人や機関が検証作業を実施してくれました。それらの個人や諸機関のリストは、付録Ⅱに掲載しています。彼らの協力がなければ、検証済の機関は存在しなかったのです。

新旧のマイクロクレジット・サミットの職員とインターンは、データの収集、入力、一覧表作成、世界中の実務者への電話連絡、そして、レポートの草案を確認するために膨大な時間を費やしました。特に、今年度のレポートと作成のために多大な貢献をしてくれた Melanie Eltz, Jessica Massie, Lisa Stein, Armando Boquín, Dr. D.S.K. Rao に、心から感謝いたします。また、キャンペーン職員である Jeff Blythe, Rob Driscoll, Kathryn Gelder, Kate McElligott, Peter Olivier, Sangita Sigdya と、旧キャンペーン職員である Anna Awimbo, Michelle Gomperts, Brian McConnell, Felicia Montgomery, Elizabeth Wanlund のレポート作成における多大な尽力についても深く感謝いたします。また、本レポートに類をみない貢献をしてくれた Shiela Rao と電話キャンペーンにおいて今年の重要な役割を担ったインターンにも感謝しております。また、ほぼ 10 年間もの間、本レポートのフランス語とスペイン語への翻訳作業を行ってくれた Martin do Nascimento, Fatou Coulibaly, Claire Blackburn, and Jeffrey Matu. Mélanie Beauvy (S&B International) ,Martha Martinez の功績に対しても感謝を述べたいと思います。

また、RESULTS 職員であり原稿の確認も行ってくれた Heather Stein、そして、思慮深いコメントを付してくれた Eliot Daley, Shannon Daley-Harris、特に Alex Counts に感謝いたします。専門知識を用いて特別なセクションを執筆したり、インタビューを受けてくれた Dipal Chandra Barua, Alex Counts, Dr. Steven Funk, Ingrid Munro, Chuck Waterfield に対しても感謝を申し上げます。彼らの貢献によって、本レポートが飛躍的に進歩することができたのです。

マイクロクレジット・サミットには、その使命に賛同してくれる多くの資金提供者がいます。本レポートの裏表紙にその一覧が掲載されている個人及び組織に感謝の意を表します。彼らの金融支援なしには、私達の大胆不敵な目標の到達は不可能でした。

本年度のレポートでは、10 年間にわたり取り組んできた夢の実現を祝福することができました。その夢は、FINCA の創設者である John Hatch が、1994 年の RESULTS/RESULTS 教育基金国際会議において、マイクロクレジット・サミットの必要性を提唱し発表した 6 枚の論文から始まったのです。そして、RESULTS/RESULTS 教育基金の役員である John Hatch, Muhammad Yunus と私の 3 人は、その夢を発展させました。

そして、その夢は、Carter Center Director (当時)の Bill Foege, World Bank Vice President(当時) の Ismail Serageldin, Population Council President(当時)の Margaret Catley-Carlson, Citicorp Vice President(当時)の Kathy Waldron, UNDP Assistant Administrator(当時) で President of Liberia(現在)の Ellen Johnson Sirleaf, 参議院議員の広中和歌子, そして下記の実施リーダーたち: Women's World Banking President(当時)の Nancy Barry, SEWA Founder の Ela Bhatt, ACCION President の Michael Chu, Women's Self-Employment Project Founder の Connie Evans, FINCA Founder の John Hatch, そして Grameen Bank Founder の Muhammad Yunus の 12 人をメンバーとするマイクロクレジット・サミット開催委員会によって承認され、立ち上げに向け準備が進められました。

1997 年のマイクロクレジット・サミットの初代スポンサーは、Citicorp Foundation (現 Citi Foundation), MasterCard International, Monsanto Fund, the Charles Stewart Mott Foundation でした。彼らは、当初の資金提供に続き、次の 10 年間にわたり追加の資金提供を行ってくれました。Citi Foundation, Monsanto Fund, the Charles Stewart Mott Foundation, そして the Summit Foundation の各機関は、その期間に各 100 万ドル以上を提供してくれ、キャンペーンの推進力となってくれました。

他にも非常にたくさんの人々の尽力により、キャンペーンは成功を収めることができましたが、立ち上げにおいて、会議プランナーである Kathy Morrell, 最初のチーフスタッフである Ayala Sherbow、彼女のグループの貧困根絶のために戦う 11 人の若い勇士の貢献は、不可欠なものでした。また、私の人生の師である Dave Ellis と妻の Shannon Daley-Harris は、この計画の正しい基礎を作り、私達の尽力が実を結ぶことを可能にしてくれました。彼らは世界に貢献し、私は深い感謝の意を表したいと思います。

キャンペーンの成功に尽力してくれたすべての人と今年度のレポート作成に協力してくれた人々とここで紹介できなかった人々に心から深く感謝いたします。最後に本レポートの文責は、私にあります。

Sam Daley-Harris

プリンストン ニュージャージー州 アメリカ

2008 年 11 月 18 日

巻末1: アクションプランの収集に協力した団体およびネットワーク

Name	Country
Microfinance Investment Support Facility for Afghanistan (MISFA)	Afghanistan
Banking with the Poor Network	Australia
Foundation for Development Cooperation	Australia
Credit and Development Forum (CDF)	Bangladesh
Grameen Trust	Bangladesh
Palli Karma Sahayak Foundation (PKSF)	Bangladesh
Red Financiera Rural	Ecuador
Sanabel - Microfinance Network for the Arab Countries	Egypt
Alianza para el Desarrollo de la Microempresa (ALPIMEDI)	El Salvador
Red de Instituciones de Microfinanzas de Honduras (REDMICROH)	Honduras
Access Development Services	India
Friends of Women's World Banking (FWWB)	India
National Bank for Agriculture and Rural Development (NABARD)	India
Gema PKM Indonesia	Indonesia
Association of Microfinance Institutions Kenya (AMFI)	Kenya
Joint Consultative Council	Namibia
Rural Microfinance Development Centre Ltd. (RMDC)	Nepal
Asociación Nicaragüense de Instituciones de Microfinanzas (ASOMIF)	Nicaragua
Red Centroamericana de Microfinanzas (REDCAMIF)	Nicaragua
Lift Above Poverty Organization (LAPO)	Nigeria
Pakistan Microfinance Network (PMN)	Pakistan
Pakistan Poverty Alleviation Fund (PPAF)	Pakistan
Consortio de Org. Privadas de Promoción a la Pequeña y Microempresa de Peru	Peru
Alliance of Philippine Partners in Enterprise Development	Philippines
Microfinance Center for Central and Eastern Europe and the Near East	Poland
FINCA International	U.S.A.
Grameen Foundation	U.S.A.
Opportunity International	U.S.A.
PLAN International	U.S.A.
Pro Mujer / Pro Women International	U.S.A.
Save the Children Federation	U.S.A.
UNITUS, Global Catalyst for Microfinance	U.S.A.
World Relief	U.S.A.
Zimbabwe Association of Microfinance Institutions (ZAMFI)	Zimbabwe

巻末2：Ingrid Munro のインタビューの続き

私たちは水と下水処理施設のために、生物学的浄化法と水の再利用を採用しています。また、ごみ処理のために埋め立てもしています。私たちは 20 エーカーの島を買い、そこから道路建設とその土台のために使うすべての材料を掘り出しています。道路と土台のために必要な材料をすべて掘り出してしまった後は、その地域を埋め立て、最新式の廃棄物処理施設のために使います。

しかし、私たちはたくさんの賛成意見を受けていたにもかかわらず、少数の反対派は乱暴な行動を続けました。彼らは国家環境管理局 (the National Environment Management Authority(NEMA)) の体制を動かすべく、働きかけをしました。NEMA の専門家が、この方法はベストで、環境保護の立場からすると今まで見た中で最も機能的な町になるだろうと言っているにもかかわらずです。反対派は、地元のマサイ族の人口と野生生物について説明するように要求しました。しかし、地元のマサイ族たちは私たちの計画をとっても強く支持していましたし、私たちの専門家が信頼する、ケニア・ワイルドライフ・サービス (KWS) が発行した地図によると、設計された動物の通り道は私たちからとても遠い場所だったのです。

反対派たちはとても裕福なので、貧しい人たちが近くに越してくるのが嫌だったのです。反対派らはそれが治安上の問題を引き起こし、彼らが新しいスラムを作り出すのではないかと想像していたのです。反対派が裁判所で提出した書類のうちのひとつを引用しますと、彼らはこのようなことを思っていました―「Jamii Bora のメンバーがここへ来たら、彼らは危険な怠け者になり、人を殺したり、傷つけたり、レイプしたり、盗みをはたらき、環境を破壊してしまうだろう」

地元当局の承認、環境学の専門家からの前向きなレポート、実際にその地域に住むマサイ族からの力強いサポートがあったにもかかわらず、NEMA はこの計画を断念することにしました。この小さいながらも、影響力のある反対派グループのせいで。

私たちは怒っていましたが、私たちのメンバーも当惑していました。Jamii Bora のメンバーのケニアの家族たちは、とてもよい人たちで、働き者です。そして貧困から抜け出すために、長年闘ってきた人たちなのです。その人たちのことを、自分たちの勝手な理由で酷く悪く言う人間たちに、誰が耳を傾けられるでしょうか。

私たちは、諦めてはならない、そして、自ら貧困から抜け出そうと頑張っている仲間たちを締め出そうとする裕福で勝手な人間たちの考えを絶対に受け入れることはできない、と思いました。

私たちはあの土地を売り、他の土地でもう一度やり直そうと考えましたが、反対派はまた徒党を組んで私たちに反対をする理由をでっち上げるだろう、と気づきました。反対派は「貧困層はスラムから出てくるべきではない。それが治安維持の得策なのだ」という考えを強く持っているのです。

そこで私たちは NEMA の決断に異議を唱えるべく、裁判所に訴えることにしました。

まず最初に環境大臣の意見を聞くために、彼に会いに行きました。「NEMA は私たちの計画を却下しました。私た

ちはどうすればいいのでしょうか」弁護士でもある環境大臣は、私たちに、環境に関する案件を扱うために設立された、国家環境決裁機関へ訴え出ることを勧めました。その大臣は、今ではケニアの副大統領になられています。そして私たちは、彼のアドバイスを今でも感謝しています。

私たちは 2005 年の 3 月に訴えを起こし、その裁判は 16 ヶ月続きました。とても素晴らしいものでした。このような種類の裁判は誰の気も惹かないだろうという憶測から、とても小さい法廷があてがわれましたが、多数のメンバーたちが審問のたびに訪れたので全員が部屋に入ることはできませんでした。幸いなことにその法廷は 1 階にありしたので、部屋がいっぱいになってしまったときは、窓を開け、外にいる人たちにメモを取ってもらえるようにしました。たくさんのメンバーたちが外の草の上に座っていました。同時通訳者たちは 10 分交代でメモを取り、法廷で話されたことの要点を外にいる人たちに伝えました。通訳者がそれを伝え終わると、すぐさま次の通訳者が引き継ぎました。

私たちは、16 ヶ月間で 265 時間の審問の後、勝訴しました。それは徹底的なプロセスで、全員が意見を述べることができました。それは前例のない判決でしたが、今では国中で判例として採用されています。私たちが勝訴したとき、すべてのナイロビのスラム街は喜びに沸きました。これは覚えておくべきことですが、それぞれのスラムは伝統的に区別されています。あるスラムではルオ族がいますが、他のあるスラムやスラムの中の違う地区にはキクユ族がいます。彼らは昔からお互いに不信感を持っています。

しかし、環境裁判所での再審理の間にとても重要な出来事が起こりました。Jamii Bora のメンバーたちに対する、彼らの街を作ってはいけない、スラムから出てはいけない、という脅し—この脅しが彼らをひとつにしたのです。どのスラムの出身だろうとどの民族だろうと、そんなことはもう重要ではなくなりました。彼らは共に、彼らの持つ権利のために貧困と闘ったのです。マサイ族、キクユ族、ルオ族、カレンジン族、カンバ族、ルハ族、キシイ族—彼らは貧困から抜け出すため、団結して闘いました。私はこのことが、選挙後の暴力行為の減少にも功を奏したと思います。私たちは一体となって、そして強固な集団となっていたからです。

私たちが裁判で勝ったのは、2006 年の 4 月 12 日でした。そして、反対派は 2006 年の 5 月に高等裁判所へ上訴しましたが、その裁判も 2007 年の 4 月に私たちが勝訴しました。そのせいで 1 年の遅れが生じました。その合い間に、私たちは用地で建材を造り続けていました。

すでに数百万の建築用ブロックと屋根のタイルが造られていました。高等裁判所での勝訴により、私たちはやっと家屋を建て始めることができたのです。

7 ヶ月後の 2007 年 12 月、すべての助言者と地方当局にて選出された公務員は、選挙運動が始まる前に事務局を去らなければなりません。Olkejuado 郡の町役場書記官が、個人的に、私たちを再び裁判所に訴えたのです。彼は、私たちが建設物計画法に従った承認を得ていないと訴えましたが、私たちは 2004 年以来それらの承認を得ていました。彼は高等裁判所に、この訴訟が審理されるまで、私たちがすすめていた建設作業を禁止する命令を出すように要請しました。

クリスマスの 2 日前、私たちは裁判所から、すべての建設作業をストップするように命令されました。クリスマスの寸前に、私たちは 700 人もの建築作業員や建材製造員を解雇しなければならなくなったのです。本当に酷い出来事でした。彼らは給料で 1 月の子供たちの授業料を払うつもりだったのです。これは皆にとって不意の衝撃でした。しかし、新しい郡議会が選出され議会が開かれたとき、たくさんの人々が政府と郡議会両者に対してとても腹を立てていました。2008 年 1 月 31 日、Olkejuado 郡議会は正式に訴えを取りやめ、書記官は解任させられました。

MCS: いくつの家屋が建てられ、どのくらいの人々がそこに住んでいるのですか？

Munro: 今のところ、まだ誰も住んでいません。まだ下水処理施設 (人口沼地) が出来上がっていないからです。しかし、2008 年 8 月時点で、706 軒の家屋が 3 つの地域でほとんど完成しています。そこを訪れる人々は、その街のサイズや小さな 50 平方メートルで 2 つの寝室とリビング、台所と風呂場があるととても美しい家に、皆非常に驚きます。彼らは皆小さな村を想像してやってくるのです。そして、近隣もとてもよくデザインされています。学校も建設中です。Jamii Bora のメンバーたちと訪問者たちは本当にびっくりして、こう言います-

「どんな政府もこんな街を作ることはできなかつたろう」「貧しい人たちがどうやってこんなことを自分たちの手でできたのか」Jamii Bora のメンバーたちは、誇りに思い興奮しています。

MCS: スラムでの家賃と新しい街での住宅ローン返済額を比較すると？

Munro: スラムの家は一部屋で、鉄板と泥で作られています。家賃は 1 ヶ月だいたい 10~20 アメリカドルです。もっと奥の方や谷の下の方へ近づくほど安くなります。谷の上や道路の近くだと 30 ドルほど払わなくてはならないでしょう。もし、それ以上払う余裕があったとしても、住める場所は限られていて、家賃は 3,000~4,000 シリング (45~60 ドル) ですがやはりこれも一部屋だけで、台所も風呂場也没有。スラムにある共同のものを使うしかないので、す。

私たちはまた違う目標を設けました。スラムから少し外れたところにある一部屋だけの家と同じ額の住宅ローンだけれども、自分自身の区画に、台所・風呂場・2 つの寝室とリビングがある家。これが私たちの目標で、これにより私たちは、技術・設計・建設管理・住宅ローン計画に関し、革新的な選択をせざるを得なくなりました。そして、私たちは成功したのです。住宅ローンの返済金額は 1 ヶ月 30 ドルからで、もしローンを早く返したい・払う利息を減らしたいと思うならば、30 ドル以上を払うこともできます。メンバーたちは自分に一番都合のよい支払い方法を選べるのです。

彼らは 'tenants purchase scheme' で Jamii Bora Trust から家を買ひ、私たちが Jamii Bora のマイクロファイナンス部門の Jamii Bora Kenya Limited から借入れをします。メンバーがローンの支払いを終わると、その家は彼らのものになります。

MCS:家の価格と利息率はどのくらいですか。

Munro:家の価格は、35万シリング(5,000アメリカドル)です。利息は9%、5〜20年の間で返済します。もし経済的に余裕があるのなら5年で返済を済ませ、家を所有できるのです。このような家は、他のところだと100万シリング以上の値打ちがあります。2寝室がある多くの家は200万シリング以上するでしょう。私たちが建てた家々は、私たちが建築している道路・下水道・水道などの一般的な設備のうちのひとつです。人々はそれがどうやって可能になったのかとたずねます。私たちは、低価格の設計を用い、材料をすべて自分たちで造り、私たち自身でこの計画を所有し管理することによって利益を取り除き、土地を安く購入し、ミドルマネージメントを排除することにより、これを可能としたのです。

MCS:いつ、最初の家族たちがそこに引っ越してこられるようになりますか？

Munro:人々がやってくるための政府からの承認には、インフラの用意が必要です。私は、1つ目の区域に、246組の家族が2008年の9月か10月に引っ越してこられるよう望んでいます。

そこがいっぱいになれば、もうひとつの区域が毎月あてがわれます。私たちはすでに最初の706組の家族と売買契約とローン契約をむすんでいます。最初の家族が彼らの新居に引っ越してくるその日は、国中から入居を申し込みに来る人たちがどっと押し寄せるでしょう。

すでにたくさんの町からの訪問者や、国中の町議会からこのような計画を彼らの地域でも始めたいという人たちがやってきました。住宅供給は、貧困からの脱出、そして更には、たくさんの雇用を生み出すとても重要な手段です。

私たちのすべてのメンバーが起業家精神にあふれているわけではありませんが、中にはそんな人たちもいます。彼らはたくさんの仕事を造り、人々を雇い、またその人々が起業していない人たちを雇うのです。私たちはそのような人たちを「ファースト・クライマーズ(早く登る人たち)」に雇われている「スロー・クライマーズ」と呼びます。なぜなら、知っている人たちを雇うのは論理的なことだからです。そして、私たちの住宅供給計画も、ビジネスの中では「ファースト・クライマーズ」ではないけれどもとても善良で誠実な人々に、たくさんの雇用を作り出しています。

MCS:今のところ、何軒の家が売られたのですか？

Munro:2003年の初めまでに2,000軒が予約されました。今ある家の軒数よりも多い予約については、キャンセル待ち名簿で受け付けています。

MCS:何か付け加えて話されたいことはありますか？

Munro:貧困層が持っていた夢は今現実の世界になろうとしています。彼らの子供たちは両親の夢の中で生きでしょう。多数の人たちはメンバーになった当時とても貧しかったですが、彼らは人生を変えました。彼らは貧困から這い上がって抜け出し、よい住処へ移り住む重要なステップを踏む準備ができています。しかし、いつの日も新しいメンバーは皆貧しく、自分の家を持つということはとても大きな夢なのです。このことが彼ら自身を貧困から抜け

出させ始め、住宅ローンを受ける資格を持つことへの勇気を持つことにつながります。

住宅ローンを受けるためには、少なくとも私どもの3つの小規模ビジネスローンをきちんと返済する必要があります。これは私たちのビジネスローンのパフォーマンスにもつながります。彼らの家を持つという夢が、彼ら自身に支払い能力があると証明する動機付けになるからです。私は、反対派に対してこの質問を何度もしています「この街以外で、どこに彼らが信用に値する、と街全体で証明できる所があるのですか」しかし彼らは今でもメンバーたちのことを泥棒・レイブ魔などと思っています。

私たちは彼らが間違っていることを証明しているところです。この貧しい人たちが善人でとても勤勉だということが理解されるには時間がかかるでしょう- しかしもし彼らがそういう人々でなかったのなら、彼らは生き残ってこれなかったはずです。

MCS: たくさんの既存のルールを破ってきてくださったことに、本当に感謝します。

Munro: 私たちはいつでもそうすることにより、何事にも不可能はないということを明らかにしているのです。すべては可能です。私たちのメンバーはとても強く、とても素晴らしい人々です。

付録1：データ検証済みマイクロファイナンス機関

今年度は、我々の多数に及ぶ機関メンバーからのデータを確認すべく、マイクロクレジット・サミットが検証プロセスを実行する9回目の年となる。2008年のアクションプランを提出した実施機関 MFIs は、2,500 人以上の最貧困層の借り手の状況を記録してくれ、我々キャンペーンはドナー機関の名称、研究機関及びネットワークの名称、またデータの裏付けに関わった他の機関名を提供してほしいとお願いした。検証者は以下の点を検証する；1) 経済活動を行っている借り手の総数、2) 経済活動を行っている借り手のうち、女性の割合、3) 経済活動を行っている借り手のうち、初回の融資時に最貧困層に属していた借り手の総数、4) 最貧困層の借り手のうち、女性の割合。

例年のように、本キャンペーンの一番の難題は、最貧困層の人々にマイクロファイナンスを届けるという責任と、貧困の「程度」を効果的に測定する方法が無いという現実をどう繋ぎ合わせるか、ということである。そこで付録中の「最貧困層」という表現は、現状がこのような板ばさみ状態にあることを考慮しつつ解釈していただきたい。

284 の実施機関 MFIs から得られたこれらのデータは、少なくとも1つの外部機関により検証されている。これらの284の機関は、2007年末までに8,490万人の最貧困層の借り手に事業を広げられたと報告している。これは、報告されている最貧困層の顧客の総数のうち、80%を占めている。

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
ASIA AND THE PACIFIC						
National Bank for Agriculture and Rural Development	India	38,953,208	85	48,691,510	85	60
Grameen Bank	Bangladesh	7,410,000	97	7,410,000	97	152
Association of Asian Confederation of Credit Unions	Thailand	5,871,137	55	5,871,137	55	29, 107
Association for Social Advancement	Bangladesh	4,615,500	90	5,430,000	83	17, 83
Bangladesh Rural Advancement Committee	Bangladesh	4,560,000	99.3	6,400,000	99.2	129
Bangladesh Rural Development Board	Bangladesh	4,488,463	70	4,724,698	70	66, 8
Vietnam Bank for Social Policies (Vietnam Bank for the Poor)	Vietnam	3,900,000	45	5,648,000	45	36
Swayam Krishi Sangam Microfinance Pvt. Ltd. (SKS)	India	1,401,131	100	1,459,512	100	151
Proshika Manobik Unnayan Kendra	Bangladesh	1,392,100	65	1,740,126	65	17
State Ministry of National Family Planning Coordinating Board, Indonesia	Indonesia	1,268,007	99	1,268,007	99	75
Spandana Sphoorty Innovative Financial Services Limited	India	1,049,756	93.9	1,050,193	97	39
Access Development Services	India	1,018,254	100	1,414,241	100	38
Share Microfin Limited	India	989,637	100	989,637	100	39
Bank Rakyat Indonesia	Indonesia	715,645	50	3,615,812	50	145
Samurdhi Authority of Sri Lanka	Sri Lanka	666,159	64	666,159	64	12
Mahila Arthik Vikas Mahamandal Ltd	India	659,299	100	659,299	100	45
Central People's Credit Fund	Vietnam	618,000	45	1,300,000	40	69
Friends of Women's World Banking	India	579,726	100	644,140	100	59
Asmitha Microfin Limited	India	539,491	100	539,491	100	94
Center for Agriculture and Rural Development Mutually Reinforcing Institutions (CARD)	Philippines	468,313	100	468,313	100	55

¹⁴ By verification, the Campaign means that the verifier has "visited the program, met the senior officials, been provided with numbers, and believes that the institution and the numbers listed [in the verification form] are reliable and credible."

¹⁵ "Poorest" in developing countries refers to families whose income is in the bottom 50 percent of all those living below their country's poverty line, or any of the 1.2 billion who live on less than US\$1 a day adjusted for purchasing power parity (PPP), when they started with the program.

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
Working Women's Forum	India	449,057	100	449,057	100	57
Bandhan	India	421,648	100	761,567	100	180, 132
Swarnivar Bangladesh	Bangladesh	413,157	96	1,087,255	86	17, 115
Shri Kshethra Dharmasthala Rural Development Project	India	382,754	60	546,791	70	140
BURO Bangladesh	Bangladesh	376,710	100	376,710	100	17, 180
Thengamara Mohila Sabuj Sangha (TMSS)	Bangladesh	374,604	99	535,148	99	17, 89
Bangladesh Krishi Bank	Bangladesh	365,123	59	521,419	57	17
Islami Bank Bangladesh Limited	Bangladesh	347,325	92	350,278	92	170
Cauvery Kalpatharu Grameen Bank	India	327,041	98	327,041	98	116
All India Association for Micro-Enterprise Development	India	315,000	98	350,000	98	131
CASHPOR Micro Credit	India	273,052	100	273,052	100	31
National Rural Support Programme	Pakistan	263,686	32	328,786	29.7	7, 156
CARITAS Bangladesh	Bangladesh	263,400	70	298,479	69	17
Rangpur Dinajpur Rural Service Bangladesh	Bangladesh	229,300	90	257,292	82	32
PADAKHEP Manabik Unnayan Kendra	Bangladesh	214,500	95	275,000	94	83
Activists for Social Alternatives / Grama Vidyay MF	India	206,771	100	206,771	100	39, 126
Jagorani Chakra Foundation	Bangladesh	201,024	99	251,281	97	89
Palli Daridro Bimochon Foundation	Bangladesh	195,000	95	545,013	98	17
Pact Myanmar Microfinance	Myanmar	157,037	98	261,728	98	102
National Bank of Cambodia	Cambodia	152,990	78	624,089	78	168
United Development Initiatives for Programmed Actions	Bangladesh	143,355	99	145,983	99	17, 89
Shakti Foundation for Disadvantaged Women	Bangladesh	140,955	100	140,955	100	96
TSPi Development Corporation	Philippines	134,847	100	135,117	99.8	55
South Malabar Gramin Bank	India	113,852	51	785,631	33	135
Professional Assistance for Development Action	India	113,850	100	120,500	100	82
Grameen Koota	India	109,886	100	109,886	100	94
Mahasamam Trust	India	106,226	100	151,226	100	151
Karnataka Regional Organisation for Social Service	India	100,000	100	125,000	100	162
Sarvodaya Economic Enterprises Development Services	Sri Lanka	90,787	72	172,205	58	74
Bharatha Swamukti Samsthe/ BSS Microfinance Private Limited	India	90,000	100	116,423	99.81	39
Bangladesh Extension Education Services	Bangladesh	87,603	98	92,214	95	17, 169
North Malabar Gramin Bank	India	81,200	95	90,250	95	136
The First Microfinance Bank Ltd.	Pakistan	76,933	42	102,578	42	7
BWDA Finance Limited- (Bullock-cart Workers Development Association Finance Ltd.)	India	75,970	92	223,974	90	39
Samaj Kalyan Sangstha (SKS)	Bangladesh	70,754	99.54	70,754	99.99	89
Integrated Development Foundation	Bangladesh	68,193	99	68,193	99	98
Ad-din Welfare Centre - Jessore	Bangladesh	67,860	98	92,287	98	17, 72
Shri Mahila Sewa Sahakari Bank, Ltd.	India	62,200	100	103,679	100	132
Nirdhan Utthan Bank Limited	Nepal	58,354	100	58,354	100	18

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
Society for Social Service	Bangladesh	57,580	99	249,210	97	17, 89
Resource Integration Centre	Bangladesh	57,181	91	57,181	91	17
Welfare Association of Village Environment, WAVE Foundation	Bangladesh	57,000	96	70,595	94	72
Angkor Mikroheranhvatho (Kampuchea) Co., Ltd.	Cambodia	56,452	84	120,111	84	158
Chhimek Bikas Bank Ltd.	Nepal	55,379	100	55,680	100	53
HEED Bangladesh (Health Education and Economic Development Bangladesh)	Bangladesh	54,772	94	60,920	94	17
Eco Social Development Organisation	Bangladesh	54,176	100	104,966	98	89
Sreema Mahila Samity	India	54,086	98	60,095	98	132
People's Multipurpose Development Society	India	53,500	100	56,000	96	139
Association of Cambodian Local Economic Development Agencies Bank Ltd.	Cambodia	51,953	58.7	185,492	58.85	112
Coastal Association for Social Transformation Trust	Bangladesh	49,898	97	55,112	95	169
People's Oriented Program Implementation	Bangladesh	49,480	99.1	163,556	99.1	89
Manabik Shahajya Sangstha	Bangladesh	49,400	100	78,868	100	17
Centre for Development Innovation and Practices	Bangladesh	49,123	99.01	53,719	99.14	6, 34
People's Rural Education Movement	India	45,788	99	45,788	99	84
Sajida Foundation	Bangladesh	43,842	98	51,579	98	6, 4
Swabalamban Laghubitta Bikas Bank Ltd (SB Bank)	Nepal	40,868	100	58,383	100	25
Institute of Rural Development, The	Bangladesh	40,000	100	40,000	100	17
ESAF Microfinance&Investments (P) Ltd	India	38,430	99	138,484	98	79
Ansar - VDP Unnayan Bank	Bangladesh	37,865	70	84,145	70	17, 89
Development Project Service Centre, Nepal	Nepal	34,892	100	34,892	100	127
Bandhu Kalyan Foundation	Bangladesh	33,537	90	33,537	90	17, 89
Krushi (NGO-MFI), Karimnagar, Andhra Pradesh, India	India	30,442	100	38,053	100	103
Assistance for Social Organization and Development	Bangladesh	30,387	100	55,898	100	17
Voluntary Association for Rural Development	Bangladesh	29,963	100	33,293	100	17, 89
Development Promotion Group	India	29,495	95	39,375	95	117
Gram Unnayan Karma	Bangladesh	28,705	99	36,095	99	17, 89
ASHROY	Bangladesh	27,004	100	54,009	100	89
Uttara Development Program Society	Bangladesh	26,962	100	107,822	99	86
Star MicroFin Service Society	India	26,159	100	26,159	100	120, 142
Sangkalpa Trust	Bangladesh	25,943	78	32,840	75	17, 89
Nerude Laghubitta Bikas Bank Ltd.	Nepal	25,404	100	25,404	100	35, 155
Jeevan Bikas Samaj	Nepal	24,397	100	24,397	100	155
Kazama Grameen Inc	Philippines	24,140	99.5	24,140	99.5	172
PAGE Development Centre	Bangladesh	23,980	100	52,179	99	89, 137
Forum for Rural Women Arduency Development	Nepal	23,272	100	23,272	100	155
Rural Reconstruction Foundation	Bangladesh	23,171	99	143,312	99	17, 89
National Development Society	Bangladesh	22,384	91.59	25,000	88.96	17, 23

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
China Foundation for Poverty Alleviation	People's Republic of China	22,261	64	24,735	64	143
GRAM UTTAHAN	India	22,086	99	52,586	80	161
Centre for Self-Help Development	Nepal	21,377	100	22,503	100	155
Negros Women for Tomorrow Foundation	Philippines	21,337	99	76,203	99	80
The Bridge Foundation /Opportunity Microfinance India Ltd.	India	21,078	98	21,078	98	150
Jatiyo Kallyan Sangstha	Bangladesh	21,031	97	37,555	96	17, 89
Palli Mongol Karmosuchi	Bangladesh	20,950	100	83,795	99.9	89
Al Falah Aam Unnayan Sangstha	Bangladesh	20,900	99	26,391	99	17, 89
Srizony Bangladesh	Bangladesh	20,184	100	44,479	99	17
VisionFund Cambodia Ltd	Cambodia	19,399	80	53,885	85	33
Mitra Bisnis Keluarga Ventura - "Family Business Partners"	Indonesia	19,364	100	64,548	100	54, 113
TYM Fund (Tao Yeu May Fund), Vietnam Women's Union	Vietnam	18,738	100	26,768	100	164
MAMATA	Bangladesh	18,710	92	19,303	90	62
Capital Aid Fund for Employment of the Poor - Ho Chi Minh City	Vietnam	18,590	75	74,360	75	98
Welfare Services Emakulam	India	18,500	100	27,978	97	13
Annesha Foundation	Bangladesh	17,710	99	29,433	99	17
Janodaya Trust	India	17,640	100	18,000	98	39
Peoples Bank of Caraga, Inc.	Philippines	17,498	89	31,183	90.34	172
Shangathita Gramunyan Karmasuchi	Bangladesh	16,887	81	19,790	76	21
Dak Diye Jai	Bangladesh	16,859	95	24,084	95	125
Association for Realisation of Basic Needs	Bangladesh	16,800	97	21,107	95	22
Sahara Nepal Saving and Credit Co-Operative Society Ltd.	Nepal	16,500	100	23,459	92.27	155
Heifer Project International China	People's Republic of China	16,300	38	18,340	55	181
Network of Entrepreneurship & Economic Development	India	16,000	80	18,500	80	135, 141
Joypurhat Rural Development Movement	Bangladesh	15,650	90	28,312	88	17, 89
Sabalambay Unnayan Samity	Bangladesh	15,604	100	21,674	99	17
Development Action for Mobilization and Emancipation	Pakistan	14,682	100	32,627	100	77
Somaj O Jati Gathan	Bangladesh	14,372	52	25,442	47	89
Carsa Foundation	Bangladesh	14,189	98	17,312	93.18	89
Bangladesh Rural Integrated Development for Grub-Street Economy	Bangladesh	13,617	99	13,617	99	89
Village Education Resource Center	Bangladesh	13,400	98	28,852	98	86
Sindh Agricultural and Forestry Workers Coordinating Organiz	Pakistan	13,393	48	16,742	44	121
Nowabnki Gonomukhi Foundation	Bangladesh	13,288	98	39,760	96	17, 89
Unnayan	Bangladesh	12,876	97	12,876	98	6
Samastha Lanka Praja Sanwardana Mandalaya	Sri Lanka	12,546	81	17,889	NR ¹⁶	40
Hagdun Sa Pag-Uswag Foundation	Philippines	11,780	98	12,914	91	19

¹⁶ Not Reported

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
Proyas Manobik Unnayan Society	Bangladesh	11,446	100	11,446	100	89
Shariatpur Development Society	Bangladesh	11,314	100	31,885	100	64
Rural Self Reliance Fund	Nepal	11,253	80	11,253	80	127
Liberation Movement for Women	India	11,000	100	23,000	100	14
Development Support Team	India	10,929	100	24,952	100	43, 85
Peemade Development Society	India	10,450	90	34,200	92	76
Dian Mandiri Foundation	Indonesia	10,440	90	23,109	90	70
National Educational and Social Development Organization	Nepal	10,211	99	10,211	99	165
Development Initiative for Social Advancement	Bangladesh	10,123	100	12,265	97.23	17
Aspada Paribesh Unnayan Foundation	Bangladesh	9,975	99.8	33,250	99.8	89
SETU	Bangladesh	9,794	100	56,116	99.96	89
Pally Bikash Kendra	Bangladesh	9,790	100	39,161	100	17
Village Financial Services Private Limited	India	9,516	100	31,719	100	141
Grameen Manobik Unnayan Sangstha	Bangladesh	9,350	92.34	11,092	90.06	17, 89
Moris Rasik Timor	East Timor	9,349	100	10,189	NR	134
Ananyo Samaj Kallyan Sangstha	Bangladesh	8,989	100	31,986	99	89
Grameen Jano Unnayan Sangstha	Bangladesh	8,984	100	10,287	100	6
National Development Program	Bangladesh	8,875	100	23,549	100	17
Women Cooperative Society Ltd	Nepal	8,834	100	8,834	100	56, 154
Akhuwat	Pakistan	8,665	25	10,194	30	7
Nav Bharat Jagriti Kendra	India	8,540	95	10,676	83	84, 132
Council of Professional Social Workers	India	8,531	100	8,531	100	141
Ensure Development Activities for Vulnerable Underprivileged Rural People	Bangladesh	8,220	100	9,133	100	34
Vayalar Memorial Youth Club	India	8,000	100	8,000	100	95
Kerala Rural Development Society	India	7,702	97	7,994	97	135
Samannita Unnayan Seba Sangathan	Bangladesh	7,500	98	7,984	NR	89
Association for Rural Advancement in Bangladesh	Bangladesh	7,500	99	13,156	98	169
Social Upliftment Society	Bangladesh	7,300	100	18,229	100	17, 89
Community Women Development Centre	Nepal	7,244	100	7,244	100	155
Ghashful, MCH FP & FW Association	Bangladesh	7,230	98	24,099	98	125
PROGRESS (Akti Samaj Unnayan Mulak Sangstha)	Bangladesh	7,066	100	20,053	100	89
Sarvodaya Trust	India	7,000	90	13,000	90	135
Grameen Development Services	India	7,000	100	8,000	100	26
Assoc. for Renovation of Community Health Education Services	Bangladesh	6,834	99	6,834	99	89
Christian Children's Fund Sri Lanka	Sri Lanka	6,780	88	6,780	88	108
Yayasan Bina Swadaya	Indonesia	6,759	90	27,036	85	163
Alternative Development Initiative	Bangladesh	6,500	94	16,947	NR	17
MOUSUMI	Bangladesh	6,459	100	10,412	99.86	17, 89
Bangladesh Association for Social Advancement	Bangladesh	6,454	99.98	32,269	99.98	17, 89

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
Centre for Action Research-Barind	Bangladesh	6,450	20	29,119	5	89
Quy Khuyen Khich Tu Lap (Fund for the Encouragement of Self-Reliance)	Vietnam	6,052	88.05	11,992	87.01	119
Palli Progoti Shahayak Samity	Bangladesh	6,000	96	53,422	97	89
Concern for Environmental Development and Research	Bangladesh	5,960	95	7,449	95	17, 89
People's Institute for Operational Research Training and Development	India	5,950	100	8,500	100	14
World Concern Bangladesh	Bangladesh	5,846	80.79	12,372	77.01	17
Karmojibi Kallyan Sangstha	Bangladesh	5,800	95	6,720	97	89
South Asia Partnership-Bangladesh	Bangladesh	5,791	100	22,592	97	88
AGRAGATI	Bangladesh	5,623	100	5,623	100	89
Growing Opportunity Finance	India	5,552	100	13,880	100	37
MANUSHI	Nepal	5,279	100	5,279	100	155
Bikalpa Unnayan Karmashuchi	Bangladesh	5,050	85	10,500	100	17
BASTOB-Initiative for People's Self-Development	Bangladesh	5,000	93	6,267	95	115
Sheva Nari O Shishu Kallyan Kendra	Bangladesh	5,000	100	14,239	100	17, 63
Council for Socio Economic Benevolent Action	India	5,000	70	5,000	70	146, 91
Sarhad Rural Support Programme	Pakistan	5,000	80	10,000	60	90
BASTOB-Initiative for People's Self-Development	Bangladesh	5,000	93	6,267	95	138
Council for Socio Economic Benevolent Action	India	5,000	70	5,000	70	91
Self-Help and Rehabilitation Programme	Bangladesh	4,794	97	10,082	96	89
Rural Organisation for Voluntary Activities	Bangladesh	4,721	100	5,437	100	89
Society for Development Initiatives	Bangladesh	4,686	99	41,661	95	6, 34
Community Support Concern	Pakistan	4,657	100	15,523	100	7
Centre for Rural Health and Social Education	India	4,550	84	11,600	85	5
Bangladesh Development Society	Bangladesh	4,512	90	22,629	91	17, 89
Dhaka Ahsania Mission	Bangladesh	4,379	100	26,161	97.93	17, 89
Rural Community Development Society	Pakistan	4,216	56	8,574	55	77
Community Development Society	India	4,200	92	4,900	80	51, 153
Sagarika Samaj Unnayan Sangstha	Bangladesh	4,000	90	16,065	90	89
Bangladesh Environment Development Organisation	Bangladesh	3,822	98	9,556	98	89
Environment Council Bangladesh	Bangladesh	3,787	100	10,272	100	34, 89
Samadhan	Bangladesh	3,604	90	6,553	90	89
BRAC Sri Lanka	Sri Lanka	3,454	100	34,537	100	20, 26
HOPE Foundation	India	3,450	100	5,443	100	9
Poribar Unnayan Songstha	Bangladesh	3,172	100	12,473	93.27	89
Shataphool Bangladesh	Bangladesh	3,165	100	3,924	100	89
Banaful Social Welfare Organization	Bangladesh	3,069	76	6,138	NR	17
Association for Rural Development for Poor Areas in Sichuan	People's Republic of China	3,000	65	5,000	60	181
Muslim Aid UK - Bangladesh Field Office	Bangladesh	3,000	100	27,473	99.98	17

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
Swayamsree Micro Credit Services	India	3,000	99	24,085	99	135
Binh Minh Community Development Consulting Company	Vietnam	2,848	97	4,068	97	44, 179
Good Earth, The	Bangladesh	2,839	96	3,154	95	17, 89
Progoti Samajkallyan Sangstha	Bangladesh	2,820	100	2,820	100	89
Dian Bhuana Lestari Foundation	Indonesia	2,759	100	9,267	71	67, 70
Ad Jesum Development Foundation, Inc.	Philippines	2,677	85	13,386	88	19
Ningxia Yanchi County Ass. for the Advancement of Women	People's Republic of China	2,665	99	2,906	99	58
Planned Social Concern	India	2,535	100	2,535	100	30, 120
NOWZUWAN	Bangladesh	2,512	100	3,945	100	17, 89
Jinnah Welfare Society	Pakistan	2,500	75	4,942	80	73, 77
EASTERN EUROPE and CENTRAL ASIA						
Microcredit Organization EKI	Bosnia and Herzegovina	21,934	NR	41,222	41	175
Opportunity Albania	Albania	7,942	35	13,308	24.76	93
Microenterprise Development Fund KAMURJ	Armenia	7,500	64	10,861	58	42, 68
LATIN AMERICA and the CARIBBEAN						
CREDIAMIGO - Programa de Microcrédito do Banco do Nordeste do Brasil	Brazil	283,454	64.7	299,975	64	178
Patrimonio Hoy	Mexico	175,000	80	184,500	80	27
Caja de Compensación Familiar de Antioquia	Colombia	96,555	39	117,750	39	124
Fonkoze - Fondasyon Kole Zepòl	Haiti	25,000	100	49,959	99	157
Fundación Diaconia FRIF	Bolivia	16,704	70	35,589	63	65, 106
Ecofuturo S.A. Fondo Financiero Privado	Bolivia	13,950	52	21,463	52	133
Organización de Desarrollo Empresarial Femenino	Honduras	13,441	74	22,401	67	147
Corporación Viviendas Hogar de Cristo	Ecuador	12,546	99	23,012	99	92
Sociedad Cooperativa de Ahorro y Crédito AMC de RL	El Salvador	10,341	62	14,799	62	111
Movimiento Manuela Ramos	Peru	7,560	100	13,402	100	144
UMF Arariwa	Peru	7,500	90	12,726	75	78
Asociación de Familia y Medio Ambiente	Honduras	7,361	45	14,722	70	171
Asociación Benéfica PRISMA	Peru	7,170	68.75	19,919	68.75	144
Fundación Para la Promoción Y Desarrollo De Chontales	Nicaragua	5,701	45	19,003	54	16
Pro Mujer - Perú	Peru	4,767	95	39,731	95	144
Cooperativa de Ahorro y Crédito Desarrollo de los Pueblos	Ecuador	4,605	39	13,057	45	105
Equipo de Educación y Auto gestión Social	Peru	4,500	84	5,663	84	144
Santa Fe de Guanajuato A.C.	Mexico	3,984	90	11,384	90	71, 101
Oportunidad Latinoamérica Colombia	Colombia	3,600	90	7,200	80	130
ADRA Perú	Peru	2,637	100	8,781	100	144

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
MIDDLE EAST and NORTH AFRICA						
Banque Tunisienne de Solidarite	Tunisia	362,000	78	380,000	80	48
Microfinance Investment Support Facility for Afghanistan	Afghanistan	216,781	68	365,145	68	174
BRAC Afghanistan	Afghanistan	137,016	92	143,097	89	50
LEAD Foundation (Egyptian Foundation for Enterprise Dev.)	Egypt	98,250	93.4	106,321	86.9	160, 182
Alexandria Business Association - Small and Micro Enterprise	Egypt	62,788	64.12	70,957	58.4	182
Microfund for Women	Jordan	29,223	100	34,713	85	2
Jordan Micro Credit Company / Tamweelcom	Jordan	26,357	96	31,407	95	2
ENDA Inter-Arabe	Tunisia	12,750	80	63,794	80	87
Development and Employment Fund / Reyada	Jordan	12,000	80	16,262	60	2, 10
Microfinance Agency for Development and Rehabilitation of Afghan community	Afghanistan	10,887	43	14,222	44	97
OXUS Afghanistan	Afghanistan	9,372	70	11,026	53.6	15
Turkey Grameen Microcredit Project	Turkey	7,397	100	7,397	100	49
UNRWA Microfinance and Microenterprise Programme-Palestine	Israel	3,900	10	715	17	24
Port Sudan Association for Small Enterprise Development	Sudan	2,940	80	4,200	67	1, 81
SUB-SAHARAN AFRICA						
Amhara Credit and Savings Institution	Ethiopia	611,064	50	643,226	50	167
Dedebit Credit and Saving Institution Share Company	Ethiopia	423,830	38	423,830	NR	99
Oromia Credit & Saving Share Company	Ethiopia	255,887	26.88	255,887	26.88	176
Kafo Jiginew	Mali	239,511	26.61	239,511	26.61	41
Omo Microfinance Institution S.C.	Ethiopia	115,465	38.3	120,277	36	11
Gambia Social Development Fund	The Gambia	76,500	80	102,000	74	122
Lift Above Poverty Organization	Nigeria	65,490	97.6	130,979	98	167
Institution Nigerienne De Microfinance ASUSU-CIGABA	Niger	63,000	95	73,546	87.34	3
Crédit Rural De Guinée Société Anonyme	Guinea	58,745	43	78,326	42	159
CARE International Au Niger	Niger	50,869	100	50,869	100	114
Sinapi Aba Trust	Ghana	50,622	95	56,879	94	52, 67
Federation des ONG du Senegal	Senegal	47,586	70	63,250	75	149
BRAC Uganda	Uganda	36,452	100	36,452	100	110, 109
Pamoja Women Development Programme	Kenya	32,000	100	40,000	100	118
Jamii Bora	Kenya	31,537	65	48,518	65	148, 177
Small Enterprise Foundation, The	South Africa	30,063	100	45,740	99	28
Concern Universal Microfinance Operations	Malawi	20,603	82	20,603	82	128
PEACE Microfinancing Institution Poverty Eradication and Community Empowerment	Ethiopia	19,374	75	19,471	75	11
Grassroots Health Organization of Nigeria	Nigeria	14,600	92	15,700	99	104
Self Reliance Economic Advancement Programme	Nigeria	14,044	91	14,044	91	123
Union des Clubs d'Epargne et de Credit Du Mayo-Kebbi	Chad	13,813	24	15,348	24	46

Institution	Country	Poorest Clients as of 31 Dec. 2007	% of Poorest Clients that are Women	Total Active Clients as of 31 Dec. 2007	% Total Women	Verified by
Opportunity International Bank of Malawi	Malawi	12,119	70	17,313	55	100
Association des Caisses de Financement a la Base	Benin	9,570	89	13,884	82	173
Caurie - Micro Finance	Senegal	8,843	100	14,738	100	166
Union des COOPECs Umutanguha	Rwanda	8,500	80	11,511	60	61
PEARL Microfinance Limited	Uganda	8,120	60	18,674	57	109
Kraban Support Foundation	Ghana	7,000	98	7,500	98	52
Micro Credit For Development And Transformation Cooperative Savings And Credit Society Ltd	Uganda	4,217	100	4,217	100	47, 109

付録 2: 検証者リスト

Number	Name of Verifier	Institution	Country
1	Abachi, Norbert	Oxfam Novib	Netherlands
2	Abdel-Baki, Ranya	Sanabel	Egypt
3	Abdouramane, Djermakoye	ANIP	Netherlands
4	Abed, Fazel	BRAC	Bangladesh
5	Abraham, Samuel Smiles	The Bridge Foundation	India
6	Ahmed, Quazi Mesbahuddin	PKSF	Bangladesh
7	Ahmed, Syed Mohsin	PMN	Pakistan
8	Alam, Md. Jahangir	Implementation, Monitoring & Evaluation Division (IMED)	Bangladesh
9	Alexander, T.M.	Sa-Dhan	India
10	Al-Wadi, Md. Yazid	Talal Abu-Ghazaleh	Jordan
11	Amha, Wolday	AEMFI	Ethiopia
12	Anthony, Emil	Consultant	Sri Lanka
13	Antony, Romance	Kerala Social Services Forum	India
14	Arokiasamy, A.	People's Multipurpose Development Society (PMD)	India
15	Ati, Madhuvan	MISFA	Afghanistan
16	Awiles, Sergio	BCIE	Honduras
17	Awal, Md. Abdul	CDF	Bangladesh
18	Banjade, Jay	Save the Children USA	USA
19	Barrun, Jessica	People's Credit & Finance Corporation	Philippines
20	Bartoča, David	GTZ	Sri Lanka
21	Barua, Subrid Kumar	S. K. Barua & Co.	Bangladesh
22	Barua, Dipal Chandra	Grameen Bank	Bangladesh
23	Bedson, Jamie	The Banking with the Poor Network	Singapore
24	Besch, Kris	Sanabel	Egypt
25	Bista, Mukunda Bahadur	Centre for Self-help Development (CSD)	Nepal
26	Bode, Rixt	Oxfam Novib	Netherlands
27	Budinich, Valeria	Ashoka	USA
28	Calvin, Barbara	Vulindlela Development Finance Consultants	South Africa
29	Cameron, Derek	Canadian Cooperative Association	Canada
30	Carpenter, Sean	Project Concern International	USA
31	Chadha, Maneesha	ABN AMRO	India
32	Chakraborty, Dilip Kumar	PKSF	Bangladesh
33	Chinnery, Suzi	World Vision Australia	Australia
34	Chowdhury, Shafiqul Haque	ASA	Bangladesh
35	Dehal, Rudra Nath	Plan Nepal Rautahat Program	Nepal
36	Dam, Tran Van	Vietnam Bank for Agriculture and Rural Development	Vietnam
37	Daniels, Mark	Opportunity International	Australia
38	Das, Rakesh	Indian Grameen Services	India
39	Das, Vijaya Lakshmi	FWWB	India
40	de Mel, J. Henry	Lanka Development Trainers & Consultants	Sri Lanka

Number	Name of Verifier	Institution	Country
41	Destrait, Freddy	SOS Faim Belgique	Belgium
42	d'Huart, Patrick	INCOFIN	Belgium
43	Divekar, Gopal	Oxfam Australia	India
44	Doan, Tuan	Save the Children	USA
45	D'Souza, Judith	International Fund for Agricultural Development (IFAD)	India
46	du Parc, Bénigne	PlaNet Finance	France
47	Elberger, Ben	Kiva Microfunds	USA
48	Ennar, Mourad	IOM	Tunisia
49	Erekin, Ahmet	HSBC Turkey	Turkey
50	Fakiri, Katrin	MISFA	Afghanistan
51	Fernandes, J.P.	YMCA Nagpur	India
52	Fosu, Clara	GHAMFIN	Ghana
53	Gajurel, Meghraj	RMDC	Nepal
54	Gandhi, Sanjay	Micro Credit Ratings International Limited	India
55	Garcia, Edgardo	Microfinance Council of the Philippines Inc.	Philippines
56	Ghimire, Tej Hari	CMF	Nepal
57	Gopal, Uma	Citibank NA	India
58	Gubon, Qi	College of Humanities and Development, China Agricultural University	People's Republic of China
59	Gupta, Madhulika	Citi India	India
60	Haberberger, Marie-Luise	GTZ India	India
61	Habyalimana, Straton	SNV Netherlands Development Organisation	Rwanda
62	Halder, Sumon Kumar	Anukul Foundation	Bangladesh
63	Haque, Enamul	ASA	Bangladesh
64	Hasan, Didarul	Oxfam GB	United Kingdom
65	Haug, Jørgen	Misión Alianza de Noruega	Norway
66	Hazra, Balai Krishna	RDCD	Bangladesh
67	Head, Timothy	Opportunity International	USA
68	Henriksen, Jo	Kolibri Kapital	Norway
69	Hien, Ngo Minh	Vietnam Microfinance and Communities Development Institution	Vietnam
70	Honeyman, Paul	Opportunity International Network	Thailand
71	Hurtado Cárdenas, Fernando	Sistema Estatal de Financiamiento al Desarrollo del Estado de Guanajuato (SEFIDE)	Mexico
72	Iqbal, Ziauddin	PKSF	Bangladesh
73	Isa, Qazi Azmat	The World Bank- Pakistan	Pakistan
74	Islam, Saiful	Women's World Bank	Bangladesh
75	Ismawan, Bambang	GEMA PKM Indonesia	Indonesia
76	Iyer, GSR	NABARD	India
77	Jamal, Ahmed	PPAF	Pakistan
78	Jimenez, Ana	COPEME	Peru
79	Jose, Tony	ICICI Bank Ltd.	India
80	Joyas, Lalaine	Microfinance Council of the Philippines Inc.	Philippines
81	Kaaria, Joshua	INAFI Africa	Kenya

Number	Name of Verifier	Institution	Country
82	Kabeer, Naila	University of Sussex	United Kingdom
83	Kader, Fazul	PKSF	Bangladesh
84	Kalyanasundaram, M.	INAFI India	India
85	Kanitkar, Ajit	The Ford Foundation	India
86	Khaled, Md. Hasan	PKSF	Bangladesh
87	Khaled, Mohamed Ali	Microserve	USA
88	Khan, Abdul Hai	Grameen Trust	Bangladesh
89	Khan, Mosharraf Hossain	PKSF	Bangladesh
90	Khan, Samad	Rural Support Programmes Network	Pakistan
91	Khanda, Santosh Kumar	FORD Foundation	India
92	Koenig, Ricardo	Club Rotario Guayaquil	Ecuador
93	Kospiri, Alma	USAID Albania	Albania
94	Kumar, M. Udai	Share Microfin Limited	India
95	Kumar, Vineeth	Law Quarters, Vanchiyoar, Trivandrum	India
96	Lacson, Gil	Women's World Banking	USA
97	Lampe, Dale	MISFA	Afghanistan
98	Latiflee, H.L.	Grameen Trust	Bangladesh
99	Legac, François	SOSFAIM	Luxembourg
100	Luboyeski, Victor	Chemonics	Malawi
101	Macías Chávez, Fernando Javier de Guadalupe	FONAES	Mexico
102	MacLeod, Kurt	Asia Region Pact Inc.	Cambodia
103	Madhavi, P.	Access Development Services	India
104	Magashi, Aminu G.	Community Health Research Initiative	Nigeria
105	Marcial, Verónica	Red Financiera Rural	Ecuador
106	Marconi, Reynaldo	FINRURAL	Bolivia
107	Mason, Peter	Credit Union Foundation Australia	Australia
108	Matsuura, Koji	Child Fund Japan	Japan
109	Mayanja, Paul	Strømme Foundation East Africa Limited	Uganda
110	Minnaar, Jacco	Triodos	Netherlands
111	Montano, Franklin	ASOMI	El Salvador
112	Mony, Bun	Sathapana Limited	Cambodia
113	Moore, Richard	California State University	USA
114	Moussa, Reki	ASUSU-CIGABA	Niger
115	Mowla, A.K.M. Golam	PKSF	Bangladesh
116	Murthy, G.K. Anantha	NABARD	India
117	Nagarajan, G.	Integrated Rural Development Trust	India
118	Ngarachu, Judy	OikoCredit	Kenya
119	Nguyen, Nhien	Bureau of Foreign Affairs of Hue City	Vietnam
120	Niranjani, Daksha	FWWB	India
121	Nizamani, Muhammad Ali	Sindh Microfinance Network	Pakistan
122	Njie, Abdou A.B	Sahel Invest Management International	The Gambia
123	Nnoli - Edozien, Ndid	Growing Business Foundation	Nigeria

Number	Name of Verifier	Institution	Country
124	Norato, Rocio Alarcón	Embassy of Spain	Colombia
125	Nuruzzaman, A.K.M.	PKSF	Bangladesh
126	Ohri, Chandni	Grameen Foundation	USA
127	Pant, Harihar Dev	Nirdhan Utthan Development Bank Ltd.	Nepal
128	Phiri, Christopher Maulidi	DFID Malawi	Malawi
129	Pikholz, Lynn	Shorebank Advisory Services	USA
130	Pinilla Hernández, Humberto	Secretaria Distrital de Desarrollo Económico	Colombia
131	Pinto, Albin	The Bridge Foundation	India
132	Prabhakara, S.	Sa-Dhan	India
133	Prado, Fernando	Asociación de Entidades Financieras Especializadas en Microfinanzas	Bolivia
134	Pramudya, Panca	HIVOS	Indonesia
135	Prem, Sadashiv	NABARD	India
136	Premakumar, P.A.	NABARD	India
137	Rahman, Atiur	CDF	Bangladesh
138	Rahman, Mahabubur	Anukul Foundation	Bangladesh
139	Raj, P. Joseph Victor	Holistic Approach for People's Empowerment (HOPE)	India
140	Ramana, S.S.Radha	SIDBI	India
141	Rathna, K.	Access Development Services	India
142	Reddy, A. Damodhar	Novok, Kumool	India
143	Rempel, Theresa	Mercy Corps	USA
144	Rios Hendckell, Carlos	COPEME	Peru
145	Robinson, Marguerite	Harvard University	USA
146	Sahoo, Rajkishor	VORD	India
147	Sanchez, Raul	Red Katalysis	Honduras
148	Sannesmoen, Johannes	Strømme Foundation	Norway
149	Sarr, Mbaye	Cabinet SARR SARL	Senegal
150	Satyamurti	All India Association For Micro Enterprise Development	India
151	Shah, Lalit	FWWB	India
152	Shahabuddin, Quazi	Bangladesh Institute of Development Studies	Bangladesh
153	Shende, Vilas Manohar	Mure Memorial Hospital	India
154	Shrestha, Keshar Bahadur	Swablaban Bikas Bank	Nepal
155	Shrestha, Shankar Man	RMDC	Nepal
156	Siddiqui, Saqib	PPAF	Pakistan
157	Simanowitz, Anton	Imp-Act Consortium	United Kingdom
158	Sinha, Frances	EDA/M-CRIL	India
159	Sow, Ahmadou	APIM-Guinee	Guinea
160	Spingler, Michael	Chemonics	Egypt
161	Srinivas, B.	ABN AMRO Bank N.V.	India
162	Stanley, F. Joseph	Skills for Progress (SKIP)	India
163	Sumarta, Harya	GEMA PIOM Indonesia	Indonesia
164	Teumer, Joerg	Savings Banks Foundation for International Cooperation	Germany
165	Thapa, Pritha	RMDC	Nepal

Number	Name of Verifier	Institution	Country
166	Tine, Abbé Ambroise	Caritas Senegal	Senegal
167	Tolat, Malini	Grameen Foundation	USA
168	Tong, Hout Ieng	Haitha Kaksekar Limited	Cambodia
169	Uddin, Jashim	PKSF	Bangladesh
170	Uddin, M. Farid	CDF	Bangladesh
171	Urquia, Julio Cesar	Banco Popular Covelco	Honduras
172	Valdez, Ginalyn N.	Peoples Credit & Finance Corporation	Philippines
173	Van de Voorde, Herman	PADSA/DANIDA	Benin
174	Verna, Niraj	The World Bank	Afghanistan
175	Vujosevic, Andrea	World Vision, MEER	Bosnia and Herzegovina
176	Waithaka, Darius	INAFI	Kenya
177	Wardell, Richard	Unitus	USA
178	Wittlinger, Bettina	ACCION International	Brazil
179	Wolf, Katharine	Entrepreneur de Monde	Vietnam
180	Wright, Graham A. N.	MicroSave India	India
181	Xiaoshan, Du	Rural Development Institute	People's Republic of China
182	Zayat, Rizkallah G.	USAID Egypt	Egypt

付録 3: 2008 年度アクションプランを提出した団体

Council of Advocates

CEEWA-Uganda, Uganda
 FinMark Trust, South Africa
 Fonkoze Development Fund, USA
 Fundamental Human Rights & Rural Development Association, Pakistan
 Humcreativity Point Venture, Nigeria
 Micro Insurance Associates Agency Philippines, Inc., Philippines
 Oxfam Novib, Netherlands
 RESULTS Australia, Australia
 Sierre Leone Multipurpose Investment Company, Sierra Leone
 Start with 10, USA
 World Savings Banks Institute, Belgium

Council of Banks and Commercial Finance Institutions

BancoEstado Microempresas Sociedad Anónima, Chile
 Bharattheeya Mahila Bank, India
 Khosen Credit Union, Ukraine
 MicroCredit Enterprises, USA
 SNS Asset Management, Netherlands

Council of Corporations

Barefoot Power Pty. Ltd., Australia
 Grameen Capital India, India
 International Business Machines, USA

Council of Domestic Government Agencies

Banco Hondureño para la Producción y la Vivienda, Honduras
 Japan Bank for International Cooperation, Japan
 Pakistan Poverty Alleviation Fund, Pakistan
 Palli Karma Sahayak Foundation (PKSF), Bangladesh
 Rural Microfinance Development Centre Ltd., Nepal

Council of Donor Agencies

Arab Gulf Program for United Nations Dev. Org., Saudi Arabia

Council of Educational Institutions

Asian Institute of Technology, Thailand
 Burgundy School of Business (ESC Dijon), France
 Graduate College of Aviation, Sierra Leone
 Indian School of Microfinance for Women, India

Ofata College, Kenya
 Point Loma Nazarene University's Microfinance Club, USA
 Southern Illinois University, School of Social Work, USA
 University of Bologna, Italy
 University of Technology, Sydney, Australia
 Women's Development Research Centre (KANITA), Malaysia

Council of Foundations and Philanthropists

Feed the Hunger, USA
 Femmes Philanthropes, Togo
 Hong Leong Foundation, Malaysia
 Linked Foundation, USA
 Mulchand and Parpati Thadhani Foundation, USA
 Rabobank Foundation, Netherlands
 Strømme Foundation Bangladesh, Bangladesh

Council of Individual Supporters

Bhavesh Sharma, USA
 Brian McConnell, USA
 Brooke Estin, Thailand
 Ciplis Gema Qoriah, Indonesia
 Collins Ngwakwe, Nigeria
 Daniel Onw Eazu Ajunam, Nigeria
 Delima Kiswanti, Indonesia
 Elizabeth Wanlund, USA
 Felicia Montgomery, USA
 Gorakshanath Bhange, India
 Jessica Lee Massie, USA
 Khageshwar Adhikari, Nepal
 Kunto Binawan, Indonesia
 Maren Duwendack, United Kingdom
 Mark McNickle, USA
 Michelle Gomperts, USA
 Muhammad Aswary Pulungan, Indonesia
 Rhonda Longmore, USA
 Prof. Sali P.S, India
 Roland Palencia, USA
 Sanaz Sigaroudi, Canada
 Srinivasa Seshasai Babu Yella, India

Council of International Financial Institutions

Cresud Spa, Italy

The World Bank-CGAP, USA

Council of NGOs

African Underprivileged Children's Foundation, Nigeria

Aide d'Urgence Humanitaire en Afrique, Cote d'Ivoire

Akwapim Mountains Women Forum, Ghana

Alternative for Rural Movement, India

Appui aux Initiatives de Developpement, Democratic Republic of Congo

Appui Solidaire Pour le Renforcement de L'aide au Dev., Cameroon

Association Camerounaise pour le Developpement Humain, Cameroon

Association de Soutien A L. Autopromotion Sanitaire Urbaine, Cote d'Ivoire

Association des Jeunes pour le Developpement, Senegal

Christian Fellowship and Care Foundation, Nigeria

Commonwealth People's Association of Uganda, Uganda

DEFESORA, Democratic Republic of Congo

Diamond Development Initiatives, Nigeria

Espoir de la Famille, Benin

FECANAR Global Consult Ltd., Nigeria

Gema Rosari Credit Union, Indonesia

Gems of Hope, Canada

Global Poverty Eradication Centre, Ghana

ICODEPS, Ghana

India Counselling and Care Center, India

Jana Utthan Pratishthan, Nepal

Kenya Youth Education & Community Development Program, USA

Kids Care Foundation, Pakistan

Kiva MicroFunds, USA

M&B Kind Concern Comfort and Help Line Rural Development Society, India

Mamta Samajik Sanstha, India

Maritime Life Precious Foundation, Ghana

Matha Socio Educational Society, India

Mayuri Tailoring Embroidery Fabric Painting Training Association, India

ONG La Grace Divine Etemelle, Cote d'Ivoire

PATHIKRIT, Bangladesh

PlaNet Finance, France

Polli Dustha Kallyan Sangstha, Bangladesh

Reach India, India

Rescue High Council, Democratic Republic of Congo

Rural Education and Development Project, India

Rural Society Welfare Centre (RSWC), Nepal

Samrudhi Micro Fin Society, India

Social Advancement through Unity, Bangladesh

Steward Gods Grace Welfare Society, India

The Association for Micro Small Business Advancement, Indonesia

The Hong Kong Institute of Microfinance, People's Republic of China

The Norwegian Mission Alliance, Vietnam

UMECE, Cote d'Ivoire

Unidad para el Desarrollo del Sur (UNISUR), Peru

Women in Neighborhood, Nigeria

Youth Development Association – Cameroon, Cameroon

Youth Empowerment Society, Pakistan

Youth Ministry, India

Council of Practitioners

3A Enterprises, Guinea

A Self-Help Assistance Program, USA

Abiodunadebayo Welfare Foundation, Nigeria

Accedde, S.A. de C.V., SOFOM, E.N.R., Mexico

Access Development Services, India

Acción de Servicio y Desarrollo para la Micro Empresa, Peru

Aceh Grameen Credit Program, Indonesia

ACONSUR, People's Republic of China

Activists for Social Alternatives / Grama Vidyal MF, India

Actuar Atlántico, Colombia

Actuar Bolivar, Colombia

Actuar Caldas, Colombia

Ad Jesum Development Foundation, Inc., Philippines

Ad-din Welfare Centre – Jessore, Bangladesh

Addis Credit and Saving Institution, Ethiopia

ADEA - Andahuaylas, Peru

ADEC-ATC, Peru

ADMIC Nacional, A.C., Mexico

Adra Ghana Microfinance Foundation, Ghana

ADRA Perú, Peru

Agencia Adventista Para el Desarrollo y Recursos Asistenciales, Honduras

AGRAGATI, Bangladesh

Agricultural Development Association, Palestine

Agricultural Science Foundation, India

Aidez Small Project International, Ghana

Akhuwat, Pakistan

Al Falah Aam Unnayan Sangstha, Bangladesh

Alalay Sa Kaunlaran Sa Gtnang Luzon, Inc., Philippines

Alexandria Business Association - Small and Micro Enterprise, Egypt

All India Association for Micro-Enterprise Development, India

All India Women's Conference, India
 Alliance of Philippine Partners in Enterprise Development, Philippines
 Al-Mehran Rural Development & Welfare Organization, Pakistan
 Alpha Development Centre, Uganda
 ALTERNATIVA, Peru
 Alternativa 19 del Sur, S.A. de C.V., Mexico
 Alternativa Solidaria Chiapas, A.C., Mexico
 Alternative Development Initiative, Bangladesh
 AMA - Asoc. Mujeres En Acción, Peru
 Amalgamated Community Help International, Ghana
 Amanah Ikhtiar Malaysia, Malaysia
 Ambito Productivo S.C., Mexico
 Amhara Credit and Savings Institution, Ethiopia
 Anannya Samaj Kalyan Sangostha, Bangladesh
 Angkor Mikroheranvatho (Kampuchea) Co., Ltd., Cambodia
 Annesha Foundation,
 Ansar - VDP Unnayan Bank, Bangladesh
 Ansar Ali Foundation for Integrated Development, Bangladesh
 Apoyo Económico Familiar, S.A. de C.V., Mexico
 Apoyo Integral, Fundación Salvadoreña De Apoyo Integral, El Salvador
 Apoyo Social Valladolid, S.A. de C.V., Mexico
 Aram Foundation, Bangladesh
 Argentina Microfinanzas S.A., Argentina
 Asesoría Financiera de México, S.A. de C.V., Mexico
 ASHROD, Bangladesh
 Asmitha Microfin Limited, India
 ASOCBIO, Peru
 Asociación ADRI, Costa Rica
 Asociación Balsamo, El Salvador
 Asociación Benéfica PRISMA, Peru
 Asociación Civil "AVANZAR por el Desarrollo Humano", Argentina
 Asociación Cooperativa de Ahorro y Crédito Vicentina de Responsabilidad Limitada, El Salvador
 Asociación Costa Rica Grameen, Costa Rica
 Asociación costarricense para organizaciones de Desarrollo, Costa Rica
 Asociación Credimujer, Costa Rica
 Asociación Cristiana de Jóvenes de Ecuador, Ecuador
 Asociación de Consultores para el Desarrollo de la Pequeña, Mediana, y Microempresa, Nicaragua
 Asociación de Desarrollo de Rivas, ASODERI, Nicaragua
 Asociación de Desarrollo Pespirese, Honduras
 Asociación de Familia y Medio Ambiente, Honduras
 Asociación de Micro y Pequeños Empresarios, El Salvador
 Asociación de Mujeres en Desarrollo, Guatemala

Asociación de Oportunidad y Desarrollo de Nicaragua, Nicaragua
 Asociación Fondo de Desarrollo Local, Nicaragua
 Asociación Génesis (Fundación Génesis), El Salvador
 Asociación Guatemalteca del Desarrollo Integral, Guatemala
 Asociación Guatemalteca para el Desarrollo, Guatemala
 Asociación Mexicana de la Transformación Rural y Urbana, A.C., Mexico
 Asociación Movimiento Fe y Alegría, Guatemala
 Asociación para el Desarrollo de la Región Chorotega, Costa Rica
 Asociación para el Desarrollo de las Cajas Rurales, Panama
 Asociación para el Desarrollo Integral Comunitario de Honduras, Honduras
 Asociación para el Fomento al Desarrollo de Nicaragua, Nicaragua
 Asociación Pro Desarrollo Económico y Social de Honduras, Honduras
 Asociación Solidaridad y Acción, Ecuador
 Asoprosanramon, Costa Rica
 Aspada Paribesh Unnayan Foundation, Bangladesh
 Assistance for Social Organization and Development, Bangladesh
 Assoc. for Renovation of Community Health Education Services, Bangladesh
 Assoc. for Rural Cooperation, Development and Improvement, People's Republic of China
 Association d'Entraide Communautaire, Democratic Republic of Congo
 Association d'Entraide Professionnelle, Lebanon
 Association des Caisses de Financement a la Base, Benin
 Association for Community Development, Bangladesh
 Association for Realisation of Basic Needs, Bangladesh
 Association for Rural Advancement in Bangladesh, Bangladesh
 Association for Rural Development for Poor Areas in Sichuan, People's Republic of China
 Association for Social Advancement (ASA), Bangladesh
 Association of Asian Confederation of Credit Unions (ACCU), Thailand
 Association of Cambodian Local Economic Development Agencies Bank Ltd., Cambodia
 Association of Development for Economic and Social Help- ADESH, Bangladesh
 Association of Microfinance Institutions Kenya, Kenya
 Association pour la Promotion des Groupements Agricoles, Togo
 ATMAISWAS, Bangladesh
 AXTLA Consultoria de Negocios Administrativos y Agropecuarios, S.A. de C.V., Mexico
 Banaful Social Welfare Organization, Bangladesh
 Banco Amigo, S.A., Institución de Banca Múltiple, Mexico
 Banco de Ahorro y Crédito, Asociación Dominicana para el Desarrollo, Dominican Republic
 Banco de los Trabajadores de San Miguel, El Salvador
 Banco Delta SA., Panama

Council of Practitioners (continued)

BANCO Hondureño del Café, Honduras	Caja de Crédito de Acajutla, El Salvador
Banco Izalqueno de los Trabajadores, S.C., El Salvador	Caja de Crédito de Aguilares, El Salvador
Banco Oportunidade de Moçambique, Mozambique	Caja de Crédito de Ahuachapán, El Salvador
Banco Procredit, Ecuador	Caja de Crédito de Armenia, El Salvador
Banco Solidario S.A., Ecuador	Caja de Crédito de Berlín, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada, El Salvador
Bandhan, India	Caja de Crédito de Candelario de la Frontera, El Salvador
Bandhu Kalyan Foundation, Bangladesh	Caja de Crédito de Chalchuapa, El Salvador
BANGENTE, Venezuela	Caja de Crédito de Ciudad Barrios, El Salvador
Bangladesh Association for Social Advancement, Bangladesh	Caja de Crédito de Cojutepeque, El Salvador
Bangladesh Development Society, Bangladesh	Caja de Crédito de Colón, El Salvador
Bangladesh Environment Development Organisation, Bangladesh	Caja de Crédito de Concepción Batres, El Salvador
Bangladesh Extension Education Services, Bangladesh	Caja de Crédito de Izalco, El Salvador
Bangladesh Krishi Bank, Bangladesh	Caja de Crédito de Juayúa, El Salvador
Bangladesh Rural Advancement Committee (BRAC), Bangladesh	Caja de Crédito de la Libertad, El Salvador
Bangladesh Rural Development Board (BRDB), Bangladesh	Caja de Crédito de Nueva Concepción Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
Bangladesh Rural Integrated Development for Grib-Street Economy, Bangladesh	Caja de Crédito de Quezaltepeque, El Salvador
Bank of Marshall Islands, Marshall Islands	Caja de Crédito de San Agustín, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
Bank Rakyat Indonesia, Indonesia	Caja de Crédito de San Francisco Gotera, El Salvador
Banking with the Poor Network c/o The Foundation for Development Cooperation, Australia	Caja de Crédito de San Ignacio, El Salvador
BanPuebla, S.A. de C.V., SOFOM, E.N.R., Mexico	Caja de Crédito de San Martín, El Salvador
Banque Tunisienne de Solidarité, Tunisia	Caja de Crédito de San Sebastián, El Salvador
Banrural Grameen Microfinanzas, Guatemala	Caja de Crédito de San Vicente, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
BASTOB-Initiative for People's Self-Development, Bangladesh	Caja de Crédito de Santa Ana, El Salvador
Batticaloa Young Men's Christian Association, Sri Lanka	Caja de Crédito de Santa Rosa de Lima, El Salvador
Bayan Muna Small Enterprise Development Foundation, Philippines	Caja de Crédito de Santiago de María, El Salvador
Bharatha Swamukti Samsthe/ BSS Microfinance Private Limited, India	Caja de Crédito de Santiago Normalco, El Salvador
Bikalpa Unnayan Karmashuchi, Bangladesh	Caja de Crédito de Sokapango, El Salvador
Bina Kasih Foundation, Indonesia	Caja de Crédito de Sonsonate, El Salvador
Binh Minh Community Development Consulting Company, Vietnam	Caja de Crédito de Suchitoto, El Salvador
BMSDF Associates Coop., Philippines	Caja de Crédito de Tonacatepeque, El Salvador
BRAC Afghanistan, Afghanistan	Caja de Crédito de Usulután, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
BRAC Sri Lanka, Sri Lanka	Caja de Crédito de Zacatecoluca, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
BRAC Uganda, Uganda	Caja de Crédito Rural de Chalatenango, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
Brooks Microfinance Bank Ltd, Nigeria	Caja de Crédito de San Miguel, El Salvador
Brotherhood of St Laurence, Australia	Caja de Crédito de San Pedro Honvalco, El Salvador
BURO Bangladesh, Bangladesh	Caja de Crédito y Ahorro de San Juan Opico, Sociedad Cooperativa de Responsabilidad Limitada de C.V., El Salvador
BWDA Finance Limited – (Bullock-cart Workers Development Association Finance Ltd.), India	
Caisse de Microfinance de la Mungu, Republic Of Congo	
Caja de Compensación Familiar de Antioquia, Colombia	
Caja de Crédito de Atiquizaya, El Salvador	

Caja Municipal de Ahorro y Crédito de Maynas, Peru
 Camara de Comercio e Industrias de Choloma, Honduras
 CAPIRONA, Peru
 Capital Aid Fund for Employment of the Poor – Ho Chi Minh City, Vietnam
 CARE International au Niger, Niger
 CARE International in Zimbabwe, Zimbabwe
 CARITAS Bangladesh, Bangladesh
 Caritas del Perú, Peru
 Carsa Foundation, Bangladesh
 Casa Campesina de Cayambe, Ecuador
 CASHPOR Micro Credit, India
 Catholic Relief Services (Ecuador), Ecuador
 Caurie - Micro Finance, Senegal
 Gauvery Kalpatharu Grameen Bank, India
 CCHES – Center for Charity Health Education and Social Service, India
 Center for Agriculture and Rural Development Mutually Reinforcing
 Institutions (CARD), Philippines
 Center for Community Economics and Development Consultants Society,
 India
 Center for Community Transformation, Inc., Philippines
 Central de Promoción Rural Acayucan, A.C., Mexico
 Central People's Credit Fund, Vietnam
 Centre for Action Research – Barind, Bangladesh
 Centre for Advanced Research and Social Action, Bangladesh
 Centre for Development Innovation and Practices, Bangladesh
 Centre for Development Strategy, Nigeria
 Centre for Human and Natural Resource Development, India
 Centre for Mass Education in Science, Bangladesh
 Centre for Rural Health and Social Education, India
 Centre for Self-Help Development, Nepal
 Centro Bartolomé de las Casas, Peru
 Centro de Apoyo al Microempresario, Mexico
 Centro de Desarrollo Humano, Honduras
 Centro de Estudios Promoción Y Servicio Social, Panama
 Centro de Gestión Local Para el Desarrollo Sostenible, Panama
 Centro de Investigación, Capacitación, Asesoría y Promoción, Peru
 Centro de Promoción y Empleo para el Sector Informal Urbano, Ecuador
 Centro de Reorientación Familiar y Comunitaria, El Salvador
 Changsha Guarantee Centre of Microfinance for Re-employments, People's
 Republic of China
 CHF International / AMEEN, Lebanon
 Chhimek Bikas Bank Ltd., Nepal
 Chifeng Zhaowuda Women's Sustainable Development Association, People's
 Republic of China

Children Programming and Development Project Office of Weiyuan County
 Poor Area, Gansu Province, People's Republic of China
 China Association for Microfinance, People's Republic of China
 China Foundation for Poverty Alleviation, People's Republic of China
 Christian Children's Fund Sri Lanka, Sri Lanka
 CIDES, Colombia
 Club Avenir da Silveira, Togo
 Coastal Association for Social Transformation Trust, Bangladesh
 Common Interest Foundation, Thailand
 Community Development Society, India
 Community Finance Resource Centre, Vietnam
 Community Support Concern, Pakistan
 Community Women Development Centre, Nepal
 Concern for Environmental Development and Research, Bangladesh
 Concern Universal Microfinance Operations, Malawi
 Concerned Women for Family Development, Bangladesh
 Conserva A.C., Mexico
 Consultores Agropecuarios y Forestales Asociados, S.A. de C.V., Mexico
 Consultaria de Servicios Rurales, Mexico
 Consultaria y Capacitación para el Desarrollo Productivo, S.V., Mauritius
 Cooperación para el Desarrollo Rural Occidental, Guatemala
 Cooperativa Corfas de Crédito Solidario "Consolidar", Colombia
 Cooperativa de Ahorro y Crédito 29 de agosto de la PNP Ltda., Peru
 Cooperativa de Ahorro y Crédito 4 de octubre, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Acción Rural Ltda., Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Ambato, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Cafetera, Colombia
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Chone Ltda., Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito de Unión Popular, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Desarrollo de los Pueblos, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Fondvida, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Hospicio Ltda., Bolivia
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Kullky Wasi, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito La Merced del Vecino, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito La Nacional, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Los Andes Cotarusi Aymaraes, Peru
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Luz del Valle, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Maquita Cushunchic Ltda., Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Progreso Ltda., Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito SAC AIET, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito San José Ltda, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito San Miguel de Pallatanga, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Santa Ana de Nayon, Ecuador
 Cooperativa de Ahorro y Crédito Yantzaza, Ecuador

Council of Practitioners (continued)

Cooperativa de Servicios Múltiples 20 de abril R.L., Nicaragua
 Cooperativa Juan Pablo T.R.L., Panama
 Cooperativa Mujeres Unidas, Ecuador
 Corporación Acción por el Tolima – Actuar Famiempresas, Colombia
 Corporación Eclof Colombia, Colombia
 Corporación Minuto de Dios Programa Contigo, Colombia
 Corporación Mundial de la Mujer Medellín, Colombia
 Corporación para el fomento del microcrédito y las microfinanzas – FOMENTAMOS, Colombia
 Corporación Viviendas Hogar de Cristo, Ecuador
 Corporativo Integral de Microempresas Asociadas del Sureste, S.C., Mexico
 Council for Socio Economic Benevolent Action, India
 Council of Professional Social Workers, India
 Country Women Association of Nigeria, Nigeria
 Crac San Martín, Peru
 Crac Cajamarca, Peru
 Crac Credichavin, Peru
 Crac Libertadores De Ayacucho, Peru
 Crac Nor Perú, Peru
 Creamos Microfinanciera, S.C., Mexico
 CRIE SA/ISA, S.A. de C.V., Mexico
 CREDIAMIGO – Programa de Microcrédito do Banco do Nordeste do Brasil, Brasil
 Credavance S.A. de C.V. SOFOM E.N.R., Mexico
 Credi – Capital S.A. de C.V. SOFOM E.N.R., Mexico
 Credit and Development Forum (CDF), Bangladesh
 Credit Communautaire d'Afrique, Cameroon
 Crédit du Sahel, S.A., Cameroon
 Credit Rural De Guinee Societe Anonyme, Guinea
 Credit Union Bererod Gratia, Indonesia
 Daan Sa Pag – Unlad Inc., Philippines
 Daasgift Quality Foundation, Ghana
 Dak Diye Jai, Bangladesh
 Dakahly Businessmen's Association for Community Development, Egypt
 Damandiri Foundation, Indonesia
 Daridra Bimochon Shangstha, Bangladesh
 Dedebit Credit and Saving Institution Share Company, Ethiopia
 Desarrollo Autogestionario, A.C., Mexico
 Deshabandu Club, India
 Despacho Alfonso Amador y Asociados, S.A., Mexico
 Development Action for Mobilization and Emancipation, Pakistan
 Development and Employment Fund / Reyada, Jordan
 Development Initiative for Social Advancement, Bangladesh

Development Organisation of the Rural Poor, Bangladesh
 Development Project Service Centre, Nepal
 Development Promotion Group, India
 Development Support Team, India
 Developpement international Desjardins, Canada
 Dhaka Ahsania Mission, Bangladesh
 Dian Bhuana Lestari Foundation, Indonesia
 Dian Mandiri Foundation, Indonesia
 Don Apoyo S.A. de C.V. Sofom ENR, Mexico
 Drabya Multi-Purpose Co-operative Ltd., Nepal
 Dushtha Shasthya Kendra, Bangladesh
 DWIP Ummayan Sangstha, Bangladesh
 Eastern Communities Self Development Association of Nigeria, Nigeria
 ECLOF- Ecuador, Ecuador
 Eco Social Development Organisation, Bangladesh
 Ecofuturo S.A. Fondo Financiero Privado, Bolivia
 Edpyme Nueva Vision S.A., Peru
 Edpyme Confianza S.A., Peru
 Edpyme Crear Tachá, Peru
 Edpyme Crear Trujillo, Peru
 Edpyme Credivision S.A., Peru
 Edpyme Edyficar, Peru
 Edpyme Proempresa S.A., Peru
 Edpyme Pronegocios, Peru
 Edpyme Raíz, Peru
 Edpyme Solidaridad, Peru
 Edpyme Crear Arequipa, Peru
 Edpyme Efectiva, Peru
 Elim Microfinance Bank Limited, Nigeria
 Emprender, Bolivia
 Empresarial, S.A. de C.V., Mexico
 En Común de la Frontera, A.C., Mexico
 ENDA Inter-Arabe, Tunisia
 Ensure Development Activities for Vulnerable Underprivileged Rural People, Bangladesh
 Enterprise Support and Community Development Trust, Uganda
 Environment and Social Development Organization, Bangladesh
 Environment Council Bangladesh, Bangladesh
 Equipo de Educación y Autogestión Social, Peru
 Equitas Micro Finance India Private Limited, India
 ESAF Microfinance & Investments (P) Ltd, India
 Esperanza Internacional, Dominican Republic
 EUREKASOLI S.A. de C.V., Mexico
 FACES, Ecuador

Fatiere des Entites de Caisses d'Epargne et de Credit de Associations
 Villageoises, Togo
 Farmers Association of Community Self-Help Investment Groups, Zimbabwe
 Farmers Development Union, Nigeria
 Farmers Friend Organization, Pakistan
 Faulu Kenya Ltd., Kenya
 Faulu Tanzania Limited, Tanzania
 Faulu Uganda, Uganda
 Federation Chretienne des Organisations Economiques du Congo,
 Democratic Republic of Congo
 Fédération des Caisses Populaires du Burkina, Burkina Faso
 Fédération des ONG du Sénégal, Senegal
 Fédération des Unions Coopératives Epargne et Crédit- FUCEC, Togo
 FFH Alcanco, A.C., Mexico
 Ficrea, S.A. de C.V., Mexico
 FIE Gran Poder, Argentina
 Filomena Tomaira Pacsi, Peru
 FIMSA S.A., Colombia
 Financiera América S.A. - FINAMERICA, Colombia
 Financiera Independencia, S.A. de C.V. SOFOM, Mexico
 Financiera Mexicana para el Desarrollo Rural, S.A. de C.V. SFP, Mexico
 Financiera Nicaragüense de Desarrollo S.A, Nicaragua
 FINCA Jordan, Jordan
 FINCA México A.C., Mexico
 FINCA Perú, Peru
 Fomento e Impulso del Sur, S.A. de C.V., Mexico
 Fondation Banque Populaire pour le Microcredit, Morocco
 FONDEP Salaf Albaraka, Morocco
 Fondo de Desarrollo Comunal, Bolivia
 Fondo de Desarrollo Microempresarial, Ecuador
 Fondo de Desarrollo Regional, Peru
 Fondo de Inversion Social - Empresa Social S.A., Argentina
 Fondo de Microproyectos Costarricenses Sociedad, Costa Rica
 Fondo Ecuatoriano Populorum Progressivo, Ecuador
 Fondo Financiero Privado Fortaleza FFP, Bolivia
 Fondo Jalisco de Fomento Empresarial, Mexico
 Fondo para el Desarrollo Social de la Ciudad de Mexico, FOND, Mexico
 Fonkoze - Fondasyon Kole Zepòl, Haiti
 Forjadores de Negocios, S.A. de C.V., Mexico
 Forum for Rural Women Ardency Development, Nepal
 FORUS Bank, Russia
 FOVIDA, Peru
 Freedom from Hunger, USA
 Freedom from Hunger Ghana / Development Action Association, Ghana
 Friends Development Organization, Pakistan
 Friends of Women's World Banking, India
 Friendship Bridge – Guatemala, Guatemala
 Fundación 4i-2000, Nicaragua
 Fundación Adelante Honduras, Honduras
 Fundación Agrocapiat, Bolivia
 Fundación Alternativa 3, Argentina
 Fundación Alternativas para el Desarrollo, Ecuador
 Fundación Amanecer, Colombia
 Fundación Cajagranada Desarrollo Solidario, Spain
 Fundación Campo, El Salvador
 Fundación Cerrejon, Colombia
 Fundación Crysol, Guatemala
 Fundación de Asesoría Financiera a Instituciones de Desarrollo y Servicio
 Social, Guatemala
 Fundación de Asistencia para la Pequeña Empresa, Guatemala
 Fundación de Ayuda Microempresarial, Ecuador
 Fundación de Desarrollo Empresarial de la Pequeña y Mediana Empresa,
 Nicaragua
 Fundación de Desarrollo de Mixco, Guatemala
 Fundación Diaconia FRIF, Bolivia
 Fundación Dignidad Apoyo al Desarrollo de la Micro Empresa, Mexico
 Fundación Ecuatoriana de Desarrollo, Ecuador
 Fundación FUNDVIS, Argentina
 Fundación Grameen (Aldeas) Argentina, Mendoza, Argentina
 Fundación Hidalguense, A.C., Mexico
 Fundación Horizontes de Amistad, Honduras
 Fundación Internacional para la Asistencia Comunitaria Guatemala, Guatemala
 Fundación Jose Nieborowski, Nicaragua
 Fundación Leon 2000, Nicaragua
 Fundación Marco, Ecuador
 Fundación Microfinanciera Hermandad de Honduras, OPOF, Honduras
 Fundación Mundial de la Mujer Bucaramanga, Colombia
 Fundación Mundo Mujer – Popayan, Colombia
 Fundación para Alternativas de Desarrollo, Bolivia
 Fundación para el Auto Desarrollo de la Micro y Pequeña Empresa, El
 Salvador
 Fundación para el Desarrollo de la Microempresa, Nicaragua
 Fundación para el Desarrollo de la Microempresa Fundación MICROS,
 Guatemala
 Fundación para el Desarrollo de la Vivienda Social y Urbana (FUNDEVU),
 Honduras
 Fundación para el Desarrollo de Nueva Segovia, Nicaragua

Council of Practitioners (continued)

Fundación para el Desarrollo Integral de Programas Socioeconómicos, Guatemala
Fundación para el Desarrollo Integral Espoir, Ecuador
Fundación para el Desarrollo Microempresarial D-MIRO Misión Alianza – Ecuador, Ecuador
Fundación para el Desarrollo Socio-económico Rural, Nicaragua
Fundación para la Integración Productiva Sustentable, A.C., Mexico
Fundación Para la Promoción Y Desarrollo De Chontales, Nicaragua
Fundación Producir, Colombia
Fundación Realidad A.C., Mexico
Fundación Salvadoreña Para el Desarrollo, El Salvador
Fundación San Isidro, Colombia
Fundación Vida y Futuro, Colombia
FUNSALPRODESE, El Salvador
FUNDES Colombia, Colombia
Funding the Poor Cooperative - Chinese Academy of Social Science, People's Republic of China
FUNHDE, Honduras
Gambia Social Development Fund, The Gambia
Gasha Micro-Financing S.C., Ethiopia
General Labor Union of Nanyang City, Henan Province, People's Republic of China
Ghashful, MCH FP & FW Association, Bangladesh
GIC Protalocam, Cameroon
Giving for Living International, USA
Gono Unnayan Procheta, Bangladesh
Good Earth, Bangladesh
Gospel Crusade and Social Welfare Service Activities Society, India
Gram Unnayan Karma, Bangladesh
Gram Utthan, India
Grama Siri, India
Grameen Bank, Bangladesh
Grameen Development Services, India
Grameen Foundation, USA
Grameen Jano Unnayan Sangstha, Bangladesh
Grameen Koota, India
Grameen Manobic Unnayan Sangstha, Bangladesh
Grameen Trust, Bangladesh
Grameen Trust Chiapas A.C., Mexico
Grameen Trust India (Liaison of Grameen Trust, Bangladesh), India
Grandissons Ensembles - Tokola Elongo, Democratic Republic of Congo
Grassroots Health Organization of Nigeria, Nigeria
Growing Opportunity Finance, India

Grupo Consultivo para el Desarrollo Alternativo, Peru
Guidance Society for Labor, Orphans & Women, India
Guinan county LPAC project office of Qinghai province, People's Republic of China
Hagdan Sa Pag-Uswag Foundation, Philippines
HEED Bangladesh (Health Education and Economic Development Bangladesh), Bangladesh
Heifer Project International China, People's Republic of China
Hilful Fuzul Samaj Kallyan Sangstha, Bangladesh
Holistic Approach for People's Empowerment, India
Holy Cross Social Service Centre, Hazaribag, India
HOPE, Bangladesh
HOPE Foundation, India
Hunger Solution, India
IDESI Lambayeque, Peru
Incubadora de Microempresas Productivas, Bolivia
Ingenio Castilla, Colombia
Inikjatywa Mikro, Poland
Initiative des Masses Paysannes IMAP, Togo
Initiatives Pentecôtistes d'Évangélisation et de Développement, Togo
Inner City Development Cooperative, Philippines
Innovative Microfinance for Poverty Alleviation and Community Transformation, India
INPET, Peru
Institution Nigérienne de Microfinance ASUSU-CIIGABA, Niger
Institución para el Desarrollo Económico, Panama
Institute of Rural Development, Bangladesh
Instituto de Desarrollo regional Cesar Cesar Vallejo, Peru
Instituto de Desarrollo Urbano - CENCA, Peru
Instituto Hondureño de Estudios y Desarrollo Integral de la Comunidad, Honduras
Integrated Development Foundation, Bangladesh
Integrated Rural Development Society, Indonesia
International Network of Alternative Financial Institutions, Senegal
International Network of Alternative Financial Institutions, Costa Rica
Islami Bank Bangladesh Limited, Bangladesh
Jagorani Chakra Foundation, Bangladesh
Jamii Bora, Kenya
Janodaya Trust, India
Jatiyo Kallyan Sangstha, Bangladesh
Jeevan Bikas Samaj, Nepal
Jingyuan County Urban and Rural Development Association, People's Republic of China
Jinnah Welfare Society, Pakistan

Jinzhong Rural Poverty Reduction Development Association, People's Republic of China
 Jishishan County Rural Development Association, Gansu Province, People's Republic of China
 Jitegemee Trust Ltd., Kenya
 Jordan Micro Credit Company / Tamweelcom, Jordan
 Joshina Organisation, India
 Joypurhat Rural Development Movement, Bangladesh
 Juntos Progresando, S.A. de C.V. SOFOM, E.N.R., Mexico
 Kabalikat Para Sa Maunlad Na Buhay, Inc., Philippines
 Kafo Jiginew, Mali
 Karmojibi Kallyan Sangstha, Bangladesh
 Karnataka Regional Organisation for Social Service, India
 Karwan Community Development Organization, Pakistan
 Kashf Foundation, Pakistan
 Kaunlaran Sa Kabuahan Microcredit Corporation, Philippines
 Kazama Grameen Inc., Philippines
 Kerala Rural Development Society, India
 Khushali Development Organization, Pakistan
 Khushali Bank, Pakistan
 Konoklota Mahila Urban Co-Op Bank LTD, India
 Kosovo Grameen Mission Arcobaleno Microcredit Fund, Kosovo
 Kotalpara Development Society, India
 Kraban Support Foundation, Ghana
 Krushi (NGO-MFI), Karimnagar, Andhra Pradesh, India
 Lamjung Federation of Savings and Credit Cooperatives Ltd., Nepal
 LEAD Foundation (Egyptian Foundation for Enterprise Development), Egypt
 Liberation Movement for Women, India
 Lift Above Poverty Organization (LAPPO), Nigeria
 LOLC Micro Finance Company Ltd., Sri Lanka
 L'Union des Mutuelles du Partenariat pour la Mobilisation de l'Épargne et du Crédit au Sénégal, Senegal
 Mahasemam Trust, India
 Mahila Arthik Vikas Mahamandal Ltd, India
 Makhzoumi Foundation, Lebanon
 MAMATA, Bangladesh
 Manabik Shahajya Sangstha, Bangladesh
 Manidham Grameen Savings cum Credit Services, India
 Manila Community Services, Inc., Philippines
 MANUSHI, Nepal
 Marava Community based training and Empowerment Centre, Solomon Islands
 Marvi Rural Development Organization, Pakistan
 MASUM, India
 MC2 Network/ADAF (Réseau MC2), Cameroon
 McLevy Institute of Development Services, India
 Melghat Development Society, India
 Mercy Corps International, USA
 Micro Credit for Development and Transformation Cooperative Savings and Credit Society Ltd., Uganda
 Microbancos Rurales, Mexico
 MicroCred Nanchong, People's Republic of China
 Microcredit Organization EKI, Bosnia and Herzegovina
 Microcrédito Para El Desarrollo Mide Cusco, Peru
 Microempresas de Antioquia, Colombia
 Microenterprise Development Fund KAMURJ, Armenia
 Microfinance Agency for Development and Rehabilitation of Afghan community, Afghanistan
 Microfinance Center for Central and Eastern Europe and the Near East, Poland
 Microfinance Investment Support Facility for Afghanistan, Afghanistan
 Microfinance Pasifika Network, Australia
 Microfinanciera Prisma de Honduras S.A., Honduras
 Microfund for Women, Jordan
 Milamdec Foundation, Inc., Philippines
 Minority Self Empowerment Foundation, Bangladesh
 Mitra Bisnis Keluarga Ventura – "Family Business Partners", Indonesia
 Mitra Dhu'afa Foundation, Indonesia
 Mitra Usaha Foundation, Indonesia
 Mohila Bohumukhi Shikkha Kendra, Bangladesh
 Moris Rasik Timor, East Timor
 Mountain-River-Lake Dev. Committee of Jiangxi Province, People's Republic of China
 MOUSUMI, Bangladesh
 Movimiento Manuela Ramos, Peru
 Muslim Aid UK – Bangladesh Field Office, Bangladesh
 Muthamil Education and Rural Development Society, India
 Mutuelle d'Épargne et de Crédit Pemarim, Democratic Republic of Congo
 Nabolok Parishad, Bangladesh
 NACEC-R, Cameroon
 Nachala Cooperative, Bulgaria
 Nari Bikas Sangh, Nepal
 Naria Unnayan Samity, Bangladesh
 Narowal Rural Development Program, Pakistan
 National Bank for Agriculture and Rural Development (NABARD), India
 National Bank of Cambodia, Cambodia
 National Confederation of Co-operatives, Philippines
 National Development Program, Bangladesh

Council of Practitioners (continued)

National Development Society, Bangladesh
 National Educational and Social Development Organization, Nepal
 National Microfinance Bank – Watani, Jordan
 National Microfinance Foundation, Yemen
 National Rural Support Programme, Pakistan
 Nav Bharat Jagriti Kendra, India
 Negros Women for Tomorrow Foundation, Philippines
 Nerude Laghubitta Bikas Bank Ltd., Nepal
 Network of Entrepreneurship & Economic Development, India
 Nigerian Agricultural Cooperative and Rural Development Bank, Nigeria
 Ningxia Yanchi County Ass. for the Advancement of Women, People's Republic of China
 Nirantara Community Services, India
 Nirdhan Utthan Bank Limited, Nepal
 Nissi Global (Private) Limited, Zimbabwe
 North Malabar Gramin Bank, India
 Nowabanki Gonomukhi Foundation, Bangladesh
 NOWZUWAN, Bangladesh
 Nsoatreman Rural Bank, Ghana
 Nung Ikono Ufok Pioneer Fishing MCPS Limited, Nigeria
 Omo Microfinance Institution S.C., Ethiopia
 ONG A.C.M., Togo
 Oportunidad Latinoamérica Colombia, Colombia
 Opportunity Bank Montenegro, Montenegro
 Opportunity Bank Serbia, Serbia
 Opportunity Fund for Developing Countries, USA
 Opportunity International, USA
 Opportunity International Bank of Malawi, Malawi
 Opportunity International China, People's Republic of China
 Opportunity International Savings and Loans Limited, Ghana
 Opportunity Microcredit Romania, Romania
 Opportunity Microfinance Bank, Philippines
 Organización de Desarrollo Empresarial Femenino, Honduras
 Oribcing Womens Coop. Savings and Credit, Uganda
 Oromia Credit & Saving Share Company, Ethiopia
 OKUS Development Network, France
 P.T. Bank Tabungan Negara, Indonesia
 Pabna Protishruti, India
 Pact Myanmar Microfinance, Myanmar
 PADAKHEP Manabik Unnayan Kendra, Bangladesh
 PAGE Development Centre, Bangladesh
 PAHAL, India
 Palli Daridro Bimochon Foundation, Bangladesh

Palli Mongol Karmosuchi, Bangladesh
 Palli Progoti Shahayak Samity, Bangladesh
 Pallirama Shahayak Sangstha, Bangladesh
 Pally Bikash Kendra, Bangladesh
 Pamoja Women Development Programme, Kenya
 Pashchimanchal Grameen Bikas Bank, Nepal
 Patrimonio Hoy, Mexico
 Patronato para el Desarrollo de las Comunidades de Morazan, El Salvador
 PEACE Microfinancing Institution Poverty Eradication and Community Empowerment, Ethiopia
 PEARL Microfinance Limited, Uganda
 Peermade Development Society, India
 Pemberdayaan Perempuan dan transformasi social wilayah Pasoendan, Indonesia
 People's Association for Rural Development, India
 Peoples Bank of Caraga, Inc., Philippines
 People's Institute for Operational Research Training and Development, India
 People's Multipurpose Development Society, India
 People's Organisation for Rural Health Education and Economic Development, India
 People's Organization for Social Transformation, Philippines
 People's Oriented Program Implementation, Bangladesh
 People's Rural Education Movement, India
 Perhimpunan untuk Studi dan Pengembangan Ekonomi dan Sosial, Indonesia
 Perkumpulan Sada Ahmo, Indonesia
 Plan China, People's Republic of China
 Plan International – Asia Regional Office, Thailand
 Planned Social Concern, India
 Poribar Unnayan Songstha, Bangladesh
 Port Sudan Association for Small Enterprise Development, Sudan
 PRIDE Microfinance Limited (Uganda), Uganda
 Pro Mujer, Bolivia
 Pro Mujer – México, Mexico
 Pro Mujer – Nicaragua, Nicaragua
 Pro Mujer – Perú, Peru
 Prodipan, Bangladesh
 Professional Assistance for Development Action, India
 Progoti Samajkallyan Sangstha, Bangladesh
 Programa Presidencial Unidades de Desarrollo Comunitario, Honduras
 Programme Mata Masu Dubara (Women in the move), Niger
 PROGRESS (Akti Samaj Unnayan Mulak Sangstha), Bangladesh
 Projet d'Appui au Développement des Microenterprises, Benin
 Proshika Manobik Unnayan Kendra, Bangladesh

Proyas Manobik Unnayan Society, Bangladesh
 Proyecto e Iniciativas Locales para el Autodesarrollo Regional de Honduras, Honduras
 Punjab Rural Support Programme – Lahore, Pakistan
 Pusat Pengembangan Sumberdaya Wanita, Indonesia
 Quy Khuyen Khich Tu Lap (Fund for the Encouragement of Self-Reliance), Vietnam
 Racimo Estrategico para el Desarrollo Rural - Red Rural Sondondo, Peru
 Rajarata Development Bank, Sri Lanka
 RAMANI, India
 Rangpur Dinajpur Rural Service Bangladesh, Bangladesh
 Rangtay Sa Pagrang-ay, Inc., Philippines
 Red de Instituciones de Microfinanzas de Honduras (REDMICROH), Honduras
 Red Financiera Rural, Ecuador
 Red Vanguardia, S.A. de C.V., Mexico
 Regione Toscana, Italy
 Réseau des Caisses d'Épargne et de Crédit des Femmes de Dakar, Senegal
 Réseau des Caisses Villageoises d'Épargne et de Crédit autogérées (RECAVEC), Senegal
 Resource Development Foundation, Bangladesh
 Resource Integration Centre, Bangladesh
 Ruhunu UNESCO Association, Sri Lanka
 Rural Bank of Pres. M. A. Roxas Zn Inc., Philippines
 Rural Community Development Society, Pakistan
 Rural Development Association of Guanling Autonomous County, Guizhou Province, People's Republic of China
 Rural Development Association of Xingren County, Guizhou Province, People's Republic of China
 Rural Finance Project (Rural Finance and Community Initiatives Project), The Gambia
 Rural Friends for Development Consultation, Nigeria
 Rural Loan Mutual-aid Cooperative in Puyang City, People's Republic of China
 Rural Organisation for Voluntary Activities, Bangladesh
 Rural Reconstruction Foundation, Bangladesh
 Rural Self Reliance Fund, Nepal
 Rwenzori Rural Micro-finance Alliance, Uganda
 Saadhana Microfin Society, India
 Sabalamby Unnayan Samity, Bangladesh
 Sabaragamuwa Development Bank, Sri Lanka
 Saganika Samaj Unnayan Sangstha, Bangladesh
 Sahara Nepal Saving and Credit Co-Operative Society Ltd., Nepal
 Sajida Foundation, Bangladesh
 Salone Microfinance Trust, Sierra Leone
 Samadhan, Bangladesh
 Samaj Kallyan Sangstha (SKS), Bangladesh
 Samaj Paribartan Kendra, Bangladesh
 Samannita Unnayan Seba Sangathan, Bangladesh
 Samastha Lanka Praja Sanwardana Mandalaya, Sri Lanka
 Samudhi Authority of Sri Lanka, Sri Lanka
 Sanabel - Microfinance Network for the Arab Countries, Egypt
 Sanghamithra Rural Finance Services, India
 Sangkalpa Trust, Bangladesh
 Santa Fe de Guanajuato A.C., Mexico
 Sarhad Rural Support Programme, Pakistan
 Sarvodaya Economic Enterprises Development Services, Sri Lanka
 Sarvodaya Trust, India
 Satkhira Unnayan Sangstha, Bangladesh
 Save the Children Federation, USA
 Save the Poor, Pakistan
 SEDES, Peru
 Self International Uco Llc, Armenia
 Self Help Development Savings and Credit Company, Zimbabwe
 Self Reliance Economic Advancement Programme, Nigeria
 Self-Help and Rehabilitation Programme, Bangladesh
 SEPAR - HUANCAYO, Peru
 Service Center for Promotion of Women's Employment in Kunming City, People's Republic of China
 Servicios de Microsol, S.C., Mexico
 Servicios Integrales a Empresas del Sureste, S.C., Mexico
 SETARA Female Cooperative, Indonesia
 SETU, Bangladesh
 Sewa Lanka Community Financial Services Ltd, Sri Lanka
 Shah Sandhu Finance Co. Pvt. Ltd. (Mimo Finance), India
 Shakti Foundation for Disadvantaged Women, Bangladesh
 Shangathita Gramunyan Kamasuchi, Bangladesh
 Share Microfin Limited, India
 Shariatpur Development Society, Bangladesh
 Shataphool Bangladesh, Bangladesh
 Sheva Nari O Shishu Kallyan Kendra, Bangladesh
 Shri Kshethra Dharmasthala Rural Development Project, India
 Shri Mahila Sewa Sahakari Bank, Ltd., India
 Sinapi Aba Trust, Ghana
 Sindh Rural Support Organization, Pakistan
 Sindh Agricultural and Forestry Workers Coordinating Organization, Pakistan
 Small Enterprise Development Agency, Tanzania
 Small Enterprise Foundation, The South Africa
 Small Farmers Development Foundation, Bangladesh

Council of Practitioners (continued)

Social Forum for Sustainable Development Nepal, Nepal
 Social Solidarity Bank, South Korea
 Social Upliftment Society, Bangladesh
 Sociedad Cooperativa de Ahorro y Crédito AMC de RL, El Salvador
 Society for Development Initiatives, Bangladesh
 Society for Elimination of Rural Poverty, India
 Society for Health, Education and Poverty, Hungry Eradicate Through Rural Development, India
 Society for Social Service, Bangladesh
 Solfi Soluciones Financieras, Mexico
 SOLIDARIDAD, Peru
 Soluciones de Microfinanzas, S.A., Panama
 Soluciones Reales del Norte, S.A. de C.V., Mexico
 Somaj O Jati Gathan, Bangladesh
 Soon Valley Development Program, Pakistan
 SOS Women – Cooperative Feminine d'Epargne et de Credit, Cameroon
 South Asia Partnership-Bangladesh, Bangladesh
 South Malabar Gramin Bank, India
 South Pacific Business Development Foundation, Western Samoa
 Spandana Sphoority Innovative Financial Services Limited, India
 Sreema Mahila Samity, India
 Sri Mayapur Vikas Sangha, India
 Srirang Bangladesh, Bangladesh
 Star MicroFin Service Society, India
 State Ministry of National Family Planning Coordinating Board, Indonesia
 Step Ahead MED – Youth With A Mission Relief and Development, Thailand
 Sunflower Project – Projet Tournesol, Democratic Republic of Congo
 Sungi Development Foundation, Pakistan
 Susila Dharma Indonesia, Indonesia
 Swabalambar Laghubitta Bikas Bank Ltd (SB Bank), Nepal
 Swabi Women Welfare Society, Pakistan
 Swanirvar Bangladesh, Bangladesh
 Swayam Krishi Sangam Microfinance Pvt. Ltd. (SKS), India
 Swayamsree Micro Credit Services, India
 Swaziland Development Finance Corporation, Fincorp (Formerly Enterprise Trust Fund), Swaziland
 Swisscontact (Fundación Suiza de Cooperación para el Desarrollo Técnico), Ecuador
 Talanta Finance Ltd., Uganda
 Talete King Panyulung Kampampangan Inc., Philippines
 Tanzania Postal Bank, Tanzania
 Te Creemos, S.A. de C.V. SFP, Mexico
 Thandeep Rural Development Program, Pakistan

The Bridge Foundation /Opportunity Microfinance India Ltd., India
 The Christian Enterprise Trust of Zambia, Zambia
 The Community Microfinance, Kenya
 The First Microfinance Bank Ltd, Pakistan
 The Kotwali Thana Central Co-operative Association Ltd., Bangladesh
 The Society for Development of Human Abilities and Env., India
 Thengamara Mohila Sabuj Sangha, Bangladesh
 Triple A Research and Consultancy, Nepal
 TSPI Development Corporation, Philippines
 Turkey Grameen Microcredit Project, Turkey
 TYM Fund (Tao Yeu May Fund), Vietnam Women's Union, Vietnam
 UCPB – CIF Finance and Development Corporation, Philippines
 Ujivan Financial Services Pvt. Ltd., India
 UMF Arariwa, Peru
 UNDP Project Office of Huangyuan County (Huangyuan County Rural Development Association), People's Republic of China
 Unimex Financiera, S.A. de C.V., SOFOM, E.N.R., Mexico
 Union des Clubs d'Epargne et de Credit du Mayo-Kebbi, Chad
 Union des COOPÉCS Umutanguha, Rwanda
 Union Régionale des Coopératives d'épargne et de Crédit du Bam, Burkina Faso
 United Development Initiatives for Programmed Actions, Bangladesh
 Unitus Equity Fund, USA
 Unitus, Global Catalyst for Microfinance, USA
 Unnayan, Bangladesh
 UNRWA Microfinance and Microenterprise Programme – Jordan, Israel
 UNRWA Microfinance and Microenterprise Programme – Palestine, Israel
 UNRWA Microfinance and Microenterprise Programme – Syria, Israel
 Uplift India Association, India
 Urwego Opportunity Bank of Rwanda S.A, Rwanda
 Uttara Development Program Society, Bangladesh
 Utthan Shoudh Sansthan, India
 VANWOODS Microfinance Inc, Vanuatu
 Vayalar Memorial Youth Club, India
 Vietnam Bank for Social Policies (Vietnam Bank for the Poor), Vietnam
 Village Education Resource Center, Bangladesh
 Village Vision, India
 VisionFund Cambodia Ltd, Cambodia
 VisionFund Mongolia CBF, Mongolia
 Voluntary Association for Rural Development, Bangladesh
 Wahana Kria Putri Foundation, Indonesia
 Wau Microbank Limited, Papua New Guinea
 Wayamba Development Bank, Sri Lanka
 Welfare Association of Village Environment, WAVE Foundation, Bangladesh

Welfare Services Ernakulam, India
 Wisdom Micro Financing Institution (S.C.), Ethiopia
 Women and Associations for Gain both Economic and Social, Togo
 Women and Youth Development Association, Ghana
 Women Cooperative Society Ltd, Nepal
 Women Development Center of Nepal, Nepal
 Women Social Organization - Pakistan, Pakistan
 Women's Union of Tien Giang Province, Vietnam
 Women's Development business Microfinance, South Africa
 Working Women's Forum, India
 World Concern Bangladesh, Bangladesh
 World Relief Honduras, Honduras
 World Vision China, People's Republic of China
 World Vision International, USA
 WSDS-Initiative, India
 XacBank Ltd., Mongolia
 Yayasan Bina Swadaya, Indonesia
 Yayasan Indonesia Sejahtera, Indonesia
 Yayasan Peningkatan dan Pengembangan Sumber Daya Ummat, Indonesia
 Yayasan Pokmas Mandiri, Indonesia
 Yayasan Usaha Maju, Malaysia
 Yehu Microfinance Trust, Kenya
 Ylong County Rural Development Association, People's Republic of China
 Young Pioneers Society Gojra, Pakistan
 Zakoura Microcredit Foundation, Morocco
 Zimbabwe Association of Microfinance Institutions, Zimbabwe

Council of Religious Institutions

Centre Missionnaire Bethesda, Democratic Republic of Congo
 Church of Christ Social Welfare Association, India
 Five Talents International, USA
 Rajiv Gandhi Memorial Development and Welfare Society, India
 Sierra Leone Africa America Assistance Foundation, Inc., USA

Council of United Nations Agencies

International Labour Organization (ILO), Switzerland

編集責任者

白須 紀子

編集担当

三澤 千和

日本語訳・協力者

狩野 伊知郎	浅沼 江里香
後藤 敦子	白地 祐輝
檜崎 聖子	林 ゆり子
水野 光	鈴木 幹久
西尾 典晃	